

諮問第1号

「国際電気通信連合無線通信総会への対処について」に対する 一部答申

目次

第1章	総論	1
第2章	RAへの対処(SG1関連)	2
第3章	RAへの対処(SG3関連)	11
第4章	RAへの対処(SG4関連)	26
第5章	RAへの対処(SG6関連)	41
第6章	RAへの対処(SG7関連)	86
第7章	RAへの対処(SG8関連)	97
第8章	RAへの対処(SG9関連)	122
第9章	RAへの対処(RAG関連)	143

「国際電気通信連合無線通信総会への対処について」に対する一部答申

第1章 総論

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）は、無線通信に関する技術及び運用についての研究を行うとともに、各国の無線通信局間の有害な混信を避けるための周波数スペクトル帯の分配、周波数割当ての登録等を行うことにより、無線通信に関する連合の目的を達成することを任務としている。その活動は、我が国の無線通信システムの発展、電波監理、電波監視等にも大きな影響を与えるものである。

本年10月15日から10月19日までスイス連邦ジュネーブにおいて開催が予定されているITU無線通信総会（RA-07）では、研究委員会（Study Group）から提出される勧告案等の承認、次研究会期（2008～2011年）の研究課題、研究体制等について審議が行われることとなっている。

RAにおいて審議される勧告案及び決議案については、我が国としてもこれまで研究委員会での検討に参加し、策定に貢献した成果であることから、我が国の意見が取り入れられているものを中心に基本的に支持することが適当である。

次研究会期の研究体制については、最新の技術動向を考慮し、多くの専門家が参加しやすい構成とすることが必要である。活動の効率性・技術動向の観点から構成案を吟味し、対応することが適当である。

次研究会期の研究課題については、無線システムの発展・周波数利用効率の向上の観点から適当な課題を支持することが適当である。

各研究委員会毎の対処の詳細は、次章以降のとおりである。

第2章 RAへの対処（SG1関連）

1 研究対象

SG1は、「周波数管理」を研究対象としている。

2 RA-07に提出される勧告案

RA-07に提出されるSG1の勧告案及びその評価一覧を表2-1に示す。

RA-07に提出される勧告案についてはない。

3 課題の見直し

SG1における次会期の研究課題及びその評価一覧を表2-2に示す。今会期、3件の研究課題があった。次会期の課題は、我が国として引き続き研究の支持を行う。主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 221/1

無線通信システムと電力供給線を使用する高速データ通信システムとの共用

【概要】2007年6月会合では本研究課題に基づいて、新勧告草案及び新レポート草案の作業文書が作成されており、新勧告草案の作業文書には我が国で2006年10月に制度化された電力線搬送通信システムの制度が、同勧告の付録を作成する際の材料として採用された。同様に採用された米国、欧州、ブラジルの制度とともに、次回会合で継続して検討される予定。

(2) 研究課題 229/1

国際的周波数監理の枠組の見直し

【概要】近年の無線通信技術の発達に伴い、従来の固定業務や移動業務が融合した形で用いられるような無線システムの出現を受け、既存の無線通信規則を見なおすための研究を行うものである。2007年6月会合においてSG1からBR局長への研究報告がとりまとめられ、以下の4つの見直しの方向性が盛り込まれた。

- 現在のやり方を維持
- 業務の定義を変更（例「移動・固定業務（除海上航空）」）
- 干渉量不変を条件に、例えば、固定業務の代わりに移動業務での使用を認めることにする。
- 業務定義を変更せず、分配表上の複数の業務を行う無線局の通告を認めることにする。（例：「固定及び陸上移動」）

BR局長はSG1からの本報告を参考に、WRC-07議題7.1に基づき、WRC-11の議題とするか否かの検討を行うため、WRC-07に報告を行う予定。

4 参考事項

SG1は、2003年11月、2004年10月、2005年10月、2006年10月及び2007年6月に開催され、33件の新規及び改訂勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表2-3に示す。

- 研究課題 213/1(ショートレンジデバイスのための技術及び運用パラメータ並びに必要とされる周波数)

他の無線局に与える影響の極めて小さい無線通信装置に関して欧州、米国、中国、韓国及び日本で実用化されているシステムの例を集約して ITU-R 勧告 SM. 1538 が作成されている。今研究会期では2006年5月に改訂された。

我が国からは2006年10月及び2007年6月の会合において、特定小電力無線設備である医療用情報通信システム(MICS)、無線LAN、無線タグ(RFID)等の制度改正を勧告改定案に反映させている。

表 2-1 RA-07に提出される勧告案の評価

なし。

表 2-2 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	対応	備考
66/1	周波数計画のための方法及びアルゴリズム	[概要] 自動化する周波数管理システムにはどのような周波数割当て手法を採用し、また、これらアルゴリズムや手法の有効性を見るための評価法等について研究する。 [評価] 特段の問題はないが、勧告 SM.1599 が成立したため、削除されても構わない。	継続	支持	
202-2/1	デジタル通信業務への様々な干渉源の特性及び測定（干渉効果による）	[概要] デジタル通信システムに対する各種干渉源を測定するための手順等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
205-1/1	スペクトル利用のための長期的戦略	[概要] 周波数利用の長期戦略の開発のために適当な方法及び開発の過程における重要な技術的事項、非技術的事項等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
206/1	国内周波数管理の経済的アプローチ及び財政の戦略	[概要] 異なる周波数帯における効率的な国内の周波数管理を促進するための経済的な手法等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
207/1	周波数計画及び開発戦略のための無線通信スペクトルの使用から生ずる利益の評価	[概要] 国内の無線周波数の使用によって主管庁に生じる利益等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
208/1	国内スペクトル管理の新たな方法	[概要] 周波数管理問題の解決のため暫定的周波数管理法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
209-1/1	周波数管理及び無線スペクトルの効率的な使用のために要求される無線装置のパラメータ	[概要] 周波数の効率的な使用を保証するために規定している無線通信装置の異なるカテゴリーのパラメータについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂

210-1/1	無線電力伝送	[概要] 無線電力伝送の運用に最も適している周波数帯等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	承認中(改訂)	支持	
211/1	不要発射	[概要] 9kHz~300GHz帯で運用しているすべてのサービス及び変調形式において送信する帯域外発射の制限値等について研究する。 [評価] 特段の問題はないが、WRC-03 結果に従って改訂されるべき。	継続	支持	
212/1	地球局周辺の調整区域の決定のための方法の開発	[概要] 宇宙業務と地上無線通信業務で共用されている周波数帯における地球局周囲の調整区域の決定方法に関する RR 付録 S7 号について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
213/1	ショートレンジデバイスのための技術及び運用パラメータ並びに必要とされる周波数	[概要] ショートレンジデバイスにとって適切な電力・周波数帯や、装置の応用例について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
214/1	デジタル放送信号の監視	[概要] デジタル放送における映像及び音声信号の周波数監視を行う技術、手順、測定機器等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
215/1	免許遵守の実証のための陸上移動網の無線覆域の監視	[概要] 様々な変調及びアクセス方式で運用されている移動網の無線カバレッジを監視するための監視項目、技術、方法等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
216/1	国内スペクトル管理の方法としてのスペクトル再配置	[概要] 各国で周波数が不足している現状に鑑み、スペクトルの再配置の手法について研究する。 [評価] 特段の問題はないが、勧告 SM.1603 が成立したため、削除されても構わない。	継続	支持	
217/1	59-64GHz 帯で運用する短距離通信装置と 61-61.5GHz 帯で運用する工業・科学・医療 (ISM) アプリケーションとの共用	[概要] 課題 213/1 と関連し、当該周波数共用について研究する。 [評価] 研究課題として適当である。	継続	支持	
218/1	電力供給又は電話配線網を使用する高速データ通信システムによる放射を測定するための技術	[概要] 送電線を利用する通信システムの輻射源からの輻射または電話回線を利用する通信システムの輻射源からの輻射を測定する妥当な技術について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	承認中(改訂)	支持	

219/1	他国主管庁の無線監視装置への遠隔アクセス	[概要] 合意した主管庁間の監視機器を使用する場合どんなアクセス方法が必要となるか研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
220-1/1	アナログ及びデジタルの通信業務への様々な干渉源の特性表示（干渉効果による）	[概要] 周波数の有効利用を促進するため、様々な干渉源の特徴について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
221/1	無線通信システムと電力供給線を使用する高速データ通信システムとの共用	[概要] 無線通信システムの保護のため、送電線を用いた通信システムからの輻射レベルの許容値を研究する。 [評価] 本課題の継続は特段の問題はない。	承認中(改訂)	支持	
222/1	送信機発射のスペクトル特性の定義	[概要] 無線通信規則第1条の定義に関連して、送信機の発射特性に関する事項を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
223/1	周波数管理のための規則的枠組みの指針	[概要] 国内周波数管理の法令、権利、RRとの関連、国内と地域の関連、透明性、要素について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
224/1	地上の固定、移動及び放送の双方向マルチメディアアプリケーションの技術的収束と関連する規則的環境	[概要] 固定・移動・放送が技術的に収束した双方向マルチメディアアプリケーションについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
225/1	免許特性の適合性確認のための無線局検査	[概要] 国内外の免許適合性確認のための検査技術、設備、記録法等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
226/1	超広帯域(UWB)デバイスの導入に関する周波数管理の枠組み	[概要] UWBデバイスが無線通信規則5.340条で規定された周波数帯の業務に有害な混信を与えないための要求条件について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
227/1	超広帯域(UWB)デバイスと無線通信業務間の両立性	[概要] UWBデバイスが既存の電磁環境に与える影響、無線通信業務との両立性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
228/1	無線通信規則に3000GHz以上の周波数を含めることについての可能性と妥当性	[概要] 無線通信規則に3000GHz以上の周波数を含めることができるか、妥当か否かについて検討し、レポートにまとめるもの。全権決議118(マラケシュ2002)にも基づくもの。 [評価] 研究を継続することについて特段の問題はない。	継続	支持	

229/1	国際的周波数監理の枠組の見直し	<p>[概要] 近年の無線通信技術の発達に伴い、従来の固定業務や移動業務が融合した形で用いられるような無線システムの出現を受け、既存の無線通信規則を見なおすための研究を行うもの。</p> <p>[評価] 研究を継続することについて特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
230/1	マグネトロンを用いた一次レーダからの不要放射測定方法の改善	<p>[概要] マグネトロンを用いた一次レーダからの不要放射のうち、-40dB バンド幅については実際の幅よりも過小評価している可能性があることに鑑み、研究を行うもの。</p> <p>[評価] 特段の問題はない</p>	継続	支持	会期中に新規策定
231/1	無線アプリケーションにおけるノイズフロアの計測技術	<p>[概要] 周波数に依存しない方法での無線アプリケーションの雑音測定方法はどのようなものがあるかについて研究を行うもの。</p> <p>[評価] 特段の問題はない</p>	継続	支持	会期中に新規策定
232/1	宇宙電波監視の方法と技術	<p>[概要] 静止、非静止両衛星及び地球局からの影響を測定する際に、どのような方法、手続、技術、装置が必要か研究するもの。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
233/1	周波数占有域の測定	<p>[概要] 国際的な調整にも使用されることのある占有帯域幅については、新しい通信方式が現れると、その方式のための定義が必要になる。そのため定義や測定法の研究を求めるもの。</p> <p>[評価] 特段の問題はない</p>	継続	支持	会期中に新規策定
234/1	無線測位の代替技術	<p>[概要] 高速の計算機や高精度の時刻信号が簡単に得られるようになってきており、電波の発射源を特定するために信号の到達時間差を用いる事が可能であり、このような技術についての研究を求めるものである。</p> <p>[評価] 特段の問題はない</p>	継続	支持	会期中に新規策定

表 2-3 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP/ 課題番号	新規改訂 削除	備考
SM.182-5	周波数占有帯の自動監視	無線周波数の占有帯の測定を導入するための条件に関する勧告	WP1C/ 29/1	改訂	
SM.328-11	発射された電波の周波数及び周波数帯	WRC-03で追加となった 1.146A <i>out-of-band domain</i> 、 1.146B <i>spurious domain</i> の定義を追加等する勧告	WP1A/ 222/1	改訂	
SM.337-5	周波数及び距離的な分離	許容可能な干渉レベルに必要な距離、周波数分離を計算するた	WP1A/ 72/1	改訂	

		めの手続きを示した勧告			
SM.377-4	国際的監視のための無線局における周波数測定 of 正確性	監視局での周波数測定及び測定の精確さの標準を特定する勧告	WP1C/22/1	改訂	
SM.378-7	監視無線局における場の強さの測定	監視局での場の強度測定の正確性を特定する勧告	WP1C/24/1	改訂	
SM.443-3	監視無線局における周波数幅の測定	監視局における占有帯幅の決定する方法を示した勧告	WP1C/26/1	削除	
SM.443-4	監視無線局における周波数幅の測定	同上	WP1C/26/1	改訂	
SM.575-1	電波干渉に対する固定監視無線局の保護	監視局においてそれらの干渉自由操作を確認するため最大の場の強度レベルを特定する勧告	WP1C/31/1.32/1	改訂	
SM.854-2	監視無線局の方角探知及び位置決定	2005 年の WP1C 会合にて、方向探知測定の向上に関する 3 つの勧告文書 ITU-R SM.854-1, SM.1053, SM.1269 の一体化に向けた提案がなされたが、検討の結果この提案に関する合意は得られなかった。本勧告は、この一体化案に更に修正を加えた勧告	WP1C/N/A	改訂	
SM.1046-2	無線局の周波数利用及び効率性の定義	各システムによる周波数利用の効率性 spectrum utilization efficiency (SUE)を測定するための方法についての勧告	WP1B/47/1	改訂	
SM.1050-2	監視業務	監視データは周波数の際割当に関する決定の発展に使用されるべき事等を提示する勧告	WP1C/N/A	改訂	
SM.1056-1	ISM からの電波発射の制限	ISM デバイスからの電波発射の制限を与えること等についての勧告	WP1A/70/1	改訂	
SM.1134-1	陸上移動業務における内部変調干渉計算	3 つの内部変調干渉の最大値の計算の基礎を与える勧告	WP1A/44/1	改訂	
SM.1138-1	必要な周波数幅の決定の計算例等	必要な周波数幅の決定方法の基礎を与える勧告	WP1A/N/A	改訂	
SM.1413-2	通告及び周波数調整のための無線通信データの辞書	主管庁と BR の間での通告及び周波数調整データの交換の効率を改善する「無線通信データ辞書」についての勧告	WP1B/65/1	改訂	
SM.1538-2	ショートレンジデバイスのための技術的パラメータ、周波数の条件	CEPT における近距離無線通信デバイスの技術パラメータ、周波数要求条件の修正・追加等した勧告	WP1B/213/1	改訂	
SM.1541-2	帯域外領域での不要発射	放送衛星サービス (BSS) 宇宙ステーションのための 0dB マスク、BSS に分配されたバンドでの運用局 0dB 放射は、必要な帯域幅の中で最大電力、スペクトル密度以下とすることに変更等した勧告	WP1A/211/1	改訂	
SM.1599-1	地理的及び周波数分配の決定	ある領域における周波数割当て状況を数値指標で表現する方法を規定する勧告の解釈を拡張あるいは発展させる勧告	WP1B/66/1	改訂	
SM.1681	監視地球局における宇宙局からの低レベル発射の測定	受動業務保護の観点から、監視宇宙局等からの低レベル発射の測定が重要である。本勧告はデジタルシグナルプロセッシングによるノイズフロアを軽減する	WP1C/202/1	新規	

		基礎を与える勧告			
SM.1682	デジタル放送信号に関する測定方法	デジタル放送の導入に伴い重要となってくるデジタル放送信号の測定法についての勧告	WP1C/ N/A	新規	
SM.1708	場の強度の測定	様々な移動ネットワークが違う変調方法を使う中で、統一的、効率的な場の強度の測定方を提示する勧告	WP1C/ 214/1,215/1	新規	
SM.1723	自動移動周波数監視ユニット	主管庁が無線移動監視システムをセットアップすることを促進させるための勧告	WP1C/ N/A	新規	
SM.1751	周波数を共用するネットワーク間での干渉計算のさらなる方法論	EML (Energy Margin Loss) は共用周波数帯域内で運用される他のネットワークや無線通信システムから受ける干渉影響を評価する方法として、主管庁や管理者が使用できる追加的なツールである。それについての勧告	WP1B/ N/A	新規	
SM.1752	自由空間条件での不要発射に対する制限	自由空間条件下でのスプリアス領域の不要発射の制限値に関する規定が明確でないことに鑑み、新たにまとめた勧告	WP1C/ N/A	新規	
SM.1753	無線雑音の測定方法	電波ノイズの測定に関して、異なる測定システム間で比較可能な、正確かつ再現性のある結果を得るための、周波数に依存しない標準的な方法が必要となっている。本勧告は、こうした要請に対して、電波ノイズの測定について一定の手順を示した勧告	WP1A/ 45/1	新規	
SM.1754	UWB 発射の測定技術	UWB 発射は連続短期間パルスか、又は雑音として現れるかだろう。そして、それは、UWB 発射そのものの測定を困難にする。この勧告は平均とピーク周波数電力密度を測定するための UWB 発射と UWB シグナルのあらゆるタイプの周波数領域と時間領域技術に関して述べた勧告	WP1A/ 227/1	新規	
SM.1755	UWB 技術の特徴	UWB 技術や UWB 技術を使用しているデバイスを記述するための用語、定義、略語を提示する等している勧告	WP1A, WP1B/ 226/1,227/1	新規	
SM.1756	UWB 技術を使用したデバイスの導入のための枠組	この勧告の中で、枠組みは UWB 技術を使用しているデバイスの監理、ありうる規定の実施に関する具体例及び地域的、国家的な UWB に関する規則の抜粋（情報としてのみ提供されるもの）に携わる主管庁に対する指導原理を含む勧告	WP1B/ 226/1	新規	
SM.1757	UWB デバイスがその他の業務に与えるインパクト	この勧告は、発展している国家的な UWB が優位にある状況で、主管庁に対するガイドを与える勧告	WP1A/ 227/1	新規	
SM.1792	T-DAB、DVB-T 発射装置の側帯発射の測定	T-DAB および DVB-T 送信機からの発射が ITU-R BS.1660 (「VHF 帯の地上デジタル音声放送の計画における技術的基	WP1C/ N/A	新規	

		盤) および RRC 06 (2006 年地域無線通信会議)の最終議定書に示されたスペクトルマスクを遵守しているかどうかをチェックする方法を提示する勧告			
SM.1793	周波数チャンネル占有の測定	周波数チャンネル占有率を測定する際に、受信機もしくはスペクトラム・アナライザを用い、周波数ステップごとに信号の強度を記録して、後処理によって、信号がある一定の閾値レベルを超える時間の割合を算出する方法を提示する勧告	WP1C/ N/A	新規	
SM.1794	広帯域瞬間周波数帯周波数監視システム	新たな電波監視機能の調達を計画している関係機関に対して、非常に広い瞬時帯域幅(瞬時帯域幅 20 MHz 以上)を備えた電波監視システムの調達の検討を推奨する勧告	WP1C/ N/A	新規	
SM.1809	標準的なデータ交換フォーマット	監視・計測キャンペーンを通じて得られた経験から、周波数スキャンに基づく監視データの標準データ交換フォーマットに関する勧告	WP1C/ N/A	新規	

第3章 RAへの対処（SG3関連）

1 研究対象

SG3は、「電波伝搬」を研究対象としている。

2 RA-07に提出される勧告案

今会期中にSG3会合で採択された勧告案は全て郵便投票に付されており、RA-07に提出される勧告案はない。

3 課題の見直し

SG3における次会期の研究課題及びその評価一覧を表3-1に示す。今会期中に追加されたものを含めて、23件の研究課題があったが、これらは、今会期中に既に郵便投票により承認されており、RA-07に提出される次会期研究課題はない。

なお、次会期の課題については、我が国はその重要性を認識し、支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 225-4/3

デジタル変調技術を含めたLFおよびMF帯におけるシステムに影響する伝搬因子の予測

【概要】標準電波のような長波やラジオ放送等に使われている中波の電界強度推定に関わる課題であり、関連する勧告P.684やP.1147については我が国から積極的に寄書等を入力している(7件/今会期中)。また、研究成果を2010年までに勧告またはレポートにすることが明記された。

(2) 研究課題 211-4/3

300MHzから100GHzの周波数における近距離無線通信アクセスシステム及び無線LAN設計のための伝搬データとモデル

【概要】新勧告「広帯域移動通信のための遅延および角度プロファイル推定法」を我が国からの6件の入力を元に作成した。また、勧告P.1238およびP.1411に対しては計28件の寄書を改訂等に反映させ、本研究課題の進捗に大きく貢献している。

4 参考事項

SG3は、2004年10月、2006年10月、2007年4月に開催され、5件の新規勧告案及び51件の改訂勧告案が郵便投票に付され、1件の新規勧告案及び43件の改訂勧告案が承認されている。(1件の新規勧告案及び3件の改訂勧告案については郵便投票中である。)。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表3-2に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 新勧告 P.[TIME-SPATIAL_PROFILE]

我が国の提案により作成された広帯域移動通信のための遅延および角度プロファイル推定法である。次世代移動通信の検討を進めている WP8F に対してもリエゾン文書により本件の情報が入力され、システム検討等にも寄与している。MIMO 等の新技術を用いた無線システム設計に不可欠な時空間伝搬モデルの確立に向けた基盤技術として有効な勧告である。

(2) 電離圏伝搬特性の検討

長波(LF)および中波(MF)伝搬に関する勧告 P.1147、P.684 について、長距離伝搬試験等の実施によりこれまで我が国から提案してきた勧告改訂案の妥当性を検証するフェーズにあり、太平洋航路や南極航路等を活用した世界規模の測定が予定されている。また、短波帯(HF)に対してもオーストラリア北部から日本に至る東南アジア地域で我が国が主導するグローバルな観測体制が確立しつつあり、勧告 P. 533 等の見直しに有効と期待されている。

(3) 短距離伝搬特性推定法の検討

屋内伝搬と屋外短距離伝搬に関する勧告 P.1238、P.1411 については、これまでの自ゾーン設計のための伝搬特性推定法としての利用だけでなく、周波数共用のための干渉評価への適用性の付加が求められるようになっている。特に広帯域系の種々の無線システムがマイクロセル～ピコセル領域で多数存在する状況では屋内-屋内、屋内-屋外、屋外-屋外のそれぞれの関係での伝搬特性評価が求められ、P.1238 及び P.1411 の記載項目の見直しも含めた横断的な改善が必要である。

表 3-1 次会期の研究課題及び評価

研究課題番号	研究課題名	概要及び評価	新規継続改訂削除	対応	備考
201-3/3	地上及び衛星通信システム並びに宇宙研究応用の計画に必要な電波気象データ	[概要]電波気象データの性質、統計、伝搬特性との関係等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
202-3/3	地表伝搬の推定法	[概要] 地表伝搬の影響をサービスエリアと干渉評価の両方の観点から研究する [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
203-3/3	30MHz 以上の周波数における地上放送、固定（広帯域アクセス）及び移動業務のための伝搬データと推定法	[概要] 周波数等により影響される電界強度、多重路や時間・空間的統計について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S1

204-3/3	地上見通し回線のための伝搬データと推定法	[概要]各種の伝搬因子の影響による伝搬損失、局設計のための伝搬データ等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2
205-1/3	見通し外方式のための伝搬データと推定法	[概要]基本伝送損の統計分布、気候区依存性などを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2
206-3/3	固定衛星業務と衛星放送業務のための伝搬データと推定法	[概要]減衰等の長期間統計分布及びその場所依存性、予測法、減衰の統計特性、反射パラメータなどを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2
207-3/3	約0.1GHz以上における衛星移動及び無線標定業務のための伝搬データと推定法	[概要]地形等による電界強度、伝搬ロス等の範囲、端末の環境の影響等について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2
208-3/3	固定衛星業務と地上業務に影響する周波数共用上の伝搬因子	[概要]周波数共用に関して、信号強度変動の分布、その場所・周波数・季節依存性等を研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
209/3	システム性能解析における変動率と危険率パラメータ	[概要]伝搬の観点からシステム性能解析における変動率と危険率パラメータを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2
211-4/3	300MHzから100GHzの周波数における近距離の無線通信システム及び無線アクセスシステム、無線LAN(WLAN)のための伝搬データと伝搬モデル	[概要]近距離通信での伝搬モデルや様々な短距離通信業務においてどのようなチャンネル伝搬特性が最も適切かを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S1 会期中に改訂
212-1/3	電離圏特性	[概要]無線通信システムに影響を与える電離圏の諸特性やその地域的变化について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S3
213-1/3	電離圏及び電離圏貫通無線通信のための運用パラメータの短期予測	[概要]短期予測の必要性和技術、電離層共鳴及びチャンネル評価の有効性について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S3

214-3/3	電波雑音	[概要]雑音の測定法、雑音の強度、雑音の各種パラメータ等について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
218-3/3	宇宙システムに及ぼす電離圏の影響	[概要]電離層が宇宙通信システムに及ぼす因子（シンチレーション、分散特性等）の推定法及び電離圏貫通無線通信の最適なモデルを研究し、調整距離の設定及び周波数共用並びに非静止衛星の運用に資する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
221/3	スποラディック E 層及び他の電離による VHF 及び UHF 伝搬	[概要]VHF/UHF 帯の電離層伝搬メカニズム、伝搬特性の予測について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S3
222-1/3	電離圏のパラメータの測定及びデータバンク	[概要]データ収集及び信号測定技術、HF 電界強度測定及びデータバンク編集等について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2
225-5/3	デジタル変調技術の使用を含む長波及び中波帯におけるシステムに影響を及ぼす伝搬因子の予測	[概要]予測法の改善、地上波と空間波の共存が LF 及び MF システムに与える作用、LF 及び MF の各種パラメータ等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
226-3/3	衛星間伝搬路に対する電離圏及び対流圏特性	[概要]衛星間伝搬における電離圏の影響の研究、対流圏の影響分離の研究を行う。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に改訂
227-1/3	短波帯のチャンネルシミュレーション	[概要]短波帯の伝送路をシミュレーションするために必要な特性要素（帯域特性、伝達関数の時間的变化等）について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S3
228-1/3	275GHz 以上における無線通信システムの設計に必要な伝搬データ	[概要]地上系、地球から宇宙、宇宙から地球の通信路における大気のパラメータと電磁波の特性の関係や衛星間での自由空間パラメータと電磁波特性との関係について最適なモデルを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	C1 会期中に改訂

229/3	デジタル変調技術を利用したシステムにおける約 1.6 ~ 30MHz の周波数帯での空間波伝搬状況、信号強度、回線品質及び信頼性の予測	[概要]予測された電離圏特性から基本的、運用的 MUF 及び ray path の長期的予測と其の変化について勧告 P.1240 で与えられた方法の改善点を探る研究を行う。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S1
230/3	電力線通信のための推定法とモデル	[概要]電力線通信システムから無線周波数エネルギーが放射される作用、単一または複数のシステムから放射される総エネルギーの最適なモデル、干渉評価のための最適な信号強度伝搬モデル等を研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S1 会期中に新規策定
231/3	無線通信システム及びネットワークの性能に及ぼす人工雑音源からの電磁放射の影響	[概要] 個別雑音源からの放射分布の記述及び測定法、無線通信システム及びネットワークの性能に及ぼす人工雑音源からの電磁放射の影響とその記述及び定量化について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続	支持	S2 会期中に新規策定

表 3-2 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP / 課題番号	新規改訂削除	備考
P. 311-12	対流圏伝搬研究におけるデータの収集、表示及び解析	4.3 節 Testing method for comparing fade duration prediction 及び 4.4 節 Testing method for comparing fade slope prediction の Procedure を修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 313-10	短波予報のための情報の交換と電離層じょう乱警報の伝達	3 節 Exchange of basic data used in short-term forecasts に ISES 等の情報が追加された。	WP3L/ N/A	改訂	
P. 368-8	10kHz~30MHz の地上波伝搬曲線	北半球の季節変動の情報を Annex1 に追記した。	WP3J/ N/A	改訂	

P. 368-9	10kHz～30kHz の地上 伝搬曲線	10kHz から 30MHz までの 周波数帯における地表波 伝搬カーブについて、季節 変動及びわずかな位置の 変化による変動の情報を 追加した。	WP3J/ N/A	改訂	
P. 372-9	電波雑音	1 節で電波雑音関連の定 義を修正し、5 節の人工雑 音について新たな測定結 果を表 3-3～4 として 追加した。	WP3J/ 214-2/3	改訂	
P. 3/BL/5 (P. 373-8)	最高・最低周波数の定義	伝搬予測手法に用いられ る最高周波数および最低 周波数の定義について、近 年使われ始めた新たな用 語を追加した。	WP3L/ 212/3	改訂	未発行
P. 452-12	0.7GHz 以上の地表局間 干渉評価に必要な推定 法	適用周波数上限を 30GHz から 50GHz へ拡大し、見 通し外伝搬路および伝搬 損失計算法の計算式を修 正した。また、降雨散乱干 渉に関する記述を修正し、 Annex 8 を削除した。	WP3M/ 208/3	改訂	
P. 452-13	0.7GHz 以上の地表局間 干渉評価に必要な推定 法	表 3 のパラメータ表の説 明を修正した。また、4 節 の晴天時伝搬モデル、特に 4.1 節 Diffraction と 4.6 節 The overall prediction の 表記を大幅に修正した。	WP3M/ 208/3	改訂	
P. 526-9	回折による伝搬	我が国提案の反射係数計 算式の修正を行ったほか、 障害物の回折損失の評価 に対して一般的な指針を 示す節等を新たに追加し た。 コメント：日本からの寄与 文書を反映。	WP3J/ 202/3	改訂	
P. 526-10	回折による伝搬	回折伝搬の計算について、 4.3 節の図及び計算式を訂 正し、勧告 P.526-9 を参照 して勧告 P.452 を用いて	WP3J/ 202/3	改訂	

		連続ナイフエッジモデルの回折損失を計算した場合、異なる二通りの結果が導き出されるあいまいさを解消した。			
P. 526-10	回折による伝搬	3.2 節の LOS サブパス回折の式(21)群を修正し、その他式(43)と式(88)の符号等のエディトリアルな修正を行った。	WP3J/ 202/3	改訂	郵便投票 中 (TAP)
P. 530-11	地上見通し内無線中継方式設計に必要な伝搬データと推定法	マルチホップリンク伝搬特性、複数パスが1局に集中する場合の伝搬特性評価、ダイバーシチ効果、及びサービス開始(Bringing into service)判定への伝搬の影響の記載内容を修正し、無給電中継及び周波数ダイバーシチ効果に関する項目を新設した。	WP3M/ 204/3	改訂	
P. 530-12	地上見通し内無線中継方式設計に必要な伝搬データと推定法	マルチパスフェージング分布を最悪月平均値から年平均値に変換する手順の一部を明確化し、降雨または湿った降雪による伝搬減衰を予測する複合的手法を追加するとともに、マルチホップ中継における連続したホップのフェージングの分散予測手法を修正した。	WP3M/ 204/3	改訂	
P. 531-8	宇宙機を含む無線通信システムに影響を及ぼす電離圏効果	Instantaneous statistics の式に関する説明を明確にした。	WP3L/ 218/3	改訂	
P. 531-9	宇宙機を含む無線通信システムに影響を及ぼす電離圏効果	衛星通信システム設計に必要な電離層伝搬予測の計算式及び計算に用いられる変数の定義を訂正した。	WP3L/ 218/3	改訂	
P. 533-8	HF 伝搬予測法	3.6 節 The path operational MUF の係数に	WP3L/ N/A	改訂	

		関する記述を修正し、関連研究課題番号を削除した。			
P. 533-8	HF 伝搬予測法	タイトルを変更し、Part 1～3 の 3 部構成に整理した。Part 1 の 3.6 節の月間特性を追加した。Part 2 の 5.2 節の 7000km までの計算法を修正した。Part 3 の 10 節の Basic circuit reliability を大幅に修正した。	WP3L N/A	改訂	郵便投票 中 (TAP)
P. 618-9	衛星通信方式設計に必要な伝搬データと推定法	2.2.4.1 節サイトダイバースイッチ時の降雨減衰に対する瞬断率推定法を修正し、ダイバースイッチ利得とダイバースイッチ改善係数間の矛盾を解決した。	WP3M/ 206-3/3	改訂	
P. 620-6	1～40GHz の周波数帯における調整距離評価に必要な伝搬データ	最小距離および降雨強度がゼロの場合の扱いを明確化した。	WP3M/ 208/3	改訂	
P. 676-6	大気ガスによる減衰	Annex1 Line-by-line calculation の 22GHz 付近の不連続性を修正した。また、これを受けて Annex2 Approximate estimation の近似式も修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 676-7	大気ガスによる減衰	図 3、6 及び表 3-2 中の誤記を訂正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 682-2	航空移動衛星通信方式設計に必要な伝搬データ	航空衛星移動通信について、航空機着陸時の無線回線へのマルチパス効果による影響を計算する新たなモデルを導入した。	WP3M/ 207/3	改訂	
P. 684-4	約 500kHz 以下の周波数における電界強度計算	2.3 節(Numerical method for calculating resultant field strength and phase) を新設した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3L/ 225/3	改訂	
P. 833-5	植生による減衰	1 GHz 以上の周波数帯に	WP3J/	改訂	

		おける損失計算法を修正し、動的特性についての情報を勧告 P.1410 から移設した。	202/3		
P. 833-6	植生による減衰	3.2 節の誤記を訂正するとともに樹木遮蔽損失推定法である RET(Radiative Energy Transfer)モデルの変数表に新たな測定に基づくデータを追加した。また、RET モデル計算用の入力変数について、対応する樹木の種類及び周波数を拡張した。さらに、植生による遅延拡散モデルに係る節を新設した。	WP3J/ 202/3	改訂	
P. 834-5	対流圏屈折が電波伝搬に与える影響	大気屈折率変化による通路長差の推定式を修正し、Average excess path delay の world map(図 2)をソフトウェアによる出力とした。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 834-6	対流圏屈折が電波伝搬に与える影響	大気中を伝搬する電波の収束または発散の効果による信号損失または増幅の計算手法を改善した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 835-4	大気ガス減衰のための参照標準大気	大気屈折率垂直方向プロファイルを修正し、データベース化した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 837-5	伝搬モデル化のための降水の特性	Annex2 の年間降雨強度統計の 0.01%値のマップを更新し、Annex3 に 1 分間降雨統計量への変換法を新設した。	WP3J/ 201-3/3	改訂	
P. 838-3	推定法に用いる降雨減衰係数モデル	降雨減衰係数計算に用いるパラメータの近似計算式を修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 841-4	年間統計の最悪月統計への変換	Table 1 の Rain rate にキルギスタンと中国のデータを追加し、降雨強度の最悪月統計と年間統計量変換	WP3J/ 210/3	改訂	

		式に雨の多い熱帯および温帯の場合と雨の少ない温帯、極地域、砂漠の場合の式を追加した。			
P. 842-3	HF 無線通信システムの信頼性と適合性の計算	表 3-3 の式の符号を修正した。	WP3L/ N/A	改訂	
P. 842-4	HF 無線通信システムの信頼性と適合性の計算	短波通信システムの信頼性評価に用いる計算式の誤記を訂正した。	WP3L/ N/A	改訂	
P. 1057-2	電波伝搬モデリングに関連した確率分布	Annex2 に対数正規分布とその complementary cumulative distribution の近時計算法を新設した。	WP3J/ N/A	改訂	
P. 1144-4	SG3 の伝搬推定法適用の手引き	表 3-1 (伝搬に関する勧告を取りまとめたもの) について、新規 ITU-R P-シリーズ勧告の追加及び既存の勧告への改訂に伴う変更を行った。	WP3M/ N/A	改訂	
P. 1147-3	約 150~1700kHz の周波数帯における空間波電界強度の推定	2.7 節 Hourly loss factor の遠距離(2000km)関連記述を修正した。	WP3L/ 225/3	改訂	
P. 1147-4	約 150~1700kHz の周波数帯における空間波電界強度の推定	Sea gain の計算に用いる図 8a 及び 8b を修正した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3L/ 225/3	改訂	
P. 1238-4	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋内無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	3 節 Path loss models の表 3-2 に 70GHz 帯測定結果を追加し、7 節 Effect of building materials, furnishings and furniture にガラスの複素誘電率計算式を追加した。また、反射係数の式(7b)を修正し、8 節 Effect of movement of objects in the room に人体遮蔽継続時間特性および地下街伝搬損失計算法を新たに追加した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ 211/3	改訂	

P. 1238-5	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋内無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	MIMO(Multi-Input Multi-Output)方式の伝搬特性推定に必要な角度拡がりに係る節を新設するとともに、反射・透過係数の計算式及び地下街伝搬損失推定式の変数を訂正した。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ 211/3	改訂	
P. 1239-1	ITU 標準電離圏特性	電離層反射を用いる通信について、最高通信可能周波数予測の情報の利用を促進するため、F層電子密度値の変動に関する情報を表として追加した。	WP3L/ 212/3	改訂	
P. 1240-1	基本 MFU、運用 MFU、電波通路の予測法	電離層反射を用いる通信について、勧告 P. 1239 の改訂に伴い、最高通信可能周波数を P. 1239 を用いて予測する手法に係る項目を追加した。	WP3L/ 212/3	改訂	
P. 1321-1	LF/MF 帯におけるデジタル変調技術を用いるシステムに影響を及ぼす伝搬因子	2.1 節の Ground wave mode の説明を修正し、4 節の Variability の説明と表 3 - 1 の数値を更新した。	WP3J/ 225/3	改訂	
P. 1321-2	LF/MF 帯におけるデジタル変調技術を用いるシステムに影響を及ぼす伝搬因子	デジタル変調方式を用いる長波及び中波システムの電波伝搬に影響を与える要因について、地表波伝搬の季節変動及びわずかな位置の変化による変動の情報を追加した。	WP3J/ 225/3	改訂	
P. 1406-1	VHF 及び UHF 帯陸上移動通信業務に関連する伝搬の効果	対象として broadcasting も追加し、タイトルを変更して 3.2.2 節にマルチパスフェージングの項を新設した。	WP3K/ 203/3	改訂	
P. 1407-2	マルチパス伝搬及びその特性のパラメータ化	用語の定義を追加した。また、空間平均と時間平均し	WP3K/ 203/3	改訂	

		た電力遅延プロファイル例を図 1 に載せ、図 2 に遅延スプレッド等の計算で用いる積分範囲等を説明し、従来の説明図より分かり易くした。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。			
P. 1407-3	マルチパス伝搬及びその特性のパラメータ化	マルチパス伝搬特性について、遅延プロファイルにおけるパスの数を決定するためのしきい値の定義を明確化するとともに、到来角度プロファイルのパラメータを新たに定義した。	WP3K/ 203/3	改訂	
P. 1410-3	約 20~50GHz の周波数で運用される陸上広帯域ミリ波アクセスシステムの設計に必要な伝搬データ及び推定法	植生による損失に情報を追加し、ロードダイバーシティ効果の計算法を修正した。さらに、4.1 節「植生の動的影響」を勧告 P. 833 へ移行した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ 203/3	改訂	
P. 3/77 (Rev.1) (P. 1410-4)	約 20~50GHz の周波数で運用される陸上広帯域ミリ波アクセスシステムの設計に必要な伝搬データ及び推定法	対象周波数帯を 20-50GHz から 3-60GHz に拡張した。これに伴い、勧告タイトル及び Introduction から millimetric の単語を削除し、マイクロ波帯の使用を念頭に置いた各種システムの記述を追加した。また、粗面に対する反射・散乱損失モデル及び勧告 P. 1411 の測定結果を参照した建物透過損失情報を追加し、伝搬メカニズムの周波数特性に係る節を新設した。	WP3K/ 203/3	改訂	未発行
P. 1411-3	900MHz から 100GHz	4.2 節 Models of NLOS	WP3K/	改訂	

	の周波数帯における屋外無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	situation の適用領域の一部を 5GHz まで拡張した。また、6 節 Multipath models の節整理と遅延スプレッド測定値テーブル及び、10 節 Fading characteristics を新設した。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	N/A		
P. 1411-4	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋外無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	Table3 のセル定義を修正した。4.2 節 Models of NLOS situation の屋根越え伝搬環境における適用周波数拡張と距離等に対する不連続性の是正、郊外地への適用エリア拡大、ストリート環境での適用周波数拡大を行った。また 4.3 節として UHF 帯低アンテナ高での伝搬損失を追加し、7 節 Number of signal components への新データ追加と表の統合を行った。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ N/A	改訂	
P. 1546-2	30MHz～3GHz 帯陸上通信のためのポイント-エリア伝搬特性推定法	陸・海混合伝搬路に対する電界強度の計算式の修正等を行った。	WP3K/ N/A	改訂	
P. 1546-2	30MHz～3GHz 帯陸上移動通信のためのポイント-エリア伝搬特性推定法	4.3 節の送信アンテナ高が 10m 以下の場合の計算法を修正、8 節の混合伝搬路について説明を追加、13 節の対流圏散乱補正の項と 14 節の 1km 以下での補正の項を修正及び Table4 の計算用パラメータリストを修正した。	WP3K/ N/A	改訂	郵便投票中 (TAP)
P. 1621-1	20THz～375THz における地上～衛星間方式設	エディトリアルな修正を行った。	WP3J/ N/A	改訂	

	計に必要な伝搬データ				
P. 1623-1	地上～衛星間伝搬路におけるフェージング動特性の推定法	フェードスロープ値の累積分布推定式を修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 1791	UWB 機器が他の無線局に与える影響を評価するための伝搬予測	UWB 機器が他の無線局に与える影響を評価するための伝搬予測に係る新勧告案。 1-10GHz の周波数帯に適用可能なUWB 伝搬損失の実験に基づくモデルを記述するとともに、狭帯域通信受信機で受信されるUWB 送信機からの電力の評価手法を提供する。	WP3K/ 211/3	新規	
P. [PATH_SP ECIFIC]	VHF 及び UHF 帯におけるポイント-エリア地上業務のためのパススペシフィック伝搬推定法	VHF 及び UHF 帯における地上業務のためのポイント-エリアパススペシフィック伝搬損失推定法に関する新勧告案。	WP3K/ 203/3	新規	郵便投票 中 (TAP)
P. 1814	地上自由空間光伝送方式設計のために必要な推定法	自由空間光波伝送システム設計に必要な晴天時光波伝搬損失計算法、霧、雨、雪の損失計算法、シンチレーションの影響評価法、太陽光雑音の影響評価法等に関する新勧告案。	WP3M/ 228/3	新規	
P. 1815	降雨減衰差	同一宇宙局に接続した二つの地上局間伝搬路の伝搬損失差統計推定法に関する新勧告案。	WP3M/ 208/3	新規	
P. 1816	UHF 及び SHF 帯を用いる広帯域陸上移動業務のための時間および空間プロファイル推定法	UHF 及び SHF 帯を用いる広帯域陸上移動業務のための遅延及び角度プロファイル推定法に関する新勧告案。 コメント: 日本提案が基礎となっている。	WP3K/ 211/3	新規	
P. 1817	自由空間光伝送方式設計のために必要な伝搬データ	自由空間光波伝送システム設計のために必要な伝搬データ及びその定量的	WP3J/ 228/3	新規	

		推定法に関する新勧告案。			
--	--	--------------	--	--	--

第4章 RAへの対処（SG4関連）

1 研究対象

SG4は、「固定衛星業務」を研究対象としている。

またSG9との合同会合である Joint SG4/9 は、固定業務と固定衛星業務間の周波数共用問題を研究対象としている。

なお、我が国からは、SG4副議長として、阿部宗男(KDDI)を選出している。

2 RA-07に提出される勧告案

RA-07に提出されるSG4の勧告案（SG9との共同提案）及びその評価を表4-1に示す。

新勧告1件と改訂1件が提案されており、我が国はこの提案を支持する。

3 研究課題の見直し

RA-07で検討される、SG4の研究課題及びその評価一覧を表4-2に示す。

次会期の研究課題として、今会期の研究課題50件のうち2件の改訂と8件の削除が提案されており、我が国はこの提案を支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

(1) 研究課題 42-1/4

固定衛星業務における地球局アンテナ特性

【概要】互いに接近したアンテナ間のカップリング、マルチビームアンテナの各ビームの放射特性、20-30GHz を使った Phased array antenna の放射特性についての研究

(2) 研究課題 75-3/4

固定衛星業務における国際間通信のデジタル伝送の性能目標

【概要】ITU-T によって策定される性能基準にあうエラー補正のための符号化、復号化技術等の研究

(3) 研究課題 209/4

静止衛星システムの上り・下りの両リンク用として固定衛星業務に分配された周波数帯の使用

【概要】固定衛星業務における宇宙局からのダウンリンクが、衛星放送業務ファイダリンクアップリンクと周波数スペクトルを共用し得る条件等についての研究

(4) 研究課題 223/4

固定衛星業務ネットワークにおける短時間干渉に対する干渉基準

【概要】ISDN、SDH、その他のデジタル回線のための FSS キャリアそれぞれに対する許容される短時間干渉を決定するために用いられる短時間干渉基準等の研究

(5) 研究課題 245/4

帯域外及びスプリアス発射の制限

【概要】種々の周波数帯における固定衛星業務によるスプリアスの実際の値、固定衛星業務と電波天文業務との共用及び調整技術、帯域外発射及びスプリアス発射条件が適用される領域を決定するための周波数帯幅の定義について研究

(6) 研究課題 247/4

5/7GHzで運用される非静止衛星軌道/移動衛星業務のフィーダリンク地球局に適用されるアンテナ放射パターンの設計目標

【概要】既存のアンテナ放射パターンに関する勧告は、GSOを前提としているため、5/7GHz帯で運用されるNON-GSO/MSSフィーダリンク地球局に適用されるアンテナ放射パターンの設計目標や他NGSO/MSS通信網から衛星受信機に与える干渉に影響を与える要因について研究

(7) 研究課題 248/4

5GHz帯付近の固定衛星システムとワイヤレスデジタルネットワークの周波数共用

【概要】ワイヤレスデジタルネットワーク機器が宇宙方向へ放射する最大輻射電力密度について検討を行うもの。

(8) 研究課題 251-1/4

30-52GHz帯で運用される固定業務と共用を行う固定衛星業務の実現可能性

【概要】固定衛星業務と固定業務の成層圏プラットフォームシステム間の干渉に対する望ましい共用基準について検討を行うもの。

(9) 研究課題 252/4

非静止衛星システムからの干渉に対する付録第30B号プランの保護のための基準

【概要】NGSO通信網から付録第30B号の区域分配又は割当てを保護する上で必要な追加の保護基準及びそれを満たすために必要なNGSO/FSS通信網の制限について研究

(10) 研究課題 263-1/4

IPパケット伝送のための固定衛星業務デジタル回線の性能目標

【概要】衛星を利用したIP通信に関する要求性能、性能改善のための要求事項等を検討するための課題

(11) 研究課題 269/4

グローバルブロードバンド衛星システムのユーザーターミナル(VSAT)のスペクトラム要件と技術的、運用的特徴

【概要】世界的な高速インターネット衛星システムに必要となるスペクトラム要件、周波数帯や、端末の普及に必要な要件を検討するもの。

(12) 研究課題 270-1/4

広帯域信号を用いた固定衛星システム

【概要】広帯域信号を用いた固定衛星システムの適切な特性および他の固定衛星システムに対し有害な混信を与えないための要求条件について検討するもの。

(13) 研究課題 271/4

意図しないアクセスによるSNG間の干渉

【概要】SNG 運用者にとって、どのようなアクセス手順が望ましいか、経済面でどのような搬送波の ID 信号が経済的に採用可能か、どのような訓練や資料が求められているのか等について検討するもの。

4 参考事項

SG4 は、2004 年 10 月、2005 年 11 月、2006 年 9 月に開催され、40 件の新規、改訂及び削除勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを S シリーズ、SNG シリーズおよび SF シリーズに分けて表 4-3、表 4-4 および表 4-5 に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) HEO 離角

2006 年 9 月の SG4 会合において、日本から提出されたアクティブアーク内の HEO 衛星と GS0 arc との地表面における最小離角の計算方法に関する勧告 S.1713 の改訂案が審議され郵便投票により勧告化された。

勧告 S.1713 は RR22 の epdf limit の確認に有用な勧告となっているが、一方、epfd limit が適用されない周波数帯域では、アクティブアーク内の HEO 衛星と特定の GS0 衛星との最小離角を計算できることが有用になる。今回の改訂により、これに対応した計算方法が勧告 S.1713 に追加された。

(2) HEO 関連その他事項

2006 年 3 月の WP4A 会合において、「BR 局長への HEO 定義に関する WP4A としての見解を示す発送文書案」と「HEO に関する ITU-R 関連文書調査結果の作業文書」について、米国から一部文言等の提案があり、審議の結果、承認された。

表 4-1 RA-07に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	対応	備考
SF.[4-9S/H APS-PLIM IT]	47.2-47.5GHz 及び 47.9-48.2GHz 帯におい て宇宙局受信機との周 波数共用を促進するた めの HAPS 利用者端末 の電力決定手法	[概要] 47.2-47.5GHz 及び 47.9-48.2GHz 帯におい て固定衛星宇宙局との共用 を促進するための HAPS 利用者端末の送信電力制 限決定手法について記述 している	WP4-9S/ 251/4-218/9	新規	支持	
S.1587-1	FSS に割り当てられて いる、5925-6425 MHz および 14-14.5 GHz に おける、FSS 衛星を用い た船上地球局の技術特 性について	[概要] WRC-03 の結果を反映し、 C-Band の ESV の例とし て 1.2m のアンテナ径を持 つシステムが追記されて いる。	WP 4 A Q.254/4	改訂	支持	

表 4-2 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	対応	備考
42-1/4	固定衛星業務にお ける地球局アンテ ナ特性	[概要] 互いに接近したアンテナ間のカップリ ング、マルチビームアンテナの各ビーム の放射特性、20-30GHz を使った Phased array antenna の放射特性につ いての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
46-3/4	固定衛星業務にお ける適正なマルチ アクセス特性	[概要] 適正なマルチアクセス方法、勧告化され るべき特性の研究、スペクトラム拡散多 元接続ネットワークの干渉基準等の研 究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期 中に 改訂
55-2/4	移動衛星業務の静 止衛星との接続に 使われる固定衛星 業務のフィーダリ ンク	[概要] 移動衛星業務フィーダリンクと固定衛 星業務フィーダリンクの共用基準、移動 衛星業務の衛星との共用に適した固定 衛星業務ネットワークの研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期 中に 改訂
68-1/4	無線通信規則第 9.21 条の規定の下 での固定衛星業務、	[概要] 無線通信規則第 9.21 条が適用される周 波数帯における固定衛星業務および衛	継続	支持	S3 会期

	衛星間業務および他の宇宙無線業務の周波数共用	星間業務と他の宇宙無線業務との周波数共用のための基準、無線通信規則第9.21条に従って影響を受ける主管庁を決定するための技術的基準等の研究 [評価] 研究課題として適当。			中に改訂
70-1/4	15GHz以上の周波数における固定衛星業務の送信地球局からの許容できない干渉に対する静止軌道の保護	[概要] 15GHz以上の周波数を用いる地球局により引き起こされる干渉に対し、固定衛星業務の静止軌道上の宇宙局を保護する基準のための適切なフォーマット等の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S3 会期中に改訂
73-2/4	固定衛星業務のデジタル回線または回路の有効性とトラフィックへの干渉	[概要] 勧告579に規定されていない衛星無線デジタル回線の使用等の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
75-3/4	固定衛星業務における国際間通信のデジタル伝送の性能目標	[概要] ITU-Tによって策定される性能基準にあうエラー補正のための符号化、復号化技術、エラー修正の解釈等の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
77-1/4	固定衛星業務における国際間通信の映像信号処理	[概要] デジタル衛星システムに発生するエラーを考慮し帯域圧縮技術を用いた衛星の伝送による映像信号の影響、デジタルインターフェース等の研究 [評価] 勧告SNG.1007-1、SNG1152が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。	削除	支持	S2
81-1/4	20-50GHz帯の固定衛星業務、移動衛星業務および複数業務に運用される衛星ネットワーク間の周波数共用	[概要] 移動衛星業務と固定衛星業務のアプリケーションを含むマルチサービス衛星ネットワークに利用されると考えられる技術特性、この帯域における静止衛星および非静止衛星の技術的特性等についての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S3 会期中に改訂
203-1/4	静止衛星軌道の有効利用のための小口径アンテナ使用による影響	[概要] DTH(Direct To Home)業務と固定衛星業務の周波数帯における他の通信業務の干渉、小型地球局アンテナの急増による固定衛星業務周波数帯の静止軌道の効率的な使用等についての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
205-1/4	移動衛星業務に用いられる固定衛星業務の非静止衛星フィーダリンク間の共用	[概要] 非静止軌道MSSに用いられる固定衛星業務フィーダリンクの技術的特徴、移動衛星業務への影響を勘案した場合、非静止軌道移動衛星業務に使用される固定衛星業務フィーダリンクの干渉等についての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
206-3/4	移動衛星業務およ	[概要]	継続	支持	S2

	びその他の宇宙業務に用いられる固定衛星業務の非静止衛星フィーダリンクと静止衛星を用いる固定衛星業務ネットワークとの共用	非静止軌道移動衛星業務ネットワークに使用される固定衛星業務フィーダリンクの技術的特徴、同一の周波数帯を使用する静止軌道固定衛星業務への非静止軌道固定衛星業務からの干渉等についての研究 [評価] 研究課題として適当。			会期中に改訂
208/4	固定衛星業務における衛星ネットワーク間の干渉を評価する統計的・確率的方法の使用	[概要] ネットワーク間干渉の評価のための統計的・確率的な計算要素等の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S3 会期中に改訂
209/4	静止衛星システムの上り・下りの両リンク用として固定衛星業務に分配された周波数帯の使用	[概要] 固定衛星業務における宇宙局が、ダウンリンク周波数を衛星放送業務と共用し得る条件等についての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に改訂
214/4	操作および再構成の可能な衛星ビームの技術的概念	[概要] 操作および再構成可能なビームの周波数調整、概念等についての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
218-1/4	オンボード処理を行う固定衛星業務の衛星と地上ネットワーク間の両立性	[概要] 非静止固定衛星業務ネットワークに関する項目を追加 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
223/4	固定衛星業務ネットワークにおける短時間干渉に対する干渉基準	[概要] FSSキャリアのそれぞれの型に対する許容される短時間干渉を決定するために用いられる短時間干渉基準等の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
226-2/4	衛星を経由するニュースギャザリング及び局外中継放送の高精細度テレビジョン伝送のための携帯型及び可搬型地球局の使用	[概要] SNGと局外中継放送の高精細度テレビジョン伝送のための携帯型及び可搬型送信地球局の目的、またこの目的のために必要な特別な設備、運用条件の研究 [評価] 勧告 SNG1561 が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。	削除	支持	S1
231/4	非静止衛星を用いる固定衛星業務のネットワークと他の固定衛星業務のネットワークとの間の共用	[概要] 非静止軌道 FSS ネットワークで使用されると見込まれる技術特性、同一周波数帯の非静止軌道 FSS ネットワークと他の FSS 利用との間の許容干渉基準(長時間と短時間規格)、可能性ある干渉を分析するために必要とされる干渉計算方法、周波数共用を可能とするために利用可能なスペクトラム共用の可能性と技術的解決方法等の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
232/4	固定衛星業務分配における再生中継処理の利用	[概要] 再生中継機能を有する衛星に用いられる OBP(On Board Processing)の、軌道とスペクトラムの有効利用における優位性の検討	継続	支持	S2

		[評価] 研究課題として適当。			
233/4	専用利用者デジタル衛星通信システム及び関連するアーキテクチャ	[概要] デジタル衛星システムの設計を促進し、全体のコストがかからないネットワークアーキテクチャ、衛星リンクの必要条件、代替のネットワーク・トポロジー、システム・アーキテクチャ、リンクの制御プロトコルを特徴づけるもの、地球局に対してネットワークに必要とされるものの影響、ユーザーとネットワークの規格化されたデジタル・インターフェースで推奨されるものの研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
235/4	無線通信規則第 28 条における電力束密度に従う運用設備の利用	[概要] 電力束密度値を調整するためのエネルギー散乱やバックオフ制御やその他の技術の運用方法を考慮に入れた宇宙システムの実際の設計容量、またこのような調整方法の、適用できる電力束密度の最大値、与えられたサービスエリア、到来角のあるレンジ内で利用する時の技術的方法、サービスエリア内の衛星ネットワークに与える影響の研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
236/4	固定衛星業務のための干渉基準及び計算方法	[概要] 勧告 S.741-2 に含まれない干渉計算方法及び基準についての他の ITU-R 文書に含まれる干渉及び被干渉 F S S キャリアタイプの組み合わせ等に関する研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
237-2/4	10-30GHz 帯における多数の非静止衛星を用いる固定衛星業務システムと固定業務システムとの共用基準	[概要] 固定衛星ネットワークシステムの衛星からの干渉に対する共用基準と干渉計算方法等について検討する [評価] 勧告 SF.1481、SF.1482、SF.1602 が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。	削除	支持	S1
239/4	衛星間リンクを用いるシステム相互間の共用基準	[概要] 衛星間リンク (I S L) 間の共用のための総合システム雑音の配分、同一周波数帯における共用基準、干渉計算法、共用方法等に関する研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
240-1/4	長楕円軌道を用いた固定衛星業務システムと固定業務システムとの周波数共用基準	[概要] 長楕円軌道を用いた固定衛星業務システムと固定業務システムとの周波数共用基準についての検討 [評価] 研究課題として適当。なお、WRC-07 議題 1.18 と関連	改訂	支持	S1 WRC 終了後に変更
244/4	5091-5250MHz 帯の移動衛星業務 (非静止) のフィーダリンクと	[概要] 5000-5250MHz 帯の航空無線航行システムの違いによる 5091-5250MHz 帯の NGSO/MSS からの干渉メカニズムの違	継続	支持	C2

	5000-5250MHz 帯の航空無線航行業務との間の共用	い、NGSO/MSS フィーダリンク地球局の様々な電力レベルにおける既存かつ現行の航空機受信機への干渉、システム性能への劣化、航空無線航行業務からNGSO フィーダリンクへの干渉、両業務の保護基準、両業務の両立のための技術的方法について研究 [評価] 研究課題として適当。			
245/4	帯域外及びスプリアス発射の制限	[概要] TG1/3 において宇宙業務のスプリアス発射について先送りされたことを受け、種々の周波数帯における固定衛星業務によるスプリアスの実際の値、固定衛星業務と電波天文業務との共用及び調整技術、帯域外発射の要件及び測定のための帯域の定義について研究 [評価] 研究課題として適当。なお、decides 1, 3 は RR AP.3 に反映済み	継続	支持	S1 会期中に改訂
246/4	50GHz を超える周波数帯における衛星間業務、地球探査衛星（受動）業務及び他の業務との間の共用	[概要] 50-71GHz、118GHz 付近及び 183GHz 付近の周波数帯における衛星間業務と EESS（受動）業務との共用を可能とする技術的条件、これらの周波数帯で運用される衛星間リンクの特性、周波数共用の観点からの 50-71GHz 帯のうちで衛星間業務の最適周波数帯について研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
247/4	5/7GHz で運用される非静止衛星軌道/移動衛星業務のフィーダリンク地球局に適用されるアンテナ放射パターン設計目標	[概要] 既存のアンテナ放射パターンに関する勧告は、GSO を前提としているため、5/7GHz 帯で運用される NON-GSO/MSS フィーダリンク地球局に適用されるアンテナ放射パターン設計目標や他 NGSO/MSS 通信網から衛星受信機に与える干渉について研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
248/4	5GHz 付近の固定衛星業務と無線デジタルネットワークとの周波数共用	[概要] 標記周波数帯で運用される無線 LAN 等のデジタル無線通信機器から放射される最大放射電力密度の決定要素、デジタル無線機器と固定衛星業務との干渉可能性の決定方法及び周波数共用の可能性について研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
249-1/4	衛星ニュースギャザリングを経由するテレビジョンニュースギャザリングのデジタル伝送のための設備の相互運用性	[概要] SNG のデジタルテレビジョン伝送機器の相互運用に必要なパラメータ等を研究 [評価] 勧告 SNG.1421 が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。	削除	支持	S1
250-1/4	30-52GHz 帯における同一周波数での固定業務と固定衛星業務の周波数	[概要] 標記周波数帯における固定業務と固定衛星業務の周波数共用を行うため、固定衛星業務システムの特性、伝搬による影	削除	支持	S1

	共用の可能性	響、予測される地理的密度、有害な混信の解析法、共用のための技術、共用環境下での性能レベルについて研究 [評価] 勧告 SF.1395、SF.1484、SF.1572、SF.1573 が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。			
251-1/4	成層圏プラットフォーム無線局を用いる固定業務システムと固定衛星業務システムの共用基準	[概要] 固定業務を行う成層圏プラットフォーム無線局と固定衛星業務との共用基準、干渉計算方法、干渉評価における成層圏気体による減衰の考慮、共用が適当な周波数帯について研究 [評価] 研究課題として適当。	改訂	支持	S1 WRC 終了 後に 変更
252/4	非静止衛星システムからの干渉に対する付録第 30B 号プランの保護のための基準	[概要] NGSO 通信網からの付録第 30B 号の区域分配又は割当てに必要な追加の保護基準及びそれを満たすために必要な NGSO/FSS 通信網の制限について研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
253/4	固定業務と周波数を共用する固定衛星業務の非静止衛星地球局のための調整区域の決定	[概要] 同じ周波数帯を使用する FSS 非静止衛星フィーダリンクと地球局の調整区域の決定 [評価] 勧告 SF.1485、SF.1719 が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。	削除	支持	S1
254-1/4	3700-4200MHz 帯および 5925-6425MHz 帯の固定業務の無線局と固定衛星業務で運用される船上地球局の共用可能性	[概要] 3700-4200MHz 帯と 5925-6425MHz 帯の固定衛星業務の静止衛星を經由した広帯域通信船上地球局がどの程度まで固定業務の無線局との共用可能であるかについての研究 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
255/4	3400-3700MHz 帯の固定業務における固定ワイヤレスアクセス (FWA) で用いられる一対多地点システムと共用する固定衛星業務の超小型地球局 (VSAT) のための共用基準	[概要] 3400-3700MHz 帯は、現在 FSS 特に VSAT に分配されている。また特に途上国において、一対多地点の地上固定系 FWA にも利用され、その利用が急増している。なお課題 ITU-R159/9 では固定通信と無線測位との整合性についても研究中である。3400-3700MHz 帯での VSAT と FWA の共用基準を研究したい。 [評価] 勧告 SF.1489 が作成され、研究が完了したことから、削除は適当。	削除	支持	S2
256/4	40.5-42.5 GHz に分配のある固定衛星業務と他業務の共用のための基準と方法	[概要] WRC-97 では、40.5-42.5GHz を Region2、3 と Region1 の一部の国に対して FSS (一次業務) に、また全ての地域に F S の一次業務に割当てた。この周波数帯の FSS (宇宙から地球) ネットワークは、B S S、F S 及び地上放送系放送サービスとの共用が必要となる。40.5-42.5GHz の帯域における F S S、B S S、F S、B S 間の許容可能な長期的、短期的な干渉レベルと時間率がどの程度であるかについて研究する。	継続	支持	C2 会期 中に 改訂

		[評価] 研究課題として適当。			
259/4	固定衛星業務に分配された 14GHz 以上の周波数帯の地球局軸外 e.i.r.p 密度	[概要] NGSO と GSO の周波数共用に関連して、FSS 地球局の軸外輻射レベルの規定を研究する課題の提案 特に、勧告 ITU-R S.524-5 は 14.5GHz 以下に適用されるため、14.5GHz 以上の規定を提案している。 勧告は S.524-5 の改訂あるいは新勧告とし、研究結果を CPM-99 レポートに記述することとなっている。 [評価] 研究課題として適当。なお、30 GHz までは勧告 S.524 に反映済み	継続	支持	S2 会期中に改訂
260/4	衛星ニュースギャザリング利用者ガイド	[概要] S NG ユーザーズガイドに関する新 Question である。 (1) SNG ユーザーズガイドには、どの程度の情報をふくませるのか (2) SNG ユーザーズガイドの内容維持およびアップデートをどのようにしていくのかの決定。さらに今後 (1) SNG ユーザーズガイドのアップデート内容はラポータからの情報による (2) SNG ユーザーズガイドは 2001 年までに完成の決定を Question として提案している。 [評価] ITU のホームページから、電子版 SNG (Satellite News Gathering) ユーザーズガイドが削除されたことから、研究課題の削除は適当	削除	支持	S2
263-1/4	IP パケット伝送のための固定衛星業務デジタル回線の性能目標	[概要] 衛星を利用した IP 通信に関する技術、要求性能等を検討するための課題である。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に改訂
264/4	275GHz 以上で運用される固定衛星業務ネットワークの技術的、運用特性	[概要] 275GHz 以上の周波数における GSO, Non-GSO FSS の技術特性、運用特性について検討を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C2 会期中に改訂
266/4	20/30GHz 帯の静止固定衛星ネットワークと共に運用される高密度固定衛星業務地球局技術的特性	[概要] ユビキタ的に展開された高密度静止固定衛星業務の地球局の技術的特性について検討するもの [評価] 研究課題として適当。なお、勧告 S.1783 と対応している。	継続	支持	C1 会期中に改訂
267/4	固定衛星ネットワークの調整および通告に関する技術的および運用上の検討	[概要] 主官庁および無線通信局 (BR) の両者にとって有益な固定衛星ネットワークの調整及び通告に関する改善を検討するもの。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C2
268/4	打上げ前における衛星不要放射レベ	[概要] 受動業務の受信機が有害な影響を受け	継続	支持	S2

	ルの評価方法の確立	ないように、打上げ前の衛星の不要放射レベルを測定または予測する方法を検討するもの。 [評価] 研究課題として適当。			会期中に改訂
269/4	グローバルブロードバンド衛星システムのユーザーターミナル (VSAT) のスペクトラム要件と技術的、運用的特徴	[概要] 世界的な高速インターネット衛星システムに必要なスペクトラム要件、周波数帯や、端末の普及に必要な要件を検討するもの。 [評価] 研究課題として適当。なお、勧告 S.1782 と対応している。	継続	支持	S1 会期中に改訂
270-1/4	広帯域信号を用いた固定衛星システム	[概要] 広帯域信号を用いた固定衛星システムの適切な特性および他の固定衛星システムとの共用について検討するもの。 [評価] 研究課題として適当。なお、勧告 S.1779 と対応している。	継続	支持	S1 会期中に改訂
271/4	意図しないアクセスによる SNG 間の干渉	[概要] SNG 運用者にとって、どのようなアクセス手法が望ましいか、経済面でどのような搬送波判別法が望ましいか、どのような訓練や資料が求められているのか等について検討を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に新規策定
272/4	37.5-38 GHz および 40-40.5 GHz 帯における FSS と宇宙研究業務との周波数共用	[概要] 37.5-38 GHz,40-40.5 GHz 帯における FSS と宇宙研究業務のシステム運用を共有するためにどのような基準や技術が必要か等について検討を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に新規策定

表 4-3 今会期中に承認された勧告 (S シリーズ)

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/課題番号	新規改訂削除	備考
S.1716	FSS のテレメトリ、トラッキング及びコマンドシステムに対する性能及び稼働率目標	テレメトリ、トラッキング及びコマンドシステムの技術面・運用面における FSS システム設計者のためのガイダンスに関する勧告案	WP4A/236/4	新規	
S.614-4	ISDN の国際コネクションの一部をなす 15 GHz 以下で運用される固定衛星業務の衛星仮想参照デジタルパスに対する許容誤り率性能	ISDN の誤り率性能を規定する ITU-T G.821 の変更点を反映するための改訂。また将来の衛星仮想参照デジタルパスは、その許容誤り率性能を規定する ITU-R S.1062 の最新版に基づくべき旨を記述	WP4A/236/4	改訂	
S.1062-3	15 GHz 以下で運用される衛星仮想参照デジタルパスに対する許容誤り率性能	仮想参照デジタルパス等の許容誤り率を規定する ITU-T G.826 の改訂による変更を含めるための改訂	WP4A/230/4 42/4	改訂	
S.1149-2	SDH トランスポートネットワークの	SDH (同期デジタルハイアラキー) についての ITU-T における変更点を	WP4A/231/4	改訂	

	一部をなす固定衛星業務におけるデジタル衛星システムのネットワーク構造及び機器の機能	反映するための更新	73/4		
S.1522-1	同期喪失及び復帰時間による仮想参照デジタルパスの稼働率への影響	専門用語の更新	WP4A/ 250-1/4	改訂	
S.1717	地球局アンテナパタンのための電子的データファイルフォーマット	より詳細な地球局アンテナパターンを得るために用いるフォーマットに関する勧告案	WP4A/ 236/4	新規	
S.1718	11.7-12.7 GHz 帯における電力束密度及び ITU 無線通信規則付録第 30 条第 1 附属書第 6 節中の電力束密度を超過した場合に使用できる計算手法	FSS 地球局アンテナサイズとシステム雑音温度が特殊な場合に用いるために RR Appendix 30 pfd レベルを拡張した表、及びこの拡張の際に用いる内挿による計算手法に関する新勧告案	WP4A/ 236/4	新規	
S.579-6	15GHz 以下の固定衛星業務における擬似参照回線および擬似参照パスのための稼働率目標	INTELSAT、EUTELSAT の参加が見込めないため、INTELSAT、EUTELSAT が主体となっていた部分の修正は今後の作業とすることとし、勧告修正提案から削除し、新勧告 ITU-R P. 1623 を適応するためのガイダンス	WP4B	改訂	
S.1709	グローバルな広帯域衛星アクセスシステムのためのエア・インターフェースの技術的特性	TIA-1008 の概要、DVB-RCS 規格の概要等を記述	WP4B Q.269/4	新規	
S.1711	衛星ネットワーク経由の TCP 性能改善	衛星 IP ネットワークでスループット低下のメカニズム、RFC 参照項目と、セグメントスプリッティングによる性能改善、PEP による性能改善、各種改善技術を利用した際の実験データ等を記述	WP4B	新規	
S.1503-1	epfd 検証ソフトウェア開発のための機能条件	Res.85(WRC-03)の表現を的確に反映させる改訂	WP4A	改訂	
S.1712	13.75-14GHz 帯において特定の場所にある FSS の地球局が RR 5.502 に規定される pfd 制限値を超えることなく送信可能かを計算する手法、及び超過を軽減するためのガイドライン	決議 144 に基づいて、1.2-4.5m 径の小型 FSS 地球局の導入に際して、RR5.502 の pfd 制限値(沿岸及び国境において-115dBW/m ² /10MHz)を満たすための技術的及び運用に関する方法を記述	WP4A	新規	
S.1713	HEO アクティブアークと GSO の最小離角計算法	HEO アクティブアークと GSO との最小離角計算法および GSO の最大 ΔT/T 増加量について記述	WP4A Q.241/1	新規	
S.731-1	2～約 30 GHz における周波数調整及び干渉評価で用いる参照地球局交差偏波放射パターン	Annex 1 の整合をとるためのエディトリアルな改訂	WP4A	改訂	

S.1714	RR 9.7A 及び 9.7B の下で大口径アンテナの調整を促進するための efd 値算出のための計算法	大口径アンテナに関する調整トリガ (RR 9.7A 及び 9.7B 関連) となる efd 値の算出法について記述	WP4A	新規	
S.1715	決議 140 で要請された研究に定めるために作成されたガイドライン	19.7-20.2 GHz 帯 HEO システムから GSO FSS ネットワークを保護するためのガイドライン	WP4A	新規	
S.1758	HEO 型 FSS システムの特性	HEO 型 FSS システムと他との共用研究を行うため、軌道の特性、アクティブアーク、リピーティングトラック、地球局アンテナ、仰角、GSO アークとのハンドオーバー及び角度識別に関する HEO 型 FSS システムの特性を示している勧告案	WP4A	新規	
S.1759	FSS 帯 HEO システムの定常運用時の TT&C から GSO ネットワークへの干渉解析および HEO システム TT&C の設計・運用ガイドライン	HEO システム TT&C の設計および運用のガイドラインとして、アップリンク及びダウンリンクそれぞれについて、TT&C による干渉への対策案、実装方法及び得失について示している勧告案	WP4A	新規	
S.1432-1	時不変干渉源に対する FSS HRDP の誤り率性能劣化許容値の配分	ITU-R 勧告 S.1432「時不変干渉源に対する FSS HRDP の誤り率性能劣化許容値の配分」における適用周波数を、15GHz 以下から 30GHz 以下とする改訂提案	WP4B	改訂	
S.1001-1	自然災害及び類似した緊急事態における、通知、救済運用のための FSS システムの利用	アナログパラメータからデジタルパラメータへの変更、災害対策システム例の追加、回線設計の再計算、Ka 帯パラメータの追加等を行う改訂提案	WP4A	改訂	
S.524-9	6GHz、14GHz 及び 30GHz で送信する FSS の GSO ネットワークで用いられる地球局からの最大許容軸外 e.i.r.p. 密度	各 NOTE の見直し・統合・削除を行うと共に、Ku 帯 FM-TV 波に関する軸外 eirp レベルの規定を NOTE から recommends へ移動を行う改訂提案	WP4A	改訂	
S.1427-1	5 150-5 250 MHz における地上無線アクセス/無線 LAN 送信機から non-GSO MSS フィーダリンクへの干渉の評価方法と基準	衛星上で無線 LAN からの干渉によるシステム雑音温度の上昇を測定する方法として、本線系に切替器を挿入して雑音温度を比較測定する方法と本線系に基準雑音を重畳して雑音温度を測定する方法の 2 つを追加する改訂提案	WP4A	改訂	
S.1065	11.7-12.2GHz 帯の第 2 地域の FSS と BSS の共用に関する pdf 値	WRC の決定により前提が正しくなくなった勧告であるため、削除を提案	WP4A	削除	
S.1066	12GHz 帯周辺における BSS から別の	WRC の決定により前提が正しくなくなった勧告であるため、削除を提案	WP4A	削除	

	地域の FSS に与える干渉の低減方法	案			
S.1067	12GHz 帯周辺における BSS から隣接周波数帯域の FSS に与える干渉の低減方法	WRC の決定により前提が正しくなくなった勧告であるため、削除を提案	WP4A	削除	
S.1713-1	HEO アクティブアーク内の非静止衛星と静止衛星との地表面における最小離角距離計算方法	HEO 衛星がアクティブアーク端に位置するとき最小になるとは限らないことから、計算方法を修正	WP4A Q.241/1	改訂	
S.1062-4	15 GHz 以下の周波数帯で運用される衛星擬似参照デジタルパスの許容誤り	Annex 1 の Section 3 に α 値を推定する理論上の方法を追加	WP4B Q.75-3/4	改訂	
S.1709-1	グローバルな放送衛星システムにおける空間インターフェースの技術的特徴	TIA Standard の最近のアップグレード (TIA-1008-A) を反映	WP4B Q.269/4	改訂	
S.1061-1	固定衛星業務における戦略的技術的な減衰対策の利用	適応的なトランスミッションスキームの雨による減衰に対抗するため、Annex 1 の Section 3 を修正	WP4B	改訂	
S.1779	広帯域信号を利用する固定衛星業務システムの特徴	固定衛星業務システムにおいて、広帯域信号を使用する際のアプローチの例を記述	WP4B Q.270-1/4	新規	
S.1586-1	電波天文台に対する非静止衛星の固定衛星業務による不要発射レベルの計算	Annex 1 における電波望遠鏡アンテナ利得パターンの数学的モデルを、勧告 RA.1631 に記載されたアンテナ・パターンに変更	WP4A Q.236/4	改訂	
S.1780	17.3~17.8GHz 帯における静止衛星軌道の固定衛星業務と放送衛星業務との間の調整	17.3-17.8GHz 帯の全体や部分における、Region 2 を覆う BSS ネットワークと Region 1 や 3 を覆う FSS ネットワークとの間の双方向システムコーディネーションの問題について記述	WP4A 決議 901	新規	
S.727-2	VSATs 端末の超小型開口部からの交差偏波分離	VSAT アンテナの利得が大きく下がる軸からの角度を求める経験的な式を提案	WP4A Q.23-1/4	改訂	
S.1781	様々な場所に配置される地球局から構成される双方向 GSO FSS ネットワークにおいて周波数共用を可能とする手法	RA と WRC03 で提起された問題に取り組むため、衛星を通じた高速インターネットアクセス提供の可能性のための予備的な研究	WP4A Q.209/4	新規	
S.1782	FSS システムによるグローバルなブロードバンドインターネットの可能性	RA と WRC03 で提起された問題に取り組むため、衛星経由での高速インターネットアクセスの提供の可能性のための予備的な研究	WP4A Q.269/4	新規	
S.1783	固定衛星業務 (HDFSS) における高密度アプリケーションの技術的且つ操作的特徴	静止衛星を使うための、固定衛星業務の高密度アプリケーション中に地上局ユーザーを含む既存、または計画段階のネットワークのパラメータの組を EXCEL データベース形式で	WP4A Q.266/4 決議 143	新規	

		提供			
--	--	----	--	--	--

表 4-4 今会期中に承認された勧告 (SNG シリーズ)

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	備考
SNG.1710	SNG キャリア国際 アクセス手順	SNG キャリア国際アクセス手順を 記述	WP4B	新規	

表 4-5 今会期中に承認された勧告 (SF シリーズ)

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	備考
SF.1601-1	高度プラットフォーム局を用いる固定業務のダウンリンクから、27.5-28.35GHz 帯能動アークと静止衛星を用いる固定衛星業務のアップリンクへの干渉評価のための方法	HAPS と固定衛星業務との共用に関する勧告 recommends に should を挿入し、Annex 1 に記載の「study(studies)」を「analysis(analyses)」に変更するなど、表現を修正	WP4-9s	改訂	
SF.1601-2	高度プラットフォーム局を用いる固定業務のダウンリンクから、27.5-28.35GHz 帯能動アークと静止衛星を用いる固定衛星業務のアップリンクへの干渉評価のための方法	HAPS を用いる FS のダウンリンクから、GSO 衛星を用いる FSS のアップリンクへの干渉を見積もるために C/I 評価に基づいた方法を提案	WP4-9s	改訂	
SF. 1650-1	ESV が地上システムに有害な干渉を与えないで運用できる最小距離	ESV が地上システムに有害な干渉を与えないで運用できる最小距離の勧告に対する修正	WP4-9S/ 226/9 251/4	改訂	
SF.1707	多数地球局展開時の FS との調整を促進する方法	多数の FSS 地球局導入 (いわゆる high-density 型) に伴う FS 局との干渉計算手法、調整手続きの簡易化に関する新勧告案	WP4-9s	新規	
SF. 1719	27.5-29.5 GHz帯におけるGSO及び non-GSO-FSS地球局とP-P 及び P-MP FS間の共用	27.5-29.5 GHz帯におけるGSO及び non-GSO-FSS地球局とP-P 及び P-MP FS間の共用に関する勧告	WP4-9S/ 206-2/9 237-2/4	新規	

第5章 RAへの対処（SG6関連）

1 研究対象

SG6は、「放送業務」を研究対象としている。

我が国からは、副議長として、熊田純二氏（NHKアイテック）を選出している。

2 RA-07に提出される勧告案

RA-07に提出されるSG6の勧告案及びその評価を表5-1に示す。

PLTシステムから放送システムを保護するための勧告案については、各国のPLT運用状況も考慮し、PLTと放送が共存できるような現実的な条件となるよう適宜対処する。

3 課題の見直し

SG6における次会期の研究課題及びその評価一覧を表5-2に示す。今会期、116件の研究課題があったが、次会期の研究課題として、14件の削除が提案されている。次会期の課題は、我が国として、支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

（1）研究課題 2/6

デジタル音声制作における利用に適したオーディオ測定特性（研究課題 2/6）

【概要】

番組によって音声レベルが異なる状況を避けるためのデジタルの特性に合わせた新たな音声レベルの測定方法並びに音声の平均レベルの伝達方法等を研究する。

（2）研究課題 22/6

放送衛星業務（音声及びテレビジョン）のための衛星軌道及び宇宙局の技術

【概要】

放送衛星業務（音声及びテレビジョン）のための衛星軌道と宇宙局の技術特性について研究する。21GHz衛星の研究が該当する。

（3）研究課題 32/6

有線通信、産業・科学・医療用機器、短距離通信デバイスからの干渉に対する放送システムの保護要求条件

【概要】

近年増加してきているISM機器及び短距離通信デバイスから発生するノイズが、放送の受信に干渉を与える可能性がある状況に鑑み、様々な放送システムの保護要求条件（放送システムのプランニングパラメータ、並びに電力線、ISM機器及び短距離通信デバイスから放送受信アンテナまでの距離等）について研究する。

(4) 研究課題 86/6

テレビ信号系の各部分に対する技術的特性及び関連テスト方法の全体調整

【概要】

異なるテレビ信号系を全体として技術的に機能させるための全体調整と、関連するテスト方法について研究する。セーフティ領域の確保等が該当する。

(5) 研究課題 118-1/6

放送による公衆警報および災害救援

【概要】

地震、津波等の災害発生時に、被害を最小限に抑えるための手段として、放送に利用した公衆警報について研究する。

4 参考事項

SG6は、2003年9月、2004年5月、2004年11月、2005年3月、2005年10月、2006年3月、2006年9月、2007年5月に開催され、103件の新規及び改訂勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表5-3に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) デジタル放送の移動・携帯受信 (研究課題 45-1/6)

SG6では各国の移動体向け放送方式に関する勧告を作成中である。日本からはワンセグ放送に関してISDB-T、デジタルラジオ放送方式としてISDB-TSB、モバイル放送が実施している2.6GHz帯衛星デジタル音声放送のBS.1547 System Eについてこれまでに寄与してきたところである。これらを含む標準的な6方式(ISDB-T、ISDB-TSB、BS.1547 System E、DVB-H、T-DMB、Media FLO)について、勧告案が採択され、現在承認手続き中。

(2) 大型スクリーンデジタル映像 (LSDI) (研究課題 15-1/6)

現行のHDTVを超える大画面映像伝送技術は世界的に日本がリードしており、これまで伝送方法、圧縮方式、基本要件条件等、積極的に日本から寄与を行い、検討が進められてきたが、米国の強硬な反対により、勧告化が持ち越されていた。2006年3月会合では、韓国からの21GHz帯衛星に関する部分を削除する提案と、米国の「映画と関連づけない」という意見を取り入れる形で改訂を行い、勧告化が行われた。2006年8月会合では、TG6/9が解散することが承認され、LSDIに関する所掌はTG6/9からSG6の各WPへ移管させることとなった。今後は各WPがそれぞれ独立した課題としてテキストを作成し、採択・承認はSG6の判断で行われることとなった。

(3) 災害救援無線通信 (WP6E 及び WP6S) 関連 (研究課題 118/6)

本研究は、スマトラ島沖津波を契機に、無線通信局長から災害の被害の軽減と救済に関する研究の要請を受け、2005年4月より着手したものであり、WP6Eと

WP6S の共同で研究が行われている。2006 年 3 月会合では、日本寄与の新勧告案を基に勧告化が行われ、新勧告 B0/BT. 1774 として承認された。2006 年 9 月会合では、日本提案「アナログ緊急警報放送の制御信号」と韓国提案の制御信号 (FM 多重放送、TV 多重放送) がともに、既存勧告 B0/BT. 1774 の改訂案として盛り込まれた。また、韓国の例が勧告 B0/BT. 1774 の付録 (Appendix) に追加された。さらに、各国の取り組みについての情報を追加するために、各国からの寄与が要請された。

表 5 - 1 RA - 07 に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP 課題番号	新規 改訂 削除	対応	備考
Doc 6/229 (Rev. 1)	PLTシステムからの影響 に対する80MHz以下のLF, MF, HFおよびVHF帯の放送 システムの保護要求	[概要] PLT システムから放 送システムを保護 することを目的と して、PLT システム から漏洩する電磁 波強度に対する運 用条件を勧告する もの。	WP6E 32/6	新規	*	

* PLT について、我が国の運用条件は、他国のものよりも厳しいものとなっているが、本勧告案においては、現在、我が国を含め各国で利用されている PLT の運用条件よりも相当程度厳しい条件が提示されている。このため、各国の見解が分かれることが予想されるところであり、PLT と当該放送システムの共存について現実的な条件となるよう対処する。

表 5-2 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	対応	備考
1/6	デジタルテレビジョン 放送向けの番組制作及 び交換のためのデジタ ル映像フォーマット	[概要] SDTV (480i 及び 480p) と HDTV の既存勧告の間の映像フォー マットについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
2/6	デジタル音声制作にお ける利用に適したオー ディオ測定特性	[概要] 番組によって音声レベルが異 なる状況を避けるためのデジ タルの特性に合わせた新たな 音声レベルの測定方法並びに 音声の平均レベルの伝達方法 等を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
3/6	放送衛星業務における 多重サービス及び番組 のデジタル放送	[概要] 放送衛星業務における多重サ ービス及び番組のデジタル放 送のための技術的事項につい て研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
4-2/6	地上チャンネルを使用 するデジタルテレビジ ョン放送のためのプラ ニング基準	[概要] 地上デジタル放送のプランニ ングのための最小電界強度や 混信保護比等のパラメータに ついて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会 期 中 に 改訂
5-1/6	勧告 ITU-R BT. 656 及び BT. 1120 に基づき、かつ 互換性のあるテレビジ ョン制作スタジオにお けるパケットデータの シリアルデータ伝送方	[概要] 勧告 BT. 656 及び BT. 1120 を基 本としたインタフェースを用 いてパケットデータを伝送す る方法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	

	法				
6-1/6	デジタルHDTV符号化規格	<p>[概要] デジタル HDTV の符号化規格を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
7/6	ウェブキャスト及びその補完データサービスのためのインタフェース	<p>[概要] ウェブキャスト(プッシュ型ウェブ配信)及びそれを補完するためのデータサービスのインタフェースについて研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
8/6	自動音声メタデータ抽出システムの評価法	<p>[概要] 自動音声メタデータ抽出方法の品質評価方法、精度などについて研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
9/6	アナログ及びデジタル地上テレビジョン放送のユニバーサル送信機及び再送信機	<p>[概要] 地上デジタル TV 放送の導入に当たり、既存のアナログ放送装置との共用について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
10/6	エンハンスドテレビジョン	<p>[概要] 新たなアプリケーションに対応できるようなエンハンスド TV 用番組制作及び国際番組交換のためのデジタルコンポーネントフォーマットについて研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	削除	支持	
11/6	地上放送業務における放射偏波	<p>[概要] 同一チャンネルの混信妨害を軽減するための円偏波及び楕円偏波について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
12-1/6	デジタルテレビジョン信号 (SDTV、EDTV 及び HDTV) の制作、投稿、一次及び二次分配、送出、及び関連応用のための汎用ビットレート低減符号化	<p>[概要] 異なる分野に応用するための一般的な符号化について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
13/6	マルチメディアの発展と共通コンテンツフォーマット	<p>[概要] 放送環境下におけるマルチメディアアプリケーションに必要な API 等について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
14/6	地上テレビジョン放送周波数計画に必要とされるデジタル及びアナログ-デジタルテレビ	<p>[概要] DTTB 開始時に周波数割当て、使用計画に必要とされるデジタルとハイブリッド TV 受信機</p>	継続	支持	

	ジョン受信機及び受信アンテナ特性	及び受信アンテナの特性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。			
15-1/6	LSDI	[概要] デジタル・シネマの性能、評価基準、運用基準、運用方法、35ミリフィルムへの変換方法、地上又は衛星による配信方法等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
16-1/6	デジタル双方向放送システム	[概要] 異なる受信メディアにおける受信機側から放送局側へのリターンデータのシステム間の共通化等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
17/6	デジタル放送環境でのデータ放送	[概要] データの packets 化、符号化に推奨されるべきメカニズム等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
19/6	低ビットレート音声符号化規格	[概要] 低ビットレート音声符号化基準について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
20/6	デジタル HDTV スタジオインタフェース	[概要] デジタル HDTV スタジオインタフェースについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
21/6	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）の受信システム特性	[概要] 放送衛星業務（音声及びテレビジョン）の受信システムの特性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
22-1/6	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）のための衛星軌道及び宇宙局の技術	[概要] 放送衛星業務（音声及びテレビジョン）のための衛星軌道と宇宙局の技術特性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
23/6	携帯及び車載用受信機による個別受信のための放送衛星システム（音声）の特性	[概要] 携帯又は車載用受信機の個別受信のための放送衛星システム（音声）の特性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
24-1/6	国際交換のための光磁気ディスクへのテレビジョン番組の記録	[概要] 国際交換のための光磁気ディスクを利用した TV 番組の記録について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	

25-1/6	音声番組及びテレビジョン記録並びにテレビジョン用フィルムの国際交換及び長期保存のための ID データの統一	[概要] テレビジョンのための音声プログラム、テレビジョン録画及びフィルムの国際交換のための ID データの統一について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
26-1/6	双方向衛星放送システム（テレビジョン、音声及びデータ）	[概要] 双方向衛星放送システムに求められるサービス、リターンチャンネルの技術的特性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
27/6	30MHz 以下の音声放送用受信機	[概要] 30MHz 以下の音声放送用受信機について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
28/6	熱帯地域におけるバンド 7 (HF) での短距離放送	[概要] 熱帯地域におけるバンド7(HF)での短距離放送について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
29/6	FM 音声放送における単一送信機での補助情報の送信	[概要] FM 音声放送における単一送信機での補助情報の送信について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
30/6	VHF、UHF 用送受信アンテナ	[概要] VHF、UHF 用送信及び受信アンテナについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
31-1/6	地上デジタルテレビジョン放送	[概要] 地上デジタルテレビジョン放送について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
32/6	有線通信、産業・科学・医療用機器、短距離通信デバイスからの干渉に対する放送システムの保護要求条件	[概要] 近年増加してきている ISM 機器及び短距離通信デバイスから発生するノイズが、放送の受信に干渉を与える可能性がある状況に鑑み、様々な放送システムの保護要求条件（放送システムのプランニングパラメータ、並びに電力線、ISM 機器及び短距離通信デバイスから放送受信アンテナまでの距離等）について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
33/6	デジタル音声符号化及びインタフェースの規格	[概要] スタジオ音声設備については、それぞれ異なる符号化パラメータが要求されることなどから、デジタル音声設備間のイン	継続	支持	

		タフェース及び伝送符号化方法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。			
34/6	プロ用テレビジョン、LSDI 環境における音声、映像、データ、メタデータ交換用ファイルフォーマット	[概要] 様々な分野に蓄積システムが浸透し始め、ファイルフォーマット及びファイル交換技術が相互運用性及び製造過程などの観点から重要な利点を生み出すことから、将来のユーザ需要に適したファイルフォーマット構造について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
35/6	音声番組及びテレビジョン放送番組挿入のための全遅延時間の許容値	[概要] テレビジョン番組のための信号経路と音声番組のための信号経路の参考モデルを求め、それぞれについて許容できる全遅延時間を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
36/6	国際番組交換のためのHDTVスタジオ規格	[概要] 国際番組交換のために勧告すべき共通のHDTVスタジオ規格を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
37/6	多チャンネル音声システムのためのシステムパラメータ	[概要] マルチチャンネル音声システムの制作、操作、互換性に関して最も効果的な方法を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
38/6	カラーテレビジョン信号のデジタル符号化規格	[概要] テレビジョン制作、記録等で使用される符号化規格について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
39/6	デジタル音声技術基準	[概要] 音声のデジタル技術による劣化特性の基準について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
40/6	超高細度映像 (EHRI)	[概要] 放送及びそれ以外の業務に使用する超高細度画像の規格について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
41/6	編集及び多段接続補助用デジタルのための補助信号	[概要] テレビジョン信号圧縮のための編集及び多段接続補助符号化の開発と基準化について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	

42/6	デジタル映像信号のためのインタフェース	<p>[概要] デジタル映像信号インタフェースについて符号化・メディア等を考慮し研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
43/6	投稿及び配信系統における複数番組テレビジョンに対するデジタル符号化	<p>[概要] 複数番組テレビジョンに対するデジタル符号化に関し、共用と符号制御システムについて研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
44-3/6	デジタルテレビジョン映像の客観画像評価パラメータとその測定及びモニター方法	<p>[概要] デジタルテレビジョン映像の客観品質評価パラメータとその測定及びモニター方法について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に改訂
45-1/6	移動受信のためのマルチメディア及びデータ放送	<p>[概要] 将来における、移動受信環境でのマルチメディア、データ放送の促進のため、使用者側の要求条件や、必要なシステム特性等の研究をする。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に改訂
46-1/6	放送における制作とポストプロダクションのためのメタデータ	<p>[概要] プロダクション及びポストプロダクションの過程において、メタデータをどのように定義し、どのように機能させていくか研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に改訂
47/6	テレビジョンにより引き起こされる光感受性発作の防止	<p>[概要] 医学的データの技術的モデル化、モデルに基づく検出装置、主管庁・放送事業者や番組制作者・民生機器製造事業者への技術的ガイダンスの策定等について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
48/6	放送サービス中の知覚音声品質監視法	<p>[概要] 放送網でサービス中の知覚音声品質監視について、適当な方法・技術を研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	
49/6	限定受信放送システム	<p>[概要] 限定受信放送システムにおける伝送方法及びアクセス制御等について研究する。</p> <p>[評価] 特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に改訂
50/6	任意の周波数帯で運用する地上放送送信システムからの非電離放射曝露に関する電磁界評	<p>[概要] 地上放送送信システムの近傍における電束密度及び電磁界の強さを評価しその影響を研</p>	削除	支持	

	価	究する。 [評価] 特段の問題はない。			
51/6	LF、MF 及び HF 放送の 空間波受信	[概要] 送信機の地理的条件、周波数、 季節変動等による受信特性の 変化並びにデジタル変調技術 を導入した場合に期待される 特性改善について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
52-1/6	LF、MF 及び HF 放送の カバレッジ	[概要] 周波数効率良くサービス区域 をカバーするための要件につ いて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会 期 中 に 改訂
53/6	HDTV 及び EDTV を含む 地上又は衛星放送にお けるテレビジョン1チ ャンネルあたりの複数 音声信号の送信のため の規格	[概要] デジタル変調を使用するもの を含む地上テレビジョン及び 衛星放送において、映像信号に 対して複数音声信号を統合す る場合の送信基準について研 究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
54/6	聴力障害者向け音声方 式	[概要] 聴力障害者向けの音声システ ムとして、適切なダイナミック レンジ、技術パラメータ値及び 受信機の可聴性改善について 研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
55/6	デジタル技術を使用し た放送用音声品質の主 観評価	[概要] デジタルシステムに関して、主 観評価と客観的測定の関係 を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
56-1/6	車載、携帯又は固定受 信向けの地上デジタル 音声放送方式の特性	[概要] 車載、携帯又は固定受信のため の地上デジタル音声放送シ ステムの特性について研究す る。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会 期 中 に 改訂
57/6	1-3GHz 帯の周波数に おける放送衛星業務 (音声) の導入に関す る周波数共用問題	[概要] 放送衛星業務(音声)の静止・ 非静止衛星についての技術的 特性と周波数共用について研 究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
58/6	国際交換のための音声 番組記録	[概要] 国際番組交換のために最適な 記録メディアと記録フォーマ ットについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
59/6	音声放送番組の長期保 存	[概要] 放送目的で蓄積されるデジタ	継続	支持	

		ル・アナログ音声の信号フォーマット及び蓄積メディアへの最適な記録方法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。			
60/6	30MHz 以下の周波数におけるデジタル放送	[概要] 30MHz 以下の LF、MF 及び HF バンドにおいてデジタル放送導入のための研究をする。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
61/6	1-3GHz 帯の周波数における放送衛星業務（音声）導入に関する周波数管理問題	[概要] 衛星による音声放送サービス導入のための効率的な周波数管理法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
62/6	音声品質における小規模、中規模及び大規模な品質劣化の主観評価法	[概要] 音声品質における主観評価法について研究を行い勧告 BS. 1116 の改訂を課題とする。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
63/6	主観リスニングテストにおけるヘッドホンの音量校正	[概要] 主観評価方法におけるヘッドホンの音量校正について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
64-1/6	30MHz 以下の周波数でのデジタル放送のためのプランニング基準	[概要] 30MHz 以下の（LF、MF、及びHFバンドにおける）デジタル放送のプランニングパラメータについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
65/6	音声放送のためのスペクトル要求条件	[概要] 地上音声放送や既存及び将来の業務を考慮したデジタル放送に求められるスペクトル要求条件について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
66/6	音声放送番組挿入のための音声符号化体系	[概要] 遠隔対話への応用に適している音声符号化フォーマットについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
67/6	音声と映像の主観評価手法	[概要] 映像と音声を知覚することに関し品質と考えられることについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
68/6	音声及び画像信号を満足に受信するための同期必要性	[概要] 同期の許容値及び画像と映像信号で参照されるべき同期信号について研究する。 [評価]	削除	支持	

		特段の問題はない。			
69-1/6	反射波がある場合の満足すべきテレビジョンサービスの条件	[概要] テレビジョン受信機が満足すべき直接波と遅延波の比について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
70/6	放送衛星（音声及びテレビジョン）用フィーダリンクの周波数共用	[概要] 放送業務のフィーダリンク用周波数において、固定衛星業務及び地上業務との共用について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
71/6	放送衛星業務におけるHDTV と他業務の共用研究	[概要] 放送衛星業務でHDTV 放送をする場合の適切な技術的事項や12GHz、17GHz 及び 21GHz 帯での他業務との共用について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
72/6	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）におけるデジタル技術	[概要] 放送衛星業務でのデジタル技術適用に関して、最適な符号化等の技術を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
73-1/6	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）及び関連フィーダリンク用送受信アンテナ	[概要] 放送衛星業務及びフィーダリンク用送受信アンテナについて、経済的側面も考慮し最適なものを研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
74/6	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）の宇宙局からの不要輻射	[概要] 放送衛星業務、他業務を保護するために要求される放送衛星業務宇宙局からの不要輻射の制限について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
75/6	放送衛星の周波数特性の保守・試験のためのテレメトリ、トラッキング、コマンド信号及び試験信号	[概要] テレメトリ、トラッキング、コマンド信号及び試験信号についての特性及び混信保護比等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
76/6	HDTV 衛星放送	[概要] HDTV システムの最適なパラメータ及び衛星送信のためのチャンネル構成等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
77-1/6	国際交換のためのテレビ番組用デジタル記録	[概要] 小型機器での磁気テープへの記録手法についてだけでなく、ディスクやメモリーなど新た	継続	支持	会期中に

	における手法と実施	な記録媒体にも適用範囲を広げ、かつ小型機器に限定しないこととした。 [評価] 特段の問題はない。			改訂
78-1/6	国際交換のためのHDTV番組のデジタル記録	[概要] HDTV番組の国際交換のための操作基準、記録フォーマット及び技術的事項について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
79/6	テレビジョンの放送系と非放送系の規格の調和	[概要] ISO/IECなどと連携し、放送系と非放送系の規格の調和について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
80/6	狭帯域地上チャンネルにおけるデジタルテレビジョン放送のための符号化	[概要] 地上テレビジョンチャンネルにおいてHDTV等の信号を符号化及び多重化し導入していくための最適な方法を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
81-1/6	文字やグラフィックを含むテレビ画質の主観評価法	[概要] 地上テレビジョンチャンネルにおいてHDTV等の信号を符号化及び多重化し導入していくための最適な方法を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
82/6	12、17及び21GHz帯で運用される放送衛星へのフィーダリンクの技術特性	[概要] 放送衛星のフィーダリンクとして最適な周波数チャンネル及び軌道位置ごとの必要な周波数特性等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
83/6	可搬及び固定受信機による受信のための放送衛星業務（音声及びテレビジョン）のシステム特性	[概要] 移動及び固定受信機による受信を考慮した放送衛星業務のシステム特性について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
84/6	放送衛星業務（音声及びテレビジョン）の混信保護比研究とシステムプランニング	[概要] 放送衛星業務の信号について、重要な混信保護比の組み合わせを明らかにし、この混信保護値を導出する研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
85/6	マルチサービス宇宙局からの放送衛星業務、固定衛星業務に対するテレビジョン番組の同時送信	[概要] マルチサービス宇宙局からBSS、FSSの周波数帯においてテレビジョン番組を同時に送信するための研究する。 [評価]	継続	支持	

		特段の問題はない。			
86/6	テレビ信号系の各部分に対する技術的特性及び関連テスト方法の全体調整	[概要] 異なるテレビ信号系を全体として技術的に機能させるための全体調整と、関連するテスト方法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
87/6	デジタルテレビジョン符号化における捕捉及び復帰時間	[概要] テレビジョン信号の符号化による捕捉及び復帰時間への影響とその最小化について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
88/6	立体テレビ画像の主観評価	[概要] 立体テレビ画像の画質主観評価のための最適なディスプレイシステムと物理的パラメータ及び視聴者への影響について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
89-1/6	電子ニュース取材(ENG)のユーザ要求	[概要] ENGに特有の画質、音声及び装置等のユーザ要求条件について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
90/6	長期番組保存のためのテレビジョン記録フォーマット	[概要] 長期番組保存のため推奨されるテレビジョン記録フォーマットの要求条件について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
91/6	国際交換のためのテレビジョン番組の記録	[概要] デジタル記録されたHDTV番組の国際交換のためのフォーマットを研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
92/6	テレビジョンでのシネマトグラフィックフィルムの使用	[概要] 番組交換の信頼性を確保したフィルムへの番組素材記録のための基準を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
93/6	電子ニュース取材(ENG)の周波数要求条件	[概要] ENGのための最適な周波数について、運用面及び他業務との共用を含めて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
94/6	放送衛星業務及び固定衛星業務による直接家庭配信(DTH)応用のた	[概要] 軌道・周波数資源への平等アクセスの確保及びアクセスの柔	継続	支持	

	めの軌道・周波数資源へのアクセス	軟性の向上のために、BSS と FSS の技術的区別や無線通信規則 (RR) の改正のあり方について研究する。 [評価] 特段の問題はない。			
95/6	テレビジョン放送応用におけるコンピュータ技術の使用	[概要] テレビジョン放送応用にコンピュータ技術を適用した場合の技術的事項について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
96-1/6	番組制作におけるテレビジョン記録のためのファイル管理及び伝送プロトコル領域におけるユーザ要求	[概要] 2 台の装置間でデータを転送する際のファイル管理、転送プロトコル、及びデータインタコネクトの問題を解消することについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
97-2/6	テレビジョンの色再現における品質の評価及び最適化	[概要] 色画像のカラリメトリック品質の最適化についてアルゴリズム過程を研究し、送信系での技術的事項を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
98-2/6	将来のテレビジョンシステムにおける適応画像品質の向上	[概要] 将来のテレビジョンシステムにおいて画像品質の適応制御を行う場合の技術的事項とその影響について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
99/6	マルチメディア環境における品質、品質評価方法及びアプリケーション型式的関係	[概要] マルチメディア環境における映像及び音声の品質、品質評価方法及びアプリケーションについての技術的事項について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
100/6	テレビジョン及びマルチメディア画像品質レベル	[概要] 映像送信を含む放送環境におけるテレビジョンシステムの画像品質を基準とした、干渉、論理性及び効果による分類について研究する [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
101/6	テレビジョンのための複製防止信号の放送	[概要] 放送事業者と公衆のための権利処理の要求条件について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
102/6	音声及び映像品質の主観評価方法	[概要] 音声と映像の受信において、試験方法、技術的事項を考慮した主観評価法について研究する。	継続	支持	

		[評価] 特段の問題はない。			
103/6	コンポーネントデジタルスタジオでの参照信号	[概要] コンポーネントデジタルスタジオでの最適な基準信号について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
104/6	第二地域の17.3GHz-17.8GHz、第一・第三地域の21.4GHz-22.0GHzにおけるBSSネットワーク及び関連するフィードリンクの共用基準	[概要] 17GHz帯(第二地域)、21GHz帯(第一、第三地域)が、NGSO/FSSなど他の業務と周波数共用するための、BSSの保護基準を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
105/6	テレビジョン放送のスペクトラム要求条件	[概要] デジタル放送への移行期間、及び移行完了後における地上放送用スペクトラムに関する要求事項を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
106-1/6	HDTV番組評価のための国際テープ交換に使用される記録フォーマット	[概要] HDTV番組評価のための国際交換フォーマットを研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
107/6	BSSの基準アンテナパターンの定義およびその適用範囲の調和	[概要] 研究課題Q73/6の改訂案において、本研究課題の内容が統合されたため、削除を行うもの。 [評価] 特段の問題はない。	削除	支持	
108/6	熱帯地域におけるバンド7(HF)でのデジタル放送	[概要] 熱帯地域におけるバンド7(HF)でのデジタル放送について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
109/6	配信と放送網のサービス中の知覚音声映像品質の監視	[概要] 放送サービス中の知覚音声映像品質について監視する最適な方法と技術を研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
110/6	テレビジョン制作における投稿番組素材の要求処理マージン	[概要] 投稿番組素材に関して、テレビジョン番組制作過程で許容できる取り扱いについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	
111-1/6	インタラクティブ放送システム(テレビ、音声及びデータ)におけるエンドユーザーのプラ	[概要] インタラクティブ放送におけるユーザからの情報流出を防ぐための技術的対策を研究す	継続	支持	会期中に改訂

	イバシー保護のための技術手段	る。 [評価] 特段の問題はない。			
112/6	放送番組の記録、保存、再生におけるデジタルサーバを利用した設備の機能に関するガイドライン	[概要] デジタルサーバを運用するにあたって必要な設備ガイドラインについて研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に改訂
113/6	放送システムを通じたLSDI上映場所から/へ（to and from LSDI）のインタラクティブ情報の配信	[概要] 放送システムから LSDI 上映場所への配信、上映場所間でのネットワーク接続のための技術条件、放送システムに提供されたコンテンツを有する LSDI 上映場所における技術条件等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に新規策定
114/6	周波数プランニングに必要なテレビ受信機と受信アンテナ特性	[概要] テレビジョンの周波数プランニングの検討に資するために、必要な情報として、テレビ受信機及びアンテナ特性等について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に新規策定
115/6	テレビ映像及びマルチメディア映像の位相合わせ（レジストレーション）手法	[概要] 客観画質評価のために、基準画像と符号化画像の位相合わせに関する手法について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に新規策定
116/6	国際交換を目的とした音声信号の技術品質のパラメータおよび許容限界	[概要] 国際番組交換において、音声信号レベルに関するパラメータと許容度について研究する。 [評価] 特段の問題はない。	継続	支持	会期中に新規策定

117/6	番組のデジタル記録及びアーカイブに関するメタデータのためのユーザ要求条件	<p>[概要]</p> <p>研究課題 Q46/6 の改訂案において、本研究課題の内容が統合されたため、削除を行うもの。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	削除	支持	
118-1/6	放送による公衆警報および災害救援	<p>[概要]</p> <p>災害救援無線通信における地上放送業務及び衛星放送業務の役割等について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に改訂
119/6	HDTV信号をHD-SDIで伝送するためのロスレス及び知覚的ロスレスのビットレート削減の使用	<p>[概要]</p> <p>既に HDTV 用 VCR ではロスを伴う圧縮技術を使用していることもあって、ロスレス符号化に加えて知覚的ロスレスの符号化についても研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
120/6	第2地域におけるデジタル音声放送	<p>[概要]</p> <p>第2地域におけるデジタル放送の協定に、デジタル音声放送を含めたもの。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
121/6	ワイヤレスマイクの周波数利用およびユーザ要求	<p>[概要]</p> <p>放送用ワイヤレスマイクに関して、運用上の特徴、周波数アレンジメントの方策、最適な帯域幅等について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
122/6	客観音質測定法	<p>[概要]</p> <p>中間音質の主観評価結果やマルチチャンネル音声の主観評価結果に対応した音質が測定可能な客観音質測定法について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定

123/6	デジタルSDTV/HDTV放送番組の知覚画質改善のための番組制作におけるアプローチ	<p>[概要]</p> <p>伝送する映像信号の仕様変更をせずに知覚画質を改善するためのデジタル技術のアプローチについて研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
124/6	デジタル放送のプランニング手順の検証と確認のための測定方法	<p>[概要]</p> <p>デジタルテレビジョン放送と音声放送のプランニング手順における検証と確認のための測定方法について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
125/6	立体テレビ	<p>[概要]</p> <p>立体テレビの番組制作、配信、送信において現在可能な方式や開発中の方式、番組フォーマット等について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
Doc. 6/393	TV番組素材をいろいろな画質レベルやサイズでの放送応用に適用させるための望ましい運用方法	<p>[概要]</p> <p>番組素材を様々な画質レベルやサイズに変換して放送する際の望ましい運用方法について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定
Doc. 6/404	26MHz帯近距離ローカル放送用デジタル変調の干渉軽減技術	<p>[概要]</p> <p>26MHz帯を近距離向け放送に用いる際に必要なデジタル変調の干渉軽減技術について研究する。</p> <p>[評価]</p> <p>特段の問題はない。</p>	継続	支持	会期中に新規策定

表 5-3 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP	課題番号	新規改訂削除	備考
BT. 1769	制作及び国際番組交換のための拡張階層 LSDI 映像方式のパラメータ値	拡張階層 LSDI (Large Screen Digital Imagery) として、走査線数が 3840 x 2160 及び 7680 x 4320 の映像フォーマットを勧告するもの。	TG6/9	ITU-R 15/6	新規	
BS. 1770	ラウドネス及び真ピークレベルの測定アルゴリズム	番組の配信や交換を容易にするための客観的なラウドネス測定が必要な場合に用いるべきアルゴリズムを規定し、このアルゴリズムは番組制作にも使用し得ると勧告するもの。	WP6J	ITU-R 2/6	新規	
BS. 1770-1	ラウドネス及び真ピークレベルの測定アルゴリズム	番組の配信や交換を容易にするための客観的なラウドネス測定が必要な場合に用いるべきアルゴリズムを規定し、このアルゴリズムは番組制作にも使用し得ると勧告するもの。	WP6J	ITU-R 2/6	改訂	
BS. 1771	ラウドネス及び真ピーク表示メータのための要求条件	ラウドネスメータの指示値は VU (ボリューム・ユニット)メータと運用方法が大きく変わらない LU (ラウドネス・ユニット) 表示法を採用するとともに、メータ製作の	WP6J	ITU-R 2/6	新規	

		要求条件を必須事項とオプションに分けて勧告するもの。				
B0. 1773	無線通信規則に分配がなく、BSS 周波数帯に基本的な発射を生じる装置からの発射がBSSに与える干渉の評価基準	無線通信規則に分配の無い機器からの電波発射に対して衛星放送受信機への干渉基準はこれまでに無く、干渉量として晴天時の受信機のシステム雑音に対し1%以下にするよう勧告するもの。	WP6S	---	新規	
B0. 1774 BT. 1774	公衆警報、災害救援に対する放送インフラの使用	災害警報時、受信機を起動する機能を持たせること、アナログ、デジタル放送の緊急警報放送の仕組みを勧告するもの。	WP6E WP6S	ITU-R 118/6	新規	
BT. 1775	放送に使用されるメタデータ、オーディオ、ビデオ、データ交換のための編集可能なファイルフォーマット	MXF (Material eXchange Format) 規格(ファイル交換フォーマット)のうちの基本部分として、ファイルおよびコンテナのデータ構造を勧告するもの。	WP6A	ITU-R 34/6	新規	
B0. 1776	第1、第3地域の21.4-22.0GHz帯BSSのための基準電力束密度	第1、3地域BSSの基準電速力密度を-105dB(W/(m ² ・MHz))と勧告するもの。	WP6S	ITU-R 22/6 ITU-R 104/6	新規	
BS. 1548-2	デジタル放送用オーディオ符号化システムのユーザ要求	「素材伝送、分配」、「高音質放送」、「中間音質放送」に対応する3つのカテゴリのオーディオ品質を定義すると	WP6A	ITU-R 19/6	改訂	

		共に、「中間音質放送」の要求条件を記載している。さらに、「中間音質放送」の要求条件を満足することが確認された符号化システムの情報として、MPEG-4 HE-AAC（音声圧縮符号化方式）および MPEG-4 HE-AAC v.2 とビットレートを Appendix に示している。				
BT. 1381-2	勧告 ITU-R BT. 656 及び BT. 1302 に基づきネットワーク化した TV 政策における圧縮テレビ信号やパケット化データのためのシリアルデジタルインターフェースベースのトランスポートインターフェース	推奨コネクタとして IEC 規格を参照して BNC コネクタを示したこと、誤りの修正、データタイプ割り当ての変更である。	WP6A	ITU-R 5-1/6	改訂	
BT. 1439-1	アナログテレビジョンスタジオ及びアナログテレビジョンシステム全体に適用可能な測定法	勧告 BT. 1439 「アナログテレビジョンスタジオおよびアナログテレビジョン方式全体に適用可能な測定法」の主に走査線 625 本方式のパラメータ明確化を目的とした改訂案。	WP6P	ITU-R 86/6	改訂	
BT. 1687-1	劇場環境での上映を目的とした LSDI 応用における配信のためのビットレート削減	LSDI (Large Screen Digital Imagery) 配信のための映像の情報源符号化方式として、MPEG-2 に加え、より低いビットレートでの配	TG6/9	ITU-R 15-1/6	改訂	

		信 の た め に H. 264 (MEPG-4/AVC) の使用を勧告する 改訂案を作成し、 LSDI ファミリーの うちの HDTV の場合 について、いくつか の条件におけるパ ラメータ値を例と して示している。				
BT. 1306-3	地上デジタルテレビジ ョン放送の誤り訂正、デ ータフレーミング、変調 および電波発射の方法	勧告 BT. 1306-2(地 上デジタルテレビ ジョン放送の誤り 訂正、データフレー ミング、変調および 電波発射の方法)の 改訂草案として、 Enhanced ATSC の追 加を行ったもの。	WP6E	ITU-R 31/6	改訂	
BT. 1368-6	VHF/UHF バンドの地上デ ジタル放送のプランニ ング基準	Enhanced ATSC の混 信保護比の追加、CW や FM キャリアから と 7MHz 帯域幅 DVB-T との同一チャ ンネル混信保護比 の追加を行ったも の	WP6E	---	改訂	
BO. 1443-2	RR AP30 に関わる周波数 帯での Non-GSO 衛星の干 渉評価に用いられる BSS 地球局基準アンテナパ ターン	3次元アンテナモ デルに使うための 幾何学的変換に関 する記述を改訂し、 記号の定義を明確 化するなどの修正 を行い、作成された もの。	WP6S	ITU-R 73/6	改訂	
BS. 775-2	映像有及び無のマルチ チャンネルステレオ音 声システム	もともと BS. 775 に は、LFE (5. 1ch サラ ウンドの. 1 の部分) は、「映画において メインチャンネル に比べて10-12dB大	WP6J	---	改訂	

		きなレベルで再生されている」との記述があり、放送における応用については、10dB 大きなレベルで再生することを勧告するよう改訂したもの。				
BS. 1660-3	VHF 帯地上デジタル音声放送のプランニング基準	T-DAB（欧州で主に用いられている方式）に関する混信保護比などを追記し、改訂したもの。	WP6E	ITU-R 56/6	改訂	
BT. 1380-1	SDTV のビットレート削減符号化	H. 264 (MPEG-4 AVC) を使用する場合のプロファイルとレベルを追記し、改訂したもの。	WP6A	ITU-R 12/6	改訂	
BT. 1203	エンドツーエンド TV システムのデジタル TV 信号 (SDTV 及び HDTV) の包括的なビットレート削減符号化のユーザ要求	H. 264 (MPEG-4 AVC) を使用する場合のプロファイルやレベルを追加すると共に、映像フォーマットについて整理した改定案。	WP6A	ITU-R 12/6	改訂	
BO. 1784	柔軟な構成（テレビジョン、音声、データ）をもつデジタル衛星放送システム	DVB-S2 を勧告化する案。	WP6S	ITU-R 3/6	新規	
BT. 1788	マルチメディア応用における映像品質の主観評価法	勧告 BT. 500 をマルチメディアの映像評価にも適用することを基本として、勧告 BT. 500 の”supplementary” 勧告の位置付けに修正する勧告案。	WP6Q	ITU-R 102/6	新規	
BT. 1790	放送チェーンにおける運用監視のための放送局の要求条件	デジタル放送における映像・音声信号が従来のアナログ信号とは異なった	WP6Q	ITU-R 44/6 ITU-R 48/6	新規	

		性質を有すること やデータ放送サー ビスなど新しい形 のサービスが出現 していることを考 慮した、運用監視に おける運用者サイ ドからの要求条件 に関する勧告案。		ITU-R 109/6		
BT. 1786	地上放送業務に与える 干渉の評価基準	「総合干渉電力が、 如何なる時間にお いても、総合受信シ ステム雑音電力の 1%を超えないこと」 と規定する。	WP6E	ITU-R 32/6	新規	
BT. 1789	パケット化された映像 伝送における、受信機か らの伝送誤り情報を用 いた映像再構築法	サービスプロバイ ダが受信画質を把 握するため、伝送誤 り情報を受信機か らサービスプロバ イダへ転送し、伝送 誤り情報を用いて 受信画像を再構築 する手法の勧告案。	WP6Q	ITU-R 44/6 ITU-R 109/6	新規	
B0. 1785	第 1、第 3 地域の 21.4-22.0GHz の GSO BSS システムの同一業務内 の共用基準	21GHz 帯衛星放送の 周波数調整のため の pfd マスクに関す る新勧告案。	WP6S	ITU-R 22-1/6 ITU-R 104/6	新規	
B0. 1724-1	インタラクティブ衛星 放送システム（テレビジ ョン、音声、データ）	同勧告に記述され ている方式の一つ である TIA-1008 が TIA-10080A に改訂 されたことに伴う 修正を行う改定案。	WP6S	ITU-R 26/6	改訂	
BR. 1375-3	HDTV 記録	HDTV の記録につい て規定した同勧告 において、現在の運 用に合わせるため にアナログ機器の 記述を削除する改 定案。	WP6J	ITU-R 78/6	改訂	

BS. 1114-6	30-3000 MHz における地上デジタル音声放送システム	同勧告に含まれる System C (IBOC) の内容の改定案。	WP6E	ITU-R 56/6	改訂	
BT. 601-6	デジタル SDTV のスタジオ符号化パラメータ	18MHz サンプリング規定を削除する改訂。	WP6J	ITU-R 1/6	改訂	
BT. 1203-1	エンドツーエンド TV システムのデジタル TV 信号の包括的な映像ビットレート削減符号化のユーザ要求	H. 264 (MPEG-4 AVC) を使用する場合はプロファイルやレベルを追加すると共に、映像フォーマットについて整理した改定案。	WP6A	ITU-R 12/6	改訂	
B0/BT. 1774-1	公衆警報、災害救援に対する放送インフラの使用	日本のアナログ緊急警報放送の制御信号、韓国提案の制御信号 (FM 多重放送、TV 多重放送) を、既存勧告 B0/BT. 1774 に追加する改訂案。	WP6E WP6S	ITU-R 118/6	改訂	
BT. 1722	インタラクティブ TV 向け手続き型コンテンツフォーマットのハーモナイゼーション	DVB-GEM および各規格 (DVB-MHP, OCAP, ARIB STD-B23) の改訂版に対応し、さらに米国の ATSC ACAP を収録する改定案。	WP6M	ITU-R 13/6	改訂	
B0. 787	HDTV BSS のための MAC/パケットベースシステム	長期間引用・参照されていない勧告であり、削除提案に対し、反対意見がなかった。	WP6S	ITU-R 100/11	削除	
B0. 788-1	衛星放送サービスにおいてスタジオ品質と同等の HDTV を放送するための符号化レート	スタジオ品質に匹敵する品質で HDTV 衛星放送を行うための符号化レートとして、映像で約 110Mbps、音声・データ・その他で 10~30Mbps 程度、合計 140Mbps 程度が必要	WP6A	ITU-R 92/11 ITU-R 100/11	削除	

		と記載したものであるが、圧縮技術の進歩によりこのような数字は意味をなさなくなった。				
B0. 1211	11/12GHz 帯のテレビジョン、音声、データサービスのためのデジタルマルチプログラム放送システム	長期間引用・参照されていない勧告であり、削除提案に対し、反対意見がなかった。	WP6S	ITU-R 3/6	削除	
BS. 776	デジタル音声インタフェースのユーザデータチャンネルのフォーマット	記載されているユーザデータの伝送方法がスタジオのデジタル音声 I/F で使用されていない。	WP6A	---	削除	
BT. 1720	ブロードバンド IP ネットワーク上で配信するデジタル映像放送サービスの QoS(Quality of Service) ランク付け及び測定法	IP レイヤでのデジタル映像サービス伝送におけるパケットロス率、遅延、ジッタ、及びエンドツーエンドにおける復号映像のフレームレート等のパラメータを測定し、これらの測定値により QoS を測定する手法について勧告。	WP6Q	ITU-R 100/6	新規	
BT. 1721	劇場上映としての LSDI 応用における知覚画質の客観的測定法	劇場上映としての LSDI 応用における知覚画質の客観的測定法に関して、SDTV を対象とした勧告 BT. 1683 「デジタル TV 放送の SDTV における知覚画質の客観的測定法」を LSDI にも適用することを推奨することを勧告。	TG6/9	ITU-R 15/6	新規	
BT. 1722	インタラクティブ TV のための手続き型コンテ	インタラクティブ TV のための手続き型	WP6M	ITU-R 13/6	新規	

	コンテンツフォーマットのハーモナイゼーション	コンテンツフォーマットの共通事項として、DVB-GEMをベースとした、DVB-MHP1.0/1.1(欧州)、ATSC-DASE(米国)、ARIB STD-B23(日本)を適用することを勧告。ITU-T 勧告 J.202 に基づき作成。				
BT. 1727	LSDI 施設への地上波及び衛星を用いた番組素材の配信	劇場等の LSDI 施設への番組素材の配信における映像符号化、音声符号化及び送信システム等について既存勧告の適用を規定した勧告。	TG6/9	ITU-R 15/6	新規	
BR. 1733	セミプロフェッショナル、コンシューマ向けデジタル記録機器の放送における利用	放送品質を確保する必要性から、セミプロフェッショナル、コンシューマ向けデジタル記録機器を放送に利用する際の推奨事項を記載したもの。	WP6R	ITU-R 77/6	新規	
BS. 1734	劇場上映型の LSDI 応用における音声コンポーネントの基本性能に対する要求条件	主に家庭環境での音響システムを対象とする勧告 BS.775 の要求条件を参照する草案に対して、劇場環境を考慮した修正および、BS.775 では「研究中」とされた項目について、以降に成立した勧告の参照を加えたものである。	TG6/9	ITU-R 15/6	新規	
BT. 1735	勧告 BT.1306 システム B	勧告 BT.1306 の	WP6Q	ITU-R	新規	

	の地上デジタル TV 信号のカバレッジ品質客観評価法	System B(DVB-T) の地上デジタル TV 信号のカバレッジを BER(Bit error rate) と電界強度を元にした5段階品質スケールで表現する客観評価法を記載したもの。		100/6		
BT. 1306-2	地上デジタルテレビジョン放送の誤り訂正、データフレーミング、変調及び電波発射の方法	ITU-R 勧告 BT. 1306-1 の地上デジタル放送システムについて、移動・携帯受信を考慮したDVB-Hを追加する改訂勧告	WP6E	ITU-R 31/6	改訂	
BT. 1368-5	VHF/UHF バンドの地上デジタル放送のプランニング基準	既存の ITU-R 勧告 BT. 1368-4 の VHF/UHF 帯における地上デジタルテレビジョンのプランニング基準について、DVB-T の移動受信、室内受信の混信保護比の記述を追加した勧告改訂。	WP6E	ITU-R 4/6	改訂	
BO. 1373-2	RR AP30 及び 30A に関する BSS 割当及び関連するフィーダリンク割当の FSS 送信での使用	既存の ITU-R 勧告 BO. 1373-1 について、WRC-03 での結果を踏まえた、BSS プランバンドにおける FSS を使用する場合の基準の明確化、及び BSS フィーダリンクにおける e. i. r. p. 密度のガイドライン等を追加する勧告改訂。	WP6S	ITU-R 70/6	改訂	
BS. 707-5	PAL B, D1, G, H and SECAM D, K, K1 and L システム地上テレビジ	PAL のテレビシステム B1 がスロバキアにて適用されるこ	WP6E	ITU-R 77/10	改訂	

	ヨンのマルチ音声伝送	とに対応するための の勧告 BS. 707-4(地 上テレビジョンの マルチ音声伝送)の 修正案。				
BT. 1120-6	HDTV スタジオ信号のデ ジタルインタフェース	勧告BT. 1120を改訂 し、これまで under study としていた 1080/50P および 60P のシリアルクロッ ク周波数として 2.97GHz を規定し、 2.97Gbit/s のシリ アルデジタルイン タフェースを規定 した。1080/50P や 60P の信号を 1.5Gbit/sのHD-SDI で伝送するための ロスレスまたは知 覚的ロスレスの圧 縮符号化を研究す るための新研究課 題を作成した。	WP6A	ITU-R 42/6	改訂	承認 手続 中
BT. 1300-3	地上デジタルテレビジ ョン放送のサービス多 重、伝送、識別方法	System B (DVB-T) や System C (ISDB-T)につい ても、タグ値やテー ブル ID の割り当てな ど、System A と同様 の更新が適当と考 えられる部分を改 訂した。また、参考 文献として引用し ている ATSC 規格、 ETSI 規格、ARIB 規 格の表記法につい て全面的に修正し て、明確化を図っ た。	WP6A	ITU-R 31/6	改訂	
BT. 1364-1	デジタルコンポーネン	勧告 BT. 1364 を	WP6A	ITU-R	改訂	

	トスタジオインタフェースで伝送される補助データ信号のフォーマット	SMPTE や ARIB と整合させるべく修正すると共に、補助データの各種アプリケーションに割り当てられているデータ ID をまとめて掲載した。		20/6 ITU-R 42/6		
BT. 1701-1	現行アナログテレビジョンの送信信号特性	PAL のテレビシステム B1 がスロバキアにて適用されることに対応するための勧告 BT. 1701(現行アナログテレビジョンの送信信号特性)の修正案。	WP6E	—	改訂	
B0. 1213-1	11.7-12.7GHz 帯の BSS 地球局参照アンテナパターン	BSS 地球局の受信アンテナパターンに関して、WRC-03 で変更された交差偏波の計算式の反映や、適用されるアンテナの径範囲の明確化を行い、更には 45cm アンテナパターン例の追加を行った勧告改訂案。	WP6S	ITU-R 73/6 n	改訂	
BT. 1736	TV 用再配信制御信号の放送	放送されたコンテンツの再配信に関する制御の要求、特にインターネット上への再配信の制御を実現するに当たっての要求条件の勧告案である。再配信制御信号を提供または処理する系は単一の方式のものではなく、複数の方式間で「転送」されるべきである	WP6M	ITU-R 101/6	新規	

		ということ述べている。				
BT. 1737	HDTV 番組伝送のための ITU-T 勧告 H. 264 (MPEG-4/AVC) 映像情報源符号化法の使用	HDTV 番組を低ビットレートで伝送する必要がある場合の符号化法と位置づけている。HDTV フォーマットとアプリケーションに応じたプロファイルとレベル、ビットレートの例やプロファイル毎の推奨符号化ツールを示した Appendix と共に、H. 264 についての解説資料も Appendix として添付している。	WP6A	ITU-R 12/6	新規	
BT. 1381-2	勧告 ITU-R BT. 656 及び BT. 1302 に基づきネットワーク化した TV 政策における圧縮テレビ信号やパケット化データのためのシリアルデジタルインターフェースベースのトランスポートインターフェース	主な改訂内容は、推奨コネクタとして IEC 規格を参照して BNC コネクタを示したこと、誤りの修正、データタイプ割り当ての変更である。なお、従来は無効データのデータタイプ値を誤って 100h としていたが、改訂後は 200h に修正されているため、改訂案の summary で注意喚起している。	WP6A	ITU-R 5-1/6	改訂	
BT. 1439-1	アナログテレビジョンスタジオ及びアナログテレビジョンシステム全体に適用可能な測定法	勧告 BT. 1439 「アナログテレビジョンスタジオおよびアナログテレビジョン方式全体に適用可能な測定法」の主に走査線 625 本方式	WP6P	ITU-R 86/6	改訂	

		のパラメータ明確化を目的とした改訂案。				
BS. 1548-2	デジタル放送用オーディオ符号化システムのユーザ要求	「素材伝送、分配」、「高音質放送」、「中間音質放送」に対応する3つのカテゴリーのオーディオ品質を定義すると共に、「中間音質放送」の要求条件を記載している。さらに、「中間音質放送」の要求条件を満足することが確認された符号化システムの情報として、MPEG-4 HE-AAC（音声圧縮符号化方式）および MPEG-4 HE-AAC v.2 とビットレートを Appendix に示している。	WP6A	ITU-R 19/6	改訂	
BT. 1687-1	劇場環境での上映を目的とした LSDI 応用における配信のためのビットレート削減	LSDI (Large Screen Digital Imagery) 配信のための映像の情報源符号化方式として、MPEG-2 に加え、より低いビットレートでの配信のために H.264 (MPEG-4/AVC) の使用を勧告する改訂案を作成し、LSDI ファミリーのうちの HDTV の場合について、いくつかの条件におけるパラメータ値を例として示している。	TG6/9	ITU-R 15-1/6	改訂	

BT. 1674	放送における制作、ポストプロダクション用メタデータ要求	メタデータのデータタイプ及びフォーマットについて SMPTE 規格 RP210. 4-2002 を辞書構造については SMPTE 規格 335M-2001 を参照するもの。	WP6P	ITU-R 46/6	新規	
BT. 1675	放送システムのループ遅延妨害最小化のためのシステム設計及び運用	放送システムの信号遅延の計算モデル、システム設計のガイドラインと遅延妨害最小化のための運用規定について記載したもので、遅延に関して許容できる音声漏洩の限界曲線（しきい値）を勧告している。	WP6P	ITU-R 35/6	新規	
BT. 1676	画質測定法のための精度規定及びクロスキャリブレーションの手法	客観画質評価を利用した画質測定のための精度規定とクロスキャリブレーションの計算方法について記載したものの。	WP6Q	ITU-R 44/6	新規	
BS. 1679	劇場環境下で表示される LSDI 応用のための音声主観評価法	既存勧告の評価法及びスピーカ配置に沿った形で、LSDI 応用のための音声主観評価法を勧告している。なお、スピーカ配置については、今後の検討が反映できるよう既存勧告以外のものについても考慮することとしている。	TG6/9	ITU-R 15-1/6	新規	
BT. 1680	劇場環境下で表示され	LSDI 配信の映像フ	TG6/9	ITU-R	新規	

	る LSDI 応用の配信のためのベースバンド映像フォーマット	フォーマットとして既存勧告 BT. 709 (1920 × 1080) 及び BT. 1534 (1280 × 720) を使用することを勧告するとともに、より高い解像度が必要な場合の拡張として既存勧告を基本とした階層化構造とすべきという勧告。		15-1/6		
BT. 1683	基準画像がある場合のデジタル SDTV の客観画質測定法	標準デジタルテレビジョン画像の測定法として、各国研究機関等が提案した4つの客観画質測定法について勧告するもの。	WP6Q	ITU-R 44/6	新規	
BR. 1684	VTR に記録する 5.1 チャンネル音声番組	5.1ch 音声を VTR に録音する方法として、ステレオ互換の信号をトラック1及び2に記録し、5.1ch 音声圧縮信号をトラック3及び4へ記録するという勧告。	WP6R	ITU-R 56/8	新規	
BT. 1685	補助データパケット形式で伝送される放送局間制御信号の構造	デジタル放送ネットワークにおける番組切替など放送局間の制御信号を補助データパケットを用いて伝送するためのデータ構造を規定した勧告。	WP6A	ITU-R 20/6 ITU-R 42/6	新規	
BT. 1686	劇場環境での LSDI 番組の上演のための映像表示パラメータの測定方法	LSDI 用プロジェクターの性能測定方法は、IEC 規格 61947-1, -2 等に基づくこと、また、測	TG6/9	ITU-R 15/6	新規	

		定において周囲光が問題となる時は、Appendix に基づく装置を用いるという勧告。				
BT. 1687	劇場環境での LSDI の表示のための実時間分配のためのビットレート削減	LSDI の実時間分配において、輝度・色差信号のサンプリングは 4:2:0 又は 4:2:2 とし、映像符号化方式として MPEG2 を用いるという勧告。	TG6/9	ITU-R 15-1/6	新規	
BS. 1688	LSDI のベースバンド音声システムと符号化	LSDI のベースバンド音声システムとして、劇場配信には AC-3 方式、符号化効率が重要である場合には、AAC 方式を使用することを勧告。	TG6/9	ITU-R 15-1/6	新規	
BT. 1689	ITU-R 勧告 BT. 601 に準拠する映像フォーマットで提供される番組の LSDI 環境での表示ガイドライン	LSDI 映像入力信号として、既存 BT. 1680 で規定されているフォーマットが使用できない過去の番組等の場合に BT. 601 Part A の SDTV 信号を用いて、BT. 1680 へのアップコンバートを使用することとした勧告。	TG6/9	ITU-R 15-1/6	新規	
BT. 1690	劇場環境等での LSDI 表示のための想定される場所の特性	LSDI 表示される場所の特性（スクリーンサイズ、明るさ等）について勧告。	TG6/9	ITU-R 15/6	新規	
BT. 1691	テレビジョン方式における適応的画質制御	適応画質制御について、送信、表示等の信号の各過程において個々または	WP6P	ITU-R 98/6	新規	

		集団でパラメータを最適化してくことを勧告。				
BT. 1692	テレビジョンにおける色再現品質の最適化	テレビジョンにおいて、人間の視覚的なシステムを考慮した色再現品質の最適化について勧告。また、カラメトリパラメータ、関係特性は ITU-R 勧告 BT. 1361 に基づくとしている。	WP6P	ITU-R 97/6	新規	
BS. 1693	ハミング問いかけシステムの評価法	ハミングする音の特徴を分析し、その特徴量に基づいて楽曲名等を検索する「ハミング問いかけシステム」の性能を評価する方法を記載した勧告。	WP6Q	ITU-R 8/6	新規	
BR. 1694	劇場環境にて公開するLSDI 番組におけるビデオカセットフォーマットの国際交換	LSDI 番組を国際交換により劇場環境等にて公開するための、ビデオカセットテープによる番組交換基準の勧告。	WP6R	ITU-R 15-1/6	新規	
BR. 1695	HDTV 番組評価のための国際交換記録フォーマット	HDTV 番組評価用の録画素材に関して、高画質を必要としないものは SDTV 素材とし、その際は ITU-R 勧告 BR. 602 に準拠することを勧告。	WP6R	ITU-R 106/6	新規	
BR. 265-9	フィルムによるテレビジョン用国際番組交換の運用規定	テレビジョン番組の国際交換に関してフィルムを用いた場合の運用規定について関連する勧告や ISO 規格の改	WP6R	ITU-R 92/6	改訂	

		定等を反映させる改訂。				
BT. 1300-2	地上デジタル放送のサービス多重伝送・識別	地上デジタル放送のサービス多重・伝送・識別については各方式の記述に、System C として日本方式 (ISDB-T) の記述を追加する改訂。	WP6A	ITU-R 31/6	改訂	
BT. 655-7	アナログ映像信号及び音声信号からの妨害波に対する振幅変調残留測波帯地上テレビジョンシステムの RF 混信保護比	勧告 BT. 655-6 に地上デジタル音声放送 (T-DAB) 信号から、525 走査線テレビへの妨害に対する適切な混信保護比について記載を追加するもの。	WP6E	ITU-R 56/6	改訂	
BR. 602-5	番組内評価のための SDTV 記録メディア交換	番組内評価のための SDTV 記録メディアとして従来からあるアナログ記録メディアである VHS に加えて、デジタル記録メディアである DV フォーマットと DVD を追加するもの。	WP6R	ITU-R 77/6	改訂	承認 手続 中
BT. 1120-5	HDTV デジタルインターフェース	HDTV インターフェースの勧告 BT. 1120-4 に従来記述のなかった、1080/60P 及び 1080/50P の規格を追加して記載するもの。なお追加内容は SMPTE 規格 372M-2002 規格を参照している。	WP6A	ITU-R 42/6	改訂	
BS. 1114-5	30-3000MHz における地上デジタル音声放送シ	勧告 BS. 1114-4 System A (DAB) の	WP6E	ITU-R 56/6	改訂	

	ステム	228. 304- 229. 840MHz 帯を使用する場合の帯域外輻射について、他業務の保護のため、当該周波数帯のスペクトラムマスクの改訂を行うもの。				
BT. 1210-3	主観画像評価のテストマテリアル	主観画質評価のテストマテリアルとして、将来において、技術の進歩を踏まえた新たなテストマテリアルを追記すべき旨を記載した改訂を行うもの。	WP6Q	ITU-R 81/6	改訂	
BT. 1201-1	超高精細映像	高精細映像（HRI）の開発状況について記載した Annex1 を削除し、超高精細映像（EHRI）には 1920×1080 の整数倍の正画面素を用いるべきとした改訂。	WP6P	ITU-R 40/6	改訂	
BT. 1368-4	VHF/UHF 帯における地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準	DVB-T 信号の与干渉、被干渉の混信保護比に関して、これまで記載されていた実験機器による測定結果を、民生機器により算出されたデータに更新するとともに、携帯受信や非放送広帯域信号からの混信保護比などの項目の追加を行う改訂。	WP6E	ITU-R 4-1/6	改訂	
BR. 1355-2	テレシネ画質評価のための視聴環境条件	ITU-R 勧告 BR. 1355-1 をエディ	WP6R	ITU-R 92/6	改訂	

		トリアルに修正する勧告改訂。				
BS. 562-3	音声主観評価法	本勧告と内容が重複することになる ITU-R 勧告 BS. 1284-1 が成立したことによる勧告削除。	WP6Q	ITU-R 55/6	削除	
B0. 1696	プランバンドのデジタルマルチプログラム衛星放送システムとそのフィーダリンクのサービス時間率決定法	11.7-12.2GHz 帯のデジタルマルチプログラム衛星放送システムとそのフィーダリンクのサービス時間率決定法を勧告するもので、具体的な計算例がAppendix1として添付されている。	WP6S	ITU-R 3/6	新規	
BT. 1699	インタラクティブ TV のための宣言型コンテンツフォーマットのハーモナイゼーション	双方向やデータ放送のための宣言型コンテンツフォーマットである BML (日本)、ACAP-X (米国)、DVB-HTML (欧州) の共通事項を勧告するもの	WP6M	ITU-R 13/6 ITU-R 8/9	新規	
BT. 1700	アナログコンポジットカラーテレビジョン制作システム	ITU-R 勧告 BT.470-6 を分割する形で、ベースバンド部について、NTSC に関する記述の内容を改訂し、SMPTE170M-1999 を参照している。日本等、細部が異なる方式を採用している国については脚注で更なる補足をしている。	WP6P	(勧告 BT. 470 の再 編)	新規	
B0. 1697	11.7-12.7GHz 帯 pfd 値	無線通信規則付録	WP6S	ITU-R	新規	

	と付録第 30 号第 1 付属書第 3 節あるいは第 4 付属書の pfd 値を超えたときに使われる pfd 計算方法	第 30 号第 1 付属又は第 4 付属書の pfd 値を超えたときに参考として用いられる値とその pfd 計算方法に関する勧告。		84/6		
BT. 1701	現行アナログテレビの送信信号特性	ITU-R 勧告 BT. 470-6 を分割する形で、送信信号特性に関連したものを新勧告として独立させたもの。	WP6E	(勧告 BT. 470 の再編)	新規	
BS. 1698	任意の周波数帯で運用する地上放送送信システムからの非電離放射曝露に関する電磁界の評価	放送システムからの電磁界曝露について評価を勧告したもの。制限値については評価する方法を各国ごとに定めることとし、日本の法令も情報として引用されている。	WP6E	ITU-R 50/6	新規	
BT. 1702	テレビジョンにより引き起こされる光感受性発作を減少させるためのガイダンス	テレビジョンにより引き起こされる光感受性発作に関して、番組制作者への注意喚起を奨励すると共に、付録に添付した技術情報を参照すること、番組ジャンルを考慮したさらなる研究の必要性を勧告している。	WP6Q	ITU-R 47/6	新規	
BT. 1728	テレビジョン制作およびポストプロダクションでのフラットパネルディスプレイの使用に対するガイダンス	制作及びポストプロダクション応用における無差別なフラットパネルディスプレイの使用を行うべきでないこと、また使用する	WP6P	ITU-R 95/6	新規	

		場合にはその特性が目的に合致しているかどうかテストすべきとの内容について勧告。				
BR. 1725	放送事業者が映画フィルムのかたちで保管した映像素材の取扱いと修復、保管	放送事業者における映画フィルムの取扱い等に関して、EBUの技術文書を参照することを規定した勧告。	WP6R	ITU-R 92/6	新規	
BO. 1724	インタラクティブ衛星放送システム (TV、Sound および Data)	衛星を使用したインタラクティブ放送におけるリターンチャンネルの運用にあたって、欧州の ETSI 規格 (DVB-RCS) 及び米国 TIA 規格を使用することを勧告。	WP6S	ITU-R 26/6	新規	
BT. 1729	16×9/4×3 共通デジタルテレビジョン基準試験パターン	HD 及び SD のデジタルテレビの番組制作及び分配において新たなテストパターンを使用することを勧告。	WP6P	ITU-R 97/6	新規	
BS. 1726	国際番組交換におけるテレビジョンに付随したデジタル音声の信号レベル	国際番組交換におけるデジタル音声信号の基準レベルとして、-18dBfs 又は -20dBfs のどちらかを使用すること、基準レベルに加えて、番組のピークレベルが準ピークメータで測定したときに -9dBfs 超えないように運用すること等を勧告。	WP6P	ITU-R 2/6	新規	
BT. 470-7	現行アナログ TV システム	ITU-R 勧告 BT. 470-6 を分割する形で、分	WP6R	ITU-R 1/11	改訂	

		割した新勧告等のポータルとなる勧告改訂案。				
BS. 1115-1	低ビットレートオーディオ符号化	既存の ITU-R 勧告 BS. 1115 では MPEG-1 の使用のみを規定しているが、これに MPEG-2 AAC と AC-3 を追加するよう、改訂。	WP6A	ITU-R 19/6	改訂	
BR. 780-2	磁気テープ上に記録する制作用及び国際交換用の時刻・制御コード基準	既存の ITU-R 勧告 BR. 780-1 では、IEC 規格を参照しているが、これを各種 ITU-R 勧告が規定している映像フォーマットに対応する自国・制御コードとして、SMPTE 12M をベースに改訂。	WP6R	-	改訂	
BR. 1384-1	映像のあり／なしの場合のマルチチャンネル音声記録における国際交換のためのパラメータ	既存の ITU-R 勧告 BR. 1384 におけるオーディオトラック割当てにおいて、ITU-R 勧告 BR. 779 及び BR. 1684 の記載と誤解を生じる箇所があるため、補足説明を追記するとともに、同勧告にテレビジョンにおける音声記録に限らずに広くマルチチャンネル音声の記録を扱うものである旨の改訂を行った。	WP6R	ITU-R 58/6	改訂	
BS. 1657	自動音声認証システムの性能試験方法	自動音声認証システムの試験手法について、検討すべき品質要素、試験素	WP6Q	ITU-R 8/6	新規	

		材、試験方法及びテスト環境等について勧告するもの。				
--	--	---------------------------	--	--	--	--

第6章 RAへの対処（SG7関連）

1 研究対象

SG7は、「科学業務」を研究対象としている。

2 RA-07に提出される勧告案

RA-07に提出されるSG7の勧告案及びその評価一覧を表6-1に示す。
勧告3件の削除が提案されており、我が国はこの提案を支持する。

3 研究課題の見直し

RA-07で検討される、SG7の研究課題及びその評価一覧を表6-2に示す。
次会期の研究課題として、今会期の研究課題46件のうち11件の削除が提案されており、我が国はこの提案を支持する。

主要な研究課題は以下のとおりである。

(1) 研究課題 244/7

20-90 kHz で運用する標準周波数と時間信号業務の干渉

【概要】長波標準電波の送信局間の干渉の定義、強度の測定する方法、伝播計算の必要な方法やソフトウェアについて研究する。

(2) 研究課題 118-2/7

データ中継衛星システム及び他業務との周波数共用に影響する要素

【概要】データ中継衛星に望ましい周波数と帯域幅、20GHz以上の周波数を用いるときの技術的問題、望ましい周波数帯における（他業務との共用を含む）実用可能な状態、20GHz以上でデータ中継衛星を運用するために望ましい技術的特性、300MHz-300GHz帯で共用する他業務の保護に必要な電力束密度制限とビーム識別について研究する。

(3) 研究課題 243/7

地球探査衛星業務（受動）を運用する受動センサーの技術基準及び干渉の影響及び干渉緩和技術に関する特性

【概要】地球探査衛星業務（受動）で運用される受動センサーを干渉から保護するため、受動センサーの用途、代表的な技術的及び運用上の特性、干渉の影響、干渉緩和技術について研究する。

(4) 研究課題 145-2/7

電波天文観測の保護に必要とされる技術的要素

【概要】電波天文に適切な周波数帯、観測技術の性格、電波天文と他の業務の周波数占有の両立性、電波天文観測が受けるスプリアス及び帯域外発射並びに他

の電気機器からの障害、軌道上からの電波天文観測に必要な事項及び保護基準について研究する。

4 参考事項

SG7は、2005年11月、2007年2月に開催され、15件の新規及び改訂勧告案が郵便投票に付され、承認されている。また、8件の新規及び改訂勧告案が現在実施中の郵便投票により承認される予定である。今会期中に郵便投票により承認または承認予定の勧告リストをSAシリーズ、RAシリーズ及びRSシリーズに分けて表6-3、表6-4及び表6-5に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 新勧告草案 ITU-S.[RHF] 3000GHz 以上のセンサの特性

WP7C（地球探査衛星業務および気象援助、気象衛星の各業務）において、3000GHz 以上のセンサー特性についての日本寄与文書と米国寄与文書等がマージされ、新勧告草案が作られた。新勧告草案はSG7に入力され、郵便投票による勧告化の手続きがとられることとなった。

(2) 暫定新勧告草案 ITU-R RS.[Passive_CHARS]

WP7Cにおいて、EESSシステムを構成する275GHz以下のマイクロ波放射計等の受動センサー類の特性について、寄与文書を基に、暫定新勧告草案が作成され、議長レポートに添付されることとなった。

空欄が多いため、各国から次回まで寄与することとした。また、分解能に関連した複数の用語があり、定義の差異がはっきりしないため、日本から値を提供できなかった事情を説明し、今後 glossary として定義を別途調査することとなった。

表 6 - 1 RA - 07 に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	対応	備考
RS.516-1	地球観測および 気象衛星の能動 センサと、無線評 定業務との共用	地球観測および気象衛星の能動センサと、無線評定業務との共用が可能であるとする内容	WP 7 C Q.140/7	削除	支持	
SA.1071	宇宙科学業務と 固定衛星業務に よる 13.75-14.0GHz 帯の利用	宇宙科学業務と固定衛星業務による、13.75-14.0GHz の利用についての検討	WP 7 B 決議 112 WRC92	削除	支持	
SA.1156	低軌道衛星の可 視統計計算手法	低軌道を用いる衛星の軌道計算モデルを示す内容	WP 7 B	削除	支持	

表 6 - 2 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	対応	備考
101-2/7	周波数標準と信頼 性及びタイムスケ ールにおけるそれ らの使用	[概要] 既存及び開発中の周波数標準の精度、安定度、遠隔時刻比較の測定システムの特 性改善の必要性、タイムスケールにおける安定度及び精度向上における新たな周 波数標準の最適化、ハンドブック掲載の ガイドライン及び注意点の改善について 研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S3
102-2/7	地上系での標準周 波数及び報時信号 供給の改善方法	[概要] 1 μ s オーダーの不確定性を実現する技 術、他の周波数の使用、放送局の搬送波 周波数の精密化や AM 波への PM 信号の 重畳などの他の業務の利用の必要性、そ の際の経済性及び当該業務の本来の目的 への影響について研究する。 [評価] 勧告 TF.1552 が作成され、研究が完了し たことから削除は適当。	削除	支持	S2
104-2/7	標準周波数及び報 時信号発射の受信 時における安定度	[概要] ユーザーに受信される標準周波数報時の 安定度及び精度の劣化原因、不安定度の 統計的データ、精度要求レベルに応じた 標準周波数報時信号の送受信技術、送受 信の安定度と精度を特徴づける統計的方 法について研究する。 [評価] 勧告 TF.538 が作成され、研究が完了し たことから削除は適当。	削除	支持	S3
110-2/7	タイムコード	[概要] タイムコード情報の方式及びフォーマッ ト、雑音及び干渉を考慮した変調特性、 特定のアプリケーションに適したタイム コードについて研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2

111-1/7	高精度時刻伝送におけるアンテナ及び他の回路での信号遅延	[概要] 高精度時刻伝送におけるアンテナその他関連回路における遅延特性、遅延量を決めるアンテナ特性及び環境による影響、測定法について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
118-2/7	データ中継衛星システム及び他業務との周波数共有に影響する要素	[概要] データ中継衛星に望ましい周波数と帯域幅、20GHz以上の周波数を用いるときの技術的問題、望ましい周波数帯における（他業務との共有を含む）実用可能な状態、20GHz以上でデータ中継衛星を運用するために望ましい技術的特性、300MHz-300GHz帯で共有する他業務の保護に必要な電力束密度制限とビーム識別について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
129-2/7	科学業務の無線局により放射または受信される不要放射	[概要] 科学業務の無線局からの不要放射の適切なパラメータについての研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C2
139-3/7	地球探査衛星のための無線通信システム	[概要] 地球探査衛星の高速データ通信の効率良いスペクトラムの使用、地上業務と共用する周波数帯のRR付録第28号適用の際のパラメータについて研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
141-3/7	気象衛星システムのデータ伝送	[概要] 気象衛星のデータ伝送の運用特性、地上業務と共用する周波数帯のRR付録第28号適用の際のパラメータについて研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
145-2/7	電波天文観測の保護に必要とされる技術的要素	[研究] 電波天文に適切な周波数帯、観測技術の性格、電波天文と他の業務の周波数占有の両立性、電波天文観測が受けるスプリアス及び帯域外発射並びに他の電気機器からの障害、軌道上からの電波天文観測に必要な事項及び保護基準について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
146-2/7	電波天文への干渉の評価基準	[概要] 電波天文におけるRR決議第63号に規定する有害な混信の説明、特定の時間割合を越えて発射される不要電波の干渉のしきい値及び電波天文の方法・種類によるしきい値の違い、代表的な観測所での妨害電波源による干渉のレベル、飛行機や衛星からの反射の干渉への影響について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
149-1/7	月の遮蔽領域での周波数の利用	[概要] 地球からの電波が遮蔽されるため電波天	継続	支持	S2

		文に最適である月の遮蔽領域について、周波数、月縁からの角距離、月表面からの距離の関数で表す時の月の裏側での遮蔽効果、月の裏側の局と地球局との間の通信方法と経路、月の裏面で効果的な観測を行うための周波数帯及び地上と比較した時の有利さ、月の裏側の局に対して適応されるべき周波数保護基準について研究する。 [評価] 研究課題として適当。			
152-2/7	衛星からの標準周波数報時	[概要] 衛星による標準周波数と時刻信号の発射システムの開発における技術要素、計測量と周波数、送受信、変調方式の決定、現用又は計画中の衛星システム遅延較正システム、運用手順について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S3
201-2/7	通信衛星を利用した双方向時刻伝送	[概要] 通信衛星を利用した双方向時刻伝送で得られる長期時刻安定度、時刻精度、周波数比較能力、GPS 等との性能比較、問題点であるシステム遅延の変化の原因と対策について研究する。 [評価] 勧告 TF.1153 が作成され、研究が完了したことから削除は適当。	削除	支持	S1
202-1/7	スペースVLBIと他の宇宙研究システム間の保護基準と周波数共用	[概要] 周波数・位相の広帯域データ伝送が必要であるスペースVLBIと他の宇宙研究システムとの周波数の共用を行う場合に必要となる技術及び運用、共用の条件及び共用の可能性、その場合に望ましい周波数について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
203-1/7	スペースVLBIのための特性と通信の要求条件	[概要] スペースVLBIに必要な通信系の技術特性及び運用上の要件、軌道特性、基準信号及び広帯域の信号伝送に適切な周波数帯について研究する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
205/7	パルサーの電波観測	[概要] パルサー観測の最適周波数帯、許容干渉レベル、電波観測とそれ以外の使用での周波数共用の可能性、高精度な時系の維持に最適なパルサーについての研究を行う。 [評価] 2007年2月に新レポート案がまとめられ、研究が完了したことから削除は適当。	削除	支持	S2
206-1/7	10 ⁻¹⁵ レベルの不確定性による遠隔地の標準器の周波数比較	[概要] 10 ⁻¹⁵ の不確定性による遠隔地の周波数標準を簡便に比較する方法について研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
207-2/7	デジタル通信網を利用した標準周波	[概要] 標準化と方式の広い互換性を目的とした	継続	支持	S2

	数報時伝送	デジタル通信の方式、構成、インターフェース等のアプリケーションについての研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。			
211/7	37-38GHz 及び 40-40.5GHz 帯における宇宙研究業務と他業務との周波数共用	[概要] 標記周波数帯における宇宙研究業務システムの技術特性及び運用特性、既に標記の周波数に割り当てられている多くの他の業務との周波数共用基準についての研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C2
213-1/7	衛星搭載能動センサと 5250-5460MHz 帯超における業務のシステムとの互換性	[概要] 5250-5460MHz 以上の周波数帯において衛星搭載能動センサと他業務の共用に関して技術的特性、性能基準、干渉基準について研究を行う。 [評価] 勧告 RS.1260 が作成され、研究が完了したことから削除は適当。	削除	支持	C1
215-1/7	18.6-18.8GHz 帯における地球探査衛星システム(受動)及び宇宙研究システム(受動)と固定、移動及び固定衛星業務のシステムとの間の周波数共用	[概要] 標記周波数帯における各業務の共用可能性及び共用条件について研究を行う。 [評価] 勧告 RS.1449 が作成され、研究が完了したことから削除は適当。	削除	支持	C2
218-1/7	440MHz 及び 5300MHz の各付近における地球探査衛星業務の能動センサと他業務のシステムとの周波数共用	[概要] 440MHz 及び 5300MHz に限定して衛星搭載能動センサーと他業務の共用条件について研究を行う。 [評価] 勧告 RS.1632 が作成され、研究が完了したことから削除は適当。	削除	支持	S2
219/7	100MHz-1GHz の範囲における宇宙運用及び宇宙研究業務の遠隔指令リンク	[概要] 宇宙運用及び宇宙研究業務の遠隔指令のアップリンクに追加分配すべき周波数帯及び共用する他業務に干渉を与えないための技術・運用上の制限について研究を行う。 [評価] 勧告 RS.1629 が作成され、研究が完了したことから削除は適当。	削除	支持	C1
221/7	宇宙研究業務の観測(受動)に適した周波数帯と保護基準	[概要] 宇宙研究(受動)勧告システムの技術・運用特性、適した周波数帯及び保護基準について研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
222-1/7	ITU-R 222/7 の改訂案-月および惑星におけるデータ中継衛星による地球と月・惑星間の無線通信	[概要] データ中継衛星による地球と月・惑星間の無線通信に必要な周波数帯などの検討を行うもの。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
223/7	計時アプリケーションにおけるディファレンシャルGPSの役割	[概要] 計時誤差の差の決定に適した測定方法及びユーザーの需要に合った更新頻度、既に使用されている位置補正情報のフォー	継続	支持	S2

		<p>マット及びそれに計時誤差の差を含める拡張、伝送媒体、このようなシステムを用いたときの不確定性、DGPS航行ネットワークの実現を支援する時刻中枢について研究を行う。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>			
224/7	調和タイムスケール及び測定システムのアルゴリズム	<p>[概要] リアルタイム稼働率の標準や異なる時計の寄与の差の量子化の調和タイムスケールのアルゴリズム、現在用いられているローカル時計とリモート時計の比較に適した測定システムの特性について研究を行う。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>	継続	支持	S3
226/7	70GHz 超の周波数帯における電波天文業務と他業務との間の周波数共用	<p>[概要] 70GHz 超の周波数帯で電波天文と共用可能な業務、共用条件について研究を行う。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>	継続	支持	S2
229/7	4200-4400MHz における地球探査衛星（受動）及び航空機無線航行の航空機搭載高度計間の共用について	<p>[概要] 当該帯域の衛星搭載受動センサーの技術的・運用上の特性、地球探査衛星（受動）と航空機高度計の周波数共用基準について研究を行う。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>	継続	支持	C2
230/7	宇宙からの電波天文計測のための保護及び共用基準	<p>[概要] 宇宙からの電波天文観測を実行できる周波数帯、および、その保護・共用基準について研究を行う。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>	継続	支持	S2
231/7	100GHz 以上の周波数帯における地球探査衛星業務（能動）及び宇宙研究業務（能動）の運用について	<p>[概要] 100GHz 以上の周波数帯における能動センサーの特性と適切な周波数帯についての研究を行う。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>	継続	支持	S2
232-1/7	10.6-10.68GHz、31.5-31.8GHz、36-37GHz 帯における衛星搭載受動センサーと他業務間の共用	<p>[概要] 標記帯域における受動センサーと他業務との共用条件について研究を行う。</p> <p>[評価] 特に問題ないが、WRC-07 の結果によって改訂されるべきである。</p>	継続	支持	S2
233/7	35.5-36GHz 帯における地球探査衛星業務の能動センサーシステムと他業務のシステムの共用条件について	<p>[概要] 衛星搭載能動センサーと他業務との共用条件について研究する。</p> <p>[評価] 勧告 RS.1628 が作成され、研究が完了したことから削除は適当。</p>	削除	支持	S1
234/7	1215-1300MHz における地球探査衛星業務の能動センサーシステムと他業務のシステムの周波数共用について	<p>[概要] 標記帯域における能動センサーと他業務との共用条件について研究する。</p> <p>[評価] 研究課題として適当。</p>	継続	支持	S2
235-1/7	275GHz 以上に	<p>[概要]</p>	継続	支持	C2

	おける科学業務のアプリケーションの技術及び運用特性について	275GHz 以上の周波数帯における科学業務の特性について研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。			会期中に改訂
236/7	UTC タイムスケールの将来	[概要] うるう秒挿入のための、UTC と UT1 の間の差の要件や、手続きについて研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
237/7	電波天文無線局における干渉緩和の実施に関連する技術的及び運用上の要素	[概要] 電波天文が使用する干渉緩和技術の技術的な特徴や制限について研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
238/7	時刻認証のための信頼できる時刻源	[概要] TSA への UTC(k)時刻の適切な供給方法と精度保証について研究を行う。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
239/7	機械タイムコード	[概要] タイムコードやシグナルについて、将来必要とされる要件を考慮に入れた現代の通信システムへのオプションについての検討 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
240/7	22.55-23.55GHz 及び 25.25-27.5GHz 帯の静止衛星の宇宙局及び非静止衛星の宇宙局で構成された宇宙空間ネットワークにおける宇宙研究及び宇宙探査衛星アプリケーションに関連する調整要求を行うために必要な基準と計算方法	[概要] GSO および non-GSO の各組み合わせに関する衛星間業務の共用基準の検討を行うもの [評価] 1997 年 10 月に勧告 SA.1278、2003 年 5 月に SA.1625 が作成され、研究が完了していることから、削除は適当。	削除	支持	S1
241/7	宇宙からの電波天文観測のための周波数帯と保護基準	[概要] 宇宙からの電波天文観測の特性、望ましい周波数および保護基準などについて検討するもの [評価] 研究内容が 230/7 と重複しており、削除は適当。	削除	支持	S2
242/7	電波平穏地域	[概要] 電波平穏地域(RQZ)の性格・特性及び RAS との関係及び RQZ の電磁環境についての研究課題 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S3 会期中に新規策定
243/7	地球探査衛星業務(受動)を運用する受動センサーの技術基準及び干渉の影響及び干渉緩和技術に関する特性	[概要] 地球探査衛星業務(受動)で運用される受動センサーを干渉から保護するために受動センサーの用途、代表的な技術的及び運用上の特性、干渉の影響、干渉緩和技術についての研究課題 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に新規策定

244/7	20-90 kHz で運用する標準周波数と時間信号業務の干渉	[概要] 長波標準電波の送信局間の干渉の定義、強度の測定する方法、伝播計算の必要な方法やソフトウェアについての研究課題 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に新規策定
245/7	電気機器等からの長波標準電波業務への干渉	[概要] 長波標準電波業務が電化製品等から受ける干渉の定義、測定方法、測定装置及び干渉の対策についての研究課題 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に新規策定

表 6-3 今会期中に承認または承認予定の勧告 (SA シリーズ)

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/課題番号	新規改訂削除	備考
SA.1742	283 THz 周辺の宇宙から地球方向に運用される惑星間と深宇宙システムの運用特性及び技術特性	275GHz 以上のシステムの周波数の選定理由、回線性能、データレート、ビットエラーレート、変調方式、回線損失、アンテナの直径、送信利得パターン、受信利得パターン、ポインティングと追尾、S/Nなどを記述	WP7B/ Q.235/7	新規	
SA.1743	宇宙研究業務及び宇宙運用業務における許容干渉量の配分	宇宙研究業務及び宇宙運用業務に F.1094 と S.1394 と同様な許容干渉量の配分を定めるものである。一次業務合計で 99%、その他に 1%を配分することを記述	WP7B/ Q.129/7	新規	
SA.1744	地上で運用される 272-750 THz 帯の光学的気象測器の技術的および運用上の特性	光学的気象測器の運用者が、設置場所の選択および装置の設計にあたって、他の光発信機からの干渉の可能性を考慮する必要があること、光学的気象測器の干渉に関する研究にあたっては、シーロメータ等の代表的な光学的気象測器の特性に関するデータを考慮する必要があること等を記述	WP7C/ Q.235/7	新規	
SA.1745	気象援助業務及び気象衛星業務(宇宙から地球)による 1675-1710MHz 帯の使用	1675-1710MHz 帯の周波数使用状況が記述され、全ての主管庁は、気象援助業務の運用を 1675-1683MHz 帯で実施するよう努めるべきと記述	WP7C	新規	
SA.609-2	有人及び無人の地球周辺研究衛星のための保護基準	取り扱う周波数を 30GHz まで引き上げる改訂案。1-20GHz の基準に加えて、20-30GHz の入力端子の保護基準を-156dB(W/MHz)と記述	WP7B	改訂	
SA.1159-3	地球観測衛星業務と気象衛星業務のデータ普及、データ収集、ダイレクトデータ無線通信システムの性能基準	低地球軌道に関する地球観測衛星業務と気象衛星業務の性能目標を追加し、静止軌道に関する性能目標の改訂を記述	WP7B Q.141/7	改訂	
SA.1014-1	有人及び無人の深宇宙研究用通信回線の要件	ESA の無線局設備の情報を追加する等の情報の現行化を目的とした改訂を記述	WP7B	改訂	
SA.1157-1	深宇宙研究のための保護基準	深宇宙研究の地球局及び深宇宙における宇宙探査機局の保護基準の改訂を記述	WP7B	改訂	

SA.1749	地球探査衛星（能動）と宇宙研究（能動）による1215-1300MHzの使用を容易にする干渉軽減技術	地球探査衛星（能動）と宇宙研究（能動）に搭載されるL-SAR等センサーの干渉除去方法を記述	WP7C Q.234/7	新規	
SA.577-6	EESS（能動）及びSRS（能動）業務で運用する衛星搭載能動センサーの推奨周波数及び帯域幅	430MHz帯のP-SAR及び94GHz帯の雲レーダへの割り当てに関するアップデート、35GHz帯を使用する計画があることを踏まえての表現の変更等を提案	WP7C Q.140/7	改訂	
SA.1166-3	人工衛星能動センサーに関する干渉基準	レーダのタイプ毎及び周波数毎に干渉基準をアップデート	WP7C Q.140/7	改訂	
SA.1165-2	403 MHz 帯及び1680MHz帯における気象援助局のシステムの技術特性と性能基準	気象援助業務の回線性能目標を削除、方向探知機の運用状況を削除して地域別、周波数別運用状況の数値をバージョンアップ、ラジオゾンデシステム、ドロップゾンデシステム、ロケットゾンデの特性をアップデート	WP7C Q.144/7	改訂	
SA.1805	354、366THz 周辺での宇宙間通信システムの技術的、運用的特性	Question ITU-R 235/7（275GHz以上の技術特性と共用可能性についての検討）に関し、我が国が開発・運用した光衛星間通信実験衛星「OICETS」の成果を基に、光衛星間通信機器の諸元情報を記述	WP7B Q.235/7	新規	
SA.1811	31.8-32.3GHz帯と37.0-38.0GHz帯に、多数分布する干渉源を含む共用検討のための大口径SRS地球局参照アンテナ・パターン	31.8-32.3GHz帯および37.0-38.0GHz帯における共用検討に利用するための大口径宇宙研究業務用地球局参照アンテナ・パターンの数学ゲイン・モデルを干渉源が多数分布する場合と、離散分布する場合について定義を記述	WP7B	新規	
SA.1015-1	深宇宙探査のための帯域幅要件	勧告 SA.1015 の表1の最大データレート値は、エラー訂正符号が考慮されていないことから、1MHz以下のデータレートには1/6エラー訂正符号を、それ以上のデータレートには1/2エラー訂正符号を考慮したシンボルレートとバンド幅に基づき、同勧告を見直す改訂。最近の深宇宙運用状況も反映。	WP7B	改訂	
SA.1807	18GHz 周辺で運用する気象衛星システムのシステム特性と干渉基準	18GHz 近傍で運用される気象衛星のための干渉基準と、基準の導出に使用されたパラメータを記述	SG7 Agenda Item1.2	新規	
SA.1810	8025-8400MHz 帯で運用される地球観測衛星のためのシステム設計ガイドライン	Question ITU-R 139-3/7（8025-8400GHz帯における地球観測衛星のミッションデータ伝送に適したスペクトラム利用の検討）に関する研究結果を基にした、地球観測衛星の設計に対するガイドライン	WP7B Q.139/7	新規	

表6-4 今会期中に承認または承認予定の勧告（RAシリーズ）

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	備考
RA.1750	94GHz 及び	94GHz 及び 130GHz の雲レーダ	WP7D	新規	

	130GHz帯のEESS（能動）とRASの共通計画	EESS（能動）からRASへの影響を最小にする評価方法に関する勧告案。 EESS（能動）とRASの共用のための検討項目を示すとともに、双方が計画立案及び運用において従うべき事項を記述	Q.129/7		
RA.611-4	スプリアス発射からの電波天文業務の保護	電波天文業務に干渉を与える隣接周波数帯域の業務に関する表の削除	WP7D Q.145/7	改訂	
RA.517-4	隣接バンドで運用されている送信機からの電波天文の保護	電波天文業務に干渉を与える隣接周波数帯域の業務に関する表の削除	WP7D Q.145/7	改訂	
RA.1031-2	他の業務との周波数帯共用における電波天文の保護	勧告ITU-R RA.1513を考慮して、地上系無線通信業務と電波天文業務が周波数共用する場合のガイドライン	WP7D Q.145/7	改訂	

表6-5 今会期中に承認または承認予定の勧告（RSシリーズ）

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連 WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	備考
RS.1803	10.6-10.68GHz や 36-37GHz 帯において固定及び移動業務との共用を容易にする、EESSの受動センサーの技術・運用特性	10.6-10.68GHz と 36-37GHz 帯において、EESS(受動)と固定・移動業務との共用を容易にするための受動センサーに関する運用上の緩和技術を記述	WP7C Q.232-1/ 7 Agenda item 1.2	新規	
RS.1804	3000GHz 以上で運用される EESS システムの技術的且つ操作的特徴	EESS システムを構成する、イメージャ、ラジオメーター、LIDAR 高度計等のセンサー類の特性を記述	WP7C Q.235/7	新規	

第7章 RAへの対処（SG8関連）

1 研究対象

SG8は、「移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及びこれらに関する衛星業務」を研究対象としている。

我が国からは、SG8副議長及び移動衛星業務を担当するWP8D議長として、水池健氏（KDDI）を選出している。

2 RA-07に提出される決議案及び勧告案

RA-07に提出されるSG8関連の決議案及び勧告案その評価一覧を表7-1に示す。

3 課題の見直し

SG8における次会期の研究課題及びその評価一覧を表7-2に示す。今会期、60件の研究課題があったが、RA-07において1件の新規課題、21件の改訂及び5件の削除が提案されている。次会期の課題については、我が国として、支持の対処を行う。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

（1）IMT-2000の高度化及び systems beyond IMT-2000に関する研究（研究課題 229-1/8）

【概要】

IMT-2000の高度化に関する技術上、運用上の問題、systems beyond IMT-2000に関する要求条件、アプリケーション、端末のグローバルサーキュレーション等について研究

（2）コグニティブ無線に関する研究（研究課題 241/8）

【概要】

コグニティブ無線の定義、主要技術の特性、アプリケーション、既存業務との周波数共用技術等について研究

（3）無線航行衛星業務（宇宙から地球、宇宙から宇宙、地球から宇宙）システムの特性及び運用要件（研究課題 236-1/8）

【概要】

他業務との共用検討に用いられる無線航行衛星業務（RNSS）システムの技術特性及び保護基準等についての研究。

4 参考事項

SG8は、2003年12月、2004年12月、2005年11月、2006年9月及び2007年6月に開催され、100件の新規及び改訂勧告案並びに勧告の削

除案が作成されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを7-3に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向等を以下に示す。

(1) IMT-2000 の高度化及び systems beyond IMT-2000 に関する検討 (研究課題 229/8)

Systems beyond IMT-2000 の名称及び能力を規定した決議案、IMT-Advanced の無線インタフェースの提案募集方法及びその評価方法について規定した IMT-Advanced の開発プロセスの原則に関する決議案、並びに IMT-2000 の陸上移動業務の周波数配列に関する改訂勧告案を WP 8 F で作成し、SG 8 で採択し、RA-07 に送付。

(2) BWA に関する検討 (研究課題 238/8)

6 GHz 以下の周波数の移動系及びノマディック系 BWA (Broadband Wireless Access) について、日本の次世代 PHS の仕様を含む無線インタフェースを勧告する新勧告案を WP 8 A で作成し、郵便投票で承認。

(3) コグニティブ無線に関する検討 (研究課題 241/8)

コグニティブ無線に関する定義、一般的な特徴、関連技術、アプリケーション、周波数共用を可能とする技術等を記載項目とするレポートの作成に向けて WP 8 A で審議中。

(4) ソフトウェア無線 (SDR) に関する検討 (研究課題 230-1/8)

SDR (Software Define Radio) を用いた無線 LAN、ITS 等のアプリケーションや技術情報を記述したレポート案を WP 8 A で作成。また、IMT-2000 に関する SDR の関連情報を記述したレポート案を WP 8 F で作成。両者のレポート案を WP 8 A において一本化し、SG 8 で承認。

(5) RNSS に関する関連勧告の検討 (研究課題 217-1/8、236-1/8、239/8)

他業務との共用検討に用いられる RNSS システムの技術特性及び保護基準等についての検討を行い、日本からも積極的に提案を行った結果、RNSS 間システムの周波数調整のための干渉評価方法に関する新勧告が WP 8 D で策定され、SG 8 で承認。

表 7-1 RA-07 に提出される決議案及び勧告案の評価

勧告番号 ・決議番号	勧告名・決議名	勧告・決議の内容 及びコメント	関連WP / 課題番号	新規 改訂 削除	対 応	備 考
決議 M.[IMT.NAME]	IMT の名称	IMT-2000 の高度化とその後継システムの名称及び能力を規定した新決議案	WP8F / Q229-1/8	新規	支持	
決議 M.[IMT.PRINCIPLES]	IMT-Advanced における開発プロセスの原則	IMT-Advanced の無線インタフェースの提案募集方法及びその評価方法について規定した IMT-Advanced の標準化の開発プロセスの原則に関する新決議案	WP8F / Q229-1/8	新規	支持	
勧告 M.1036-2	806-960MHz 、 1710-2025MHz、 2110-2200MHz、 2500-2690MHz に おける IMT-2000 の陸上移動業務 に関する周波数 配列	806-960MHz 、 1710-2025MHz 、 2110-2200MHz 、 2500-2690MHz に おける IMT-2000 の陸上移動業務 に関する周波数 配列の勧告改訂案。 2500-2690MHz の 詳細な周波数配列 の記載の追加を行 う。	WP8F / Q229-1/8	改訂	支持	
勧告 M.[8B.GBAS]	87-108MHz 帯に おける FM 音声放 送 と 108-117.975MHz 帯における GBAS の両立性	108-117.975MHz 帯 における GBAS と 87-108MHz 帯の FM 音声放送の共用に ついての新勧告案。	WP8B / 決議 413(WRC-03)	新規	支持	
勧告 M.1457-6	IMT-2000 の無線 インタフェースに 関する詳細仕様	IMT-2000 の無線 インタフェースに 関する詳細仕様の 勧告改訂案。 IMT-2000 の既存 無線インタフェー スに関連する改訂 及び IMT-2000 の 第 6 番目の無線 インタフェースを 追加する改訂を行 う。	WP8F	改訂	*	
勧告 M.1580-1	IMT-2000 地上系 無線インタフェー スを使用する 基地局の不要輻 射特性	IMT-2000 の基地 局の不要輻射基準 に関する勧告改訂 案。 勧告 M.1457-6 の 改訂に伴い、既存 インタフェースの 記載の変更及び 新たに追加する 無線インタフェー スに関する	WP8F / Q229-1/8	改訂	*	

		る記載の追加を行う。				
勧告 M.1581-1	IMT-2000 地上系無線インタフェースを使用する移動局の不要輻射特性	IMT-2000 の移動局の不要輻射基準に関する勧告改訂案。 勧告 M.1457-6 の改訂に伴い、既存インタフェースの記載の変更及び新たに追加する無線インタフェースに関する記載の追加を行う。	WP8F/ Q229-1/8	改訂	*	

* Addendum 1 to Document 8/1001 において指摘されている技術課題に関して各国の見解が分かれている間は、勧告 M.1457-6、勧告 M.1580-1 及び勧告 M.1581-1 の改訂案に対して中立の立場を取ることとする。各国の見解が一致し当該技術課題の全てが解決されたことが明らかになった場合は、これらの勧告改訂案3件について支持して支障ない。

なお、勧告 M.1580-1 及び勧告 M.1581-1 の改訂案については、我が国の技術基準を反映した記載が維持されるよう、適宜対処する。

表 7-2 次会期の研究課題及び評価

研究課題番号	研究課題名	概要及び評価	新規継続 改訂 削除	対応	備考
1-3/8	移動業務で要求される干渉保護比及び最小電界強度	[概要] 移動業務で要求される干渉保護比と最小の電界強度について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
7-5/8	25-3000MHzの陸上移動業務の設備の特性	[概要] 25-3000MHz帯の陸上移動業務の技術特性について研究を行うもの。 対象周波数帯を25-6000MHzに拡大するとともに、研究期間の延長を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
35-1/8	無線測位業務におけるレーダー局による無線スペクトラムの有効利用	[概要] レーダー局の干渉抑圧技術の利用による運用性能の改善、及びスペクトラム利用による経済性、国際的な利用のための技術的特性、干渉抑圧技術が利用できる無線測位業務、干渉抑圧の利用における制限、スペクトラム利用効率を改善するための他の要素についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
37-4/8	陸上移動業務のための周波数効率改善システム	[概要] 基地局性能、カバレッジエリア、機器の複雑さ等を考慮し、陸上移動業務のシステムについて、周波数効率や最適な技術特性を研究するもの。 タイトルの変更と研究期間の延長を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
48-5/8	アマチュア業務及びアマチュア衛星業務における技術と周波数利用	[概要] アマチュア業務及びアマチュア衛星業務について研究を行う。 研究期間の延長を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
51-3/8	陸上移動業務の場所と案内の測定法	[概要] ADL(Automatic Determination of Location)の運用条件、周波数要件、技術特性等について研究を行う。 [評価] 特に問題なし。	削除	支持	WP8A
62-2/8	航空移動及び航空無線航行業務への干渉	[概要] IEC/CISPRの干渉測定方法が、航空関係業務の保護規定の策定に有用な基準があるか、また他の無線業務、情報機器がISMからの干渉の累積効果の測定方法の研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B

77-5/8	移動通信技術の発展及び導入に関する発展途上国の需要への配慮	[概要] 既存の通信が未発達地域における有効な通信手段としての移動通信の導入方法の研究。特に、既存ネットワークの IMT-2000 への高度化について記載されている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A WP8F
83-5/8	移動衛星業務における無線スペクトラムの有効利用及び周波数資源の共用	[概要] 移動衛星業務内及び移動衛星業務と他業務との間における無線スペクトラムの有効利用及び周波数共用のための周波数や空中線ビーム、電力などについての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に改訂
84-4/8	移動衛星業務の非静止衛星の利用	[概要] 移動衛星業務における非静止衛星軌道の利用について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に改訂
85-1/8	移動衛星業務における回線の信頼性	[概要] 移動衛星業務における回線の信頼性の定義、経済性からみた各部分への信頼性配分、信頼性との伝搬特性の関係、サービス保護のための技術的特性についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
87-4/8	移動衛星通信システムの伝送特性	[概要] 陸上、海上、航空の各移動衛星業務及びそれらの複合業務について、伝送特性、多元接続方式、変調方式、符号化方式、地球局・宇宙局の性能特性、陸上・海上・航空の装置の共用化のために好ましい伝送特性等の研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に改訂
88-1/8	移動衛星業務のための伝搬及び移動地球局のアンテナ特性	[概要] 船舶・航空機・陸上で使用する移動地球局において使用するアンテナやその特性、アンテナ系によるフェージングの軽減についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
90/8	遭難安全通信のために衛星技術を利用するシステムの技術的または運用上の特性	[概要] 遭難安全通信のために低軌道、又は静止軌道衛星の技術を利用するシステムの技術的または運用上の特性、船舶・航空機・陸上の移動体(衛星 EPIRB 及び ELT を含む)の技術的または運用上の問題点と経済的要因、406-406.1MHz の周波数帯を使用する EPIRB と隣接周波数帯を使用する業務との両立性についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D

91-1/8	無線測位衛星業務の技術及び運用特性	[概要] 無線測位衛星業務と他業務との技術特性及び適切な共用基準等について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
93-2/8	MF、HF及びVHF海上移動通信の自動化	[概要] MF帯、HF帯及びVHF帯における船舶局と海岸局との通信の自動化のための適切な技術及び運用特性について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
96-2/8	海上移動業務の海上安全及び港湾保安無線局による156-174MHz帯の利用効率の改善	[概要] 海上の安全及び港湾保安等に対するAISの有用性と、AISの利用について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B 会期中に改訂
98/8	電子海図表示システム(ECDIS)の改修のためのデジタルデータの伝送	[概要] すべての船舶に対し、電子海図情報を水路事務所から送信するためのシステム、デジタル最新化ファイルの放送または相互通信による選択配布のための衛星と地上系システムとの有利性の比較、無線航行警報の自動表示のための技術基準及び運用手続、受信デジタルデータの精度補償の運用手続及び符号化技術についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
99/8	25-3000MHzの陸上移動業務における相互変調積に起因する混信	[概要] 送信機、受信機及び外部非線形素子に起因する相互変調積の軽減技術、送信機相互変調積の許容量及び受信相互変調積についての予防と対応策等の研究。 対象周波数帯を25-6000MHzに拡大するとともに、研究期間の延長を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
101-3/8	陸上移動業務におけるデジタル音声コーデック	[概要] 陸上移動アプリケーションに適した符号化方式に関する研究課題。 研究期間の延長及び編集上の修正を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
106/8	1-3GHz帯における(音声)衛星放送業務と補足地上放送、移動、無線測位及びアマチュア業務との間の周波数共用基準	[概要] 周波数共用を許容する上での技術パラメータと運用上の考慮事項の研究。 編集上の修正を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A

107-1/8	セルラ陸上移動通信システム	[概要] 国際的な要求を考慮したセルラ陸上移動通信システムのシステムパラメータ及び技術特性等について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	削除	支持	WP8A
109-1/8	1530-1544MHz 及び 1626.5-1645.5MHz 帯で運用される移動衛星システムの GMDSS 要件	[概要] 1530-1544MHz 帯及び 1626.5-1645.5 MHz 帯において運用される移動衛星システムのための GMDSS に関する研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に改訂
110-1/8	航空移動衛星(R)業務への干渉	[概要] 航空移動衛星(R)業務への干渉の計算方法、干渉保護基準等についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
112/8	デジタル移動衛星業務の性能目標	[概要] デジタル移動衛星業務のシステムの誤り訂正性能目標等について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
114/8	コードレス電話及びコードレス通信の技術・運用特性	[概要] アナログ及びデジタル方式のコードレス通信システムの技術的・運用的条件についての研究。 [評価] 特に問題なし。	削除	支持	WP8A
201-1/8	移動衛星業務と他業務との間の周波数共用	[概要] 移動衛星業務と他業務との間の周波数共用について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
202-3/8	レーダーのスプリアス発射	[概要] レーダーからのスプリアス発射レベル、測定技術、軽減方策及びその技術的、経済的影響、軽減方策による達成されるレベルについての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B 会期中に改訂
205-3/8	高度道路交通システム (ITS)	[概要] ITS の構成要素、機能、周波数要件等について研究するもの。 対象に AVL (Automatic Vehicle Location) を含めるとともに、関係する研究課題の改訂について、研究期間の延長を行う。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
208/8	IMT-2000 に対する陸上移動システムの向上	[概要] IMT-2000 の技術要件について研究を行うもの。 研究期間の延長のほか、タイトルに IMT-2000 後継システムを含める編集上の修正を行う。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A

209-2/8	災害時通信の改善に向けた移動、アマチュア及び関連衛星業務の貢献	[概要] 災害時通信の改善に向けた移動、アマチュア及び関連衛星業務の貢献について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A WP8D 会期中に改訂
210-1/8	1-3GHz帯の移動衛星業務（MSS）の全地球的な非静止衛星システムで運用される移動地球局の技術特性	[概要] 1-3GHz帯移動衛星業務における全世界的な非静止衛星システムを使用する移動地球局の技術的特性について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に改訂
211-2/8	移動衛星業務の干渉基準と計算手法	[概要] 移動衛星業務の干渉基準と計算手法について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
212-2/8	移動アプリケーションのための無線 LAN（RLANs）を含むノマディック無線アクセスシステム	[概要] 無線LANを含むノマディック無線アクセスシステム（NWA）について、技術及び運用要件等について研究するもの。 研究期間の延長を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
213/8	共有された個人利用の陸上移動無線（PMR）チャンネルに関するデータメッセージの送信	[概要] 陸上移動無線におけるデータメッセージと音声通話とのチャンネル共用について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	削除	支持	WP8A
214/8	陸上移動業務の周波数帯の再計画	[概要] 陸上移動業務の25-3000MHz帯の周波数の割当及び調整等について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	削除	支持	WP8A
215-1/8	固定系無線アクセスシステムのための周波数帯、技術特性及び運用要件	[概要] FWAシステムに最適な周波数帯、技術特性及び運用要件等について研究を行うもの。 検討対象を陸上移動業務で使用されるFWAシステムに限定するとともに研究期間の延長を行っている。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A
216-2/8	5350-5650MHz帯で運用される無線航行、地球探査衛星（能動）、宇宙研究（能動）及び無線評定業務の両立性並びに2900-3100MHz帯の無線航行及び無線評定業務との両立性	[概要] 2900-3100MHz帯及び5350-5650MHz帯の無線標定業務と無線航行業務との共用のための技術特性及び保護基準等について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B

217-1/8	ICAO グローバルナビゲーション衛星システムにおける無線航行衛星業務への干渉	[概要] ICAO全世界航行システム用の無線航行衛星業務への干渉について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8D 会期中に改訂
218/8	1-3GHz帯の全地球的及び地域静止移動衛星業務システムのための移動地球局の基本技術要件	[概要] 1-3GHz帯のGSO-MSSシステムの移動地球局の技術特性について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
221/8	J2DEN 発射クラスで使用されるデータ送信のための航空移動(R)業務による2.8-22MHz間の周波数帯の利用	[概要] 2.8-22MHz帯のAM(R)SのHFデータリンクに係る技術及び運用特性について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
223-1/8	移動システム上のIPアプリケーション	[概要] 移動システム上のIPアプリケーションに必要な技術面・運用面の特性、VoIP (Voice over IP) に関連した特別な要求条件等についての研究。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A WP8F
224-1/8	アダプティブ・アンテナ	[概要] 移動無線システムで使用するアダプティブアンテナの技術特性等について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A WP8F
225/8	非合意無線局によるHF帯の航空及び海上移動業務への干渉	[概要] 航空及び海上移動業務で使用されるHF信号の干渉低減技術について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
226/8	無線測位業務で運用されるレーダーのための特性及び保護基準	[概要] レーダーシステムと他のシステムとの詳細な共用検討を行うための技術特性や分析手法等について、研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
227/8	移動衛星業務の緊急通信の技術及び運用特性	[概要] GMDSSを除く、衛星を使用した緊急通信のための技術及び運用要件について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
228-1/8	IMT-2000のための衛星無線伝送技術に係る将来提案	[概要] IMT-2000のための衛星無線伝送技術に係る将来提案について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に改訂

229-1/8	IMT-2000 の高度化及び systems beyond IMT-2000	[概要] IMT-2000 及び IMT-2000 後継システムについて、高度化に伴う技術要件等の研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8F
230-1/8	ソフトウェア無線	[概要] ソフトウェア無線の定義や技術特性等について研究を行うもの。 研究期間の延長を行う。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A WP8F
231/8	3GHz 以上の帯域の広帯域航空テレメトリの運用	[概要] 3GHz 以上の帯域の広帯域航空テレメトリの運用についての研究を行う。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
232/8	ユニバーサル自動船舶識別装置	[概要] 自動船舶識別装置に関する勧告 ITU-RM.1371 の変更についての研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
233/8	MSS のパケットネットワーク送信のための技術及び運用特性	[概要] MSSのパケットデータ送信について、適切な技術及び運用要件等の研究を行う。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D
234/8	9000-9200MHz, 9300-9500MHz 帯で運用する無線航行と無線標定レーダーの両立性	[概要] 9000-9200MHz と 9300-9500MHz 帯で運用する無線航行業務と無線標定業務の両立性の研究。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B
235/8	航空及び海上システムのための保護基準	[概要] 航空移動及び海上移動業務とまだ勧告に含まれていない無線測位業務のシステムとの技術及び運用要件並びに保護基準について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8D 会期中に新規策定
236-1/8	無線航行衛星業務(宇宙から地球、宇宙から宇宙、地球から宇宙)システムの特性及び運用要件	[概要] 無線航行衛星業務の特性及び保護基準について研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8D 会期中に新規策定・改訂
237/8	VHF 周波数帯の無線測位業務で運用されるレーダーのための特性、保護基準及び適切な周波数帯	[概要] VHF帯における無線測位レーダーに関し、特性・保護基準・最適な周波数帯の研究を行うもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B 会期中に新規策

238/8	移動業務のための広帯域無線アクセスシステム	[概要] 移動業務の広帯域無線アクセスシステムを研究するものであり、研究すべき項目は、以下の5点。 1. 無線インタフェース標準規格 2. 技術・運用条件 3. 変復調などの伝送方式 4. アンテナ 5. 周波数共用基準 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A 会期中に 新規策定
239/8	無線航行衛星業務の調整方法の策定	[概要] RNSS のシステム間の調整の手法を研究するものであり、決議 610 に基づき、RNSS 間の周波数調整方法を確立する。 [評価] FDMAに関する更なる研究も必要であることから、研究期間の延長を支持。	改訂	支持	WP8D 会期中に 新規策定
240/8	3-50MHz 帯で運用する HF 海洋表面レーダーシステムの技術及び運用特性並びに周波数要件	[概要] 3-50MHz帯で動作する HF(High-Frequency)レーダーが海洋の表面流観測等に用いられるレーダー(海洋レーダー)として、研究面、実用面での利用が増えていることから、その技術・運用特性について研究するもの。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	WP8B 会期中に 新規策定
241/8	移動業務のコグニティブ無線システム	[概要] コグニティブ無線は既にITU-R及び他の様々な機関によって検討されており、技術的検討が重要になると予想されることから、その技術的特性について研究を行うもの。 最終的な成果物を勧告、レポートに限定せず、ハンドブックも含めるよう改訂。 [評価] 特に問題なし。	改訂	支持	WP8A 会期中に 新規策定
Doc. 8/74	辺境及び発展途上地域における衛星通信を利用した民間航空機電気通信システムの近代化と電気通信システムの拡大の援助	[概要] 航空電気通信サービスの技術上の又は運用上の特性、特に途上地域及び辺境地域におけるMSS、FSSの導入について研究するもの。 [評価] 特になし	新規	支持	WP8B

表 7-3 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP/課題番号	新規改訂削除	備考
M.818-2	IMT-2000における衛星の運用	[勧告内容] IMT-2000衛星系コンポーネントでサポートするシステムとして、M.816で定義される Distribution Serviceを含めるよう変更を行うもの	WP8D/ Q39, 229-1	改訂	2003.7 CACE/294

M.1041 -2	将来のアマチュア無線通信(FARS)	[勧告内容] 将来のアマチュア無線システムの用途、技術、運用特性について記載されている勧告。	WP8A/ Q48-5	改訂	2003.7 CACE/294
M.1043 -2	アマチュア及びアマチュア衛星業務の発展途上国における使用	[勧告内容] 開発途上国におけるアマチュア業務及びアマチュア衛星業務の促進、アマチュア業務の促進のためのボランティアの活用、発展途上国特有のニーズに応える等を勧告。	WP8A/ Q48-5	改訂	2003.7 CACE/294
M.1044 -2	アマチュア及びアマチュア衛星業務における周波数共用基準	[勧告内容] アマチュア業務は、放送業界、航空機・船舶無線など、人命に係わる業務との共用は避けるべきであること等を勧告。	WP8A/ Q48-5	改訂	2003.7 CACE/294
M.1079 -2	IMT-2000無線アクセス網の性能及びQoS	[勧告内容] IMT-2000無線アクセス網の性能及びQoS要求条件を定めたもの。引用している外部機関の仕様の改訂にともない、修正したもの。	WP8F/ Q229-1	改訂	2003.7 CACE/294
M.1177 -3	レーダーシステムにおける不要輻射測定技術	[勧告内容] レーダーシステムにおける不要輻射測定技術について、新たな変調方式、測定帯域幅へ対応するもの。	WP8B/ Q202-3	改訂	2003.7 CACE/294
M.1182 -1	地上系と衛星系の両通信システムの統合	[勧告内容] 地上系と衛星系の両通信システムの統合について定めたもの。衛星系と地上系の5段階の統合レベルでは、Level 3(network level)以上での統合が望ましいとしているが、改訂により、新たにLevel 4(equipment level)でブロードバンドシステム例を追加するもの。	WP8D, WP8F/ Q89	改訂	2003.7 CACE/294
M.1581 -1	IMT-2000地上系無線インタフェースを使用する移動局の不要輻射特性	[勧告内容] IMT-2000地上系無線インタフェースを使用する移動局の不要輻射特性を定めたもの。	WP8F/ Q229-1	改訂	2003.7 CACE/294
M.1143 -2	MSSにおけるNGSO宇宙局(宇宙から地球)と固定業務との調整法	[勧告内容] MSSにおけるNGSO宇宙局(宇宙から地球)と固定業務との調整法を定めたもの。SG9においてITU-R勧告F.1189、F.1092を、各々ITU-R勧告F.1491、F.1397に置き換えたことにより、その参照箇所の修正を行うもの。	WP8D/ Q201-1 , 118	改訂	2003.7 CACE/294
M.1319 -2	2GHz帯で運用される時分割多重又は周波数分割多重アクセスによるMSS衛星システムから固定業務受信機への見通し内干渉の評価方法の基礎	[勧告内容] 2GHz帯で運用される時分割多重又は周波数分割多重アクセスによるMSS衛星システムから、固定業務受信機への見通し内干渉の評価方法の基礎に関するもの。SG9においてITU-R勧告F.1189、F.1092を、各々ITU-R勧告F.1491、F.1397に置き換えたことにより、その参照箇所の修正を行ったもの。	WP8D/ Q201-1 , 118	改訂	2003.7 CACE/294

M.1455-2	IMT-2000 無線インタフェースの主要特性	[勧告内容] IMT-2000の各無線方式（陸上系・衛星系）について主要な特性を記載したものの。	WP8D, WP8F/ Q229-1	改訂	2003.7 CACE/294
M.1634	モンテカルロシミュレーションの周波数共用への応用による陸上移動業務の干渉保護	[勧告内容] 共用検討に際し、モンテカルロシミュレーションを活用することを勧告するもの。	WP8A/ Q1-3	新規	2003.7 CACE/294
M.1635	IMT-2000 又は systems beyond IMT-2000と他のサービスとの干渉評価の一般的な方法論	[勧告内容] IMT-2000 又は systems beyond IMT-2000と他システムとの同一周波数及び隣接周波数における干渉の可能性を評価する一般的な方法論を定めたもの。	WP8F/ Q229-1	新規	2003.7 CACE/294
M.1636	MSSにおけるIPパケット伝送の基本参照モデル及び性能パラメータ	[勧告内容] MSSにおけるIPパケット伝送における基本参照モデル及び性能パラメータを定めたもの。	WP8D/ Q85-1, 87-4, 112, 233	新規	2003.7 CACE/294
M.1457-3	IMT-2000 無線インタフェースの詳細仕様	[勧告内容] 陸上系及び衛星系のIMT-2000の各無線インタフェースについて詳細な仕様を記載したものの。 改訂では、衛星系インタフェースのうち、韓国のC方式(SAT-CDMA方式)について、語句の訂正等を行うとともに、新たなチャネル構造等を追加記載。	WP8F/ Q229-1	改訂	2004.1 CACE/306
M.1677	国際モールス符号	[勧告内容] モールス符号に関する勧告がITU-TからITU-R SG8 WP8Aに移管されることに伴い、近年に使用機会の多い電子メールアドレスの「@」を追加している。	WP8A/ N/A	新規	2004.5 CACE/314
M.1678	移動システムのためのアダプティブアンテナ	[勧告内容] 陸上移動ネットワークにおける周波数効率を改善するアダプティブアンテナシステムについて一般的な考察をし、干渉低減の観点等から新たな移動通信ネットワーク及び既存の移動通信ネットワークの高度化におけるその使用を推奨するもの。	WP8A/ Q224-1	新規	2004.5 CACE/314
M.1174-2	450-470MHz帯における船上通信のための端末の技術特性	[勧告内容] RR 5.287号の規定に従って、海上移動業務で運用される端末のための25kHz及び12.5kHzのチャンネル間隔の技術特性を規定したものの。 主な変更点は以下のとおり。 客船で用いられる呼び出し装置（ページング装置）にも使用されていることを考慮し、レピータのペア周波数を追加するとともに、RR 5.287号で示す周波数を12.5kHzでも使用できるよう変更した。さらにチャンネル間隔12.5kHz時の音声の周波数帯域を変更。 既存勧告では、音声の周波数帯域に	WP8B	改訂	2004.5 CACE/314

		において、ETSI の ETS 規格 300 086 が引用されていたが、削除。			
M.541-9	海上移動業務の端末の DSC を使用するための運用手続き	[勧告内容] ITU-R 勧告 M.493 に与えられる DSC 装置の運用手続きを規定しているもの。 主な変更点は以下のとおり。 1)HF 帯において、遭難警報のリレーが増殖する問題を解決した。 2)緊急呼出を追加するとともに、非遭難及び非安全呼出を繰返呼出に変更した。 3)遭難、安全呼出のための端末のテストは、ITU-R 勧告 M.493 に従うよう規定した。	WP8B/ Q9	改訂	2004.5 CACE/314
M.493-11	海上移動業務で使用するデジタル選択呼出システム	[勧告内容] DSC システム全般と DSC 端末の簡素化の特性を提供するもの。 主な変更点は以下のとおり。 1)HF 帯において、遭難警報のリレーが増殖する問題を解決した。 2)緊急呼出を追加するとともに、非遭難及び非安全呼出を繰返呼出に変更した 3)遭難、安全呼出のための端末のテストは、ITU-R 勧告 M.493 に従うよう規定した。 また、DSC 端末は、ITU-R 勧告 M.541 に定める条件に従う設計にもするよう勧告が盛り込むもの。	WP8B/ Q9	改訂	2004.5 CACE/314
M.633-3	406MHz帯における衛星システムで運用される衛星緊急位置標示無線ビーコン(衛星EPIRB)の伝送特性	[勧告内容] コスパス・サーサット衛星の警報システムとの共用のための406MHzでの伝送特性を提供するもの。 主な変更点は以下のとおり。 406MHz の COSPAS-SARSAT の最新情報(2003年10月5日付け)に基づき小規模な修正。	WP8D/ Q90	改訂	2004.5 CACE/314
M.1478-1	406-406.1MHz帯におけるCOSPAS-SARSATの搜索及び救助装置の保護基準	[勧告内容] 406-406.1 MHz 帯を使用するCOSPAS-SARSAT 宇宙局の中継器及び搭載計算機の保護基準を規定するもの。 主な変更点は以下のとおり。 新たなCOSPAS-SARSAT 搭載機器、COSPAS-SARSAT システムを構成するNOAA、GOES(静止衛星軌道)やMSG(静止衛星軌道)の機器に対する保護基準の追加である。これにともない、勧告のタイトルから、「低極軌道」を削除する変更も行っている。	WP8D	改訂	2004.5 CACE/314
M.1639-1	1164-1215MHz帯で運用する全てのRNSSシステムの宇宙局の発射からARNS局の保護基準	[勧告内容] 1164-1215MHz 帯で運用する全てのRNSS システムの宇宙局の発射からARNS局を保護するepfdレベルを規	WP8D/ Q91-1	改訂	2005.6 CACE/354

		定。 主な変更点は以下のとおり。 WRC-03 で ARNS への RNSS からの混信保護基準は全システムからの epfd 合計値が $-121.5\text{dB (W/m}^2/\text{MHz)}$ となったため、これを反映するもの。			
M.1731	1544-1545MHz 帯のコスパスサーサットローカルユーザー端末の保護基準	[勧告内容] 1544-1545MHz 帯のコスパスサーサットローカルユーザー端末 (LUT) の保護基準に関するもの。 静止軌道及び低軌道の衛星から 1544-1545MHz 帯でダウンリンクを受ける保護基準について、GOES 衛星を運用する GEOLUTs、国際的 EPIRB PDS データを受ける LEOLUTs、低軌道衛星による 406MHzEPIRB を受ける LEOLUTs、MSG 衛星を運用する GEOLUTs へのそれぞれの干渉分析を行い、各保護基準を規定している。	WP8D/ Q90	新規	2005.6 CACE/354
M.1453 -2	高度道路交通システムー 5.8GHz における狭帯域通信	[勧告内容] 本勧告は、5.8GHz における狭帯域通信 (DSRC) の勧告であり、ARIB STD-T75 規格に加え CEN DSRC 規格等を含んでいる。 改訂により、5.8GHz における DSRC をより一体化し、マルチアプリケーションの展開を容易にする Application Sub Layer(ASL)を規定するもの。	WP8A/ Q205-3	改訂	2005.6 CACE/354
M.1642 -1	1164-1215 MHz 帯で運用する全 RNSS システムから航空無線航行業務の局への最大総合 epfd 評価に関する方法	[勧告内容] 1164-1215MHz 帯で運用する無線航行衛星業務から航空無線航行業務での最大総合 epfd 評価の方法を規定している。 主な変更点は以下のとおり。 epfd の算出で用いる RNSS システムの軌道面の計算方法において、既存の内容が静止衛星及び円軌道のみを対象としていたため、楕円軌道にも適用できるよう改訂。 WRC-03 で ARNS への RNSS からの混信保護基準は全システムからの epfd 合計値が $-121.5\text{dB(W/m}^2/\text{MHz)}$ となったため、改訂。	WP8D/ Q91-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.1732	共用検討に使用するためのアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用されているシステムの特性	[勧告内容] 共用検討に使用するためのアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用されているシステムの特性に関するもの。	WP8A/ Q48-5	新規	2005.6 CACE/354
M.1073 - 2	デジタルセルラー陸上移動体通信システム	[勧告内容] 本勧告は、デジタルセルラー陸上移動体通信システムの技術上、運用上の特性について勧告するもの。 WP8F で定期的に改訂している勧告 M.1457(IMT-2000 無線インタフ	WP8A/ Q107-1	改訂	2005.6 CACE/354

		エースの詳細仕様)における ITU の外部機関が作成した仕様を参照する形式に改訂。			
M.694 - 1	船舶地球局アンテナの参照放射パターン	[勧告内容] 本勧告は、船舶地球局アンテナの参照放射パターンを規定している。 主な変更点は以下のとおり。 船舶地球局アンテナの参照放射パターンに関する報告書 922 を ITU-R 勧告 M.694 に取り込むもの。 また、対象周波数帯を WRC-03 の追加分配を踏まえ、1525MHz を 1518MHz に修正し、1518MHz-1660.5MHz に改訂。	WP8D/ Q88-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.830- 1	GMDSS に使用される 1530-1544MHz 及び 1626.5-1645.5MHz 帯の移動衛星ネットワーク/システムの運用の手続き	[勧告内容] GMDSS に使われる 1530-1544 MHz 及び 1626.5- 1645.5 MHz 帯の移動衛星ネットワーク/システムの運用の手続きを規定している。 主な変更点は以下のとおり。 RR の条項について WRC の結果を反映させるもの。	WP8D/ Q90	改訂	2005.6 CACE/354
M.1469 -1	TDMA/FDMA の MSS (地球から宇宙) の送信から 2GHz 帯で見通し固定業務受信機への混信評価方法	[勧告内容] 2GHz 帯で見通し固定業務受信機への混信評価を TDMA/FDMA の MSS (宇宙から地球) の送信の混信評価方法を規定している。 主な変更点は以下のとおり。 過去の経過規定の参照及び決議 46 の参照に関するもので、これに伴い、全ての地域で 1980-2010MHz と第二地域で 2010-2025MHz が一次的基礎で FS 及び MSS への分配の追加を反映させるもの。	WP8D/ Q201-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.1343 -1	1-3GHz 帯における non-GSO MSS システムの移動地球局の技術必須要件	[勧告内容] 1-3GHz 帯での世界的非静止移動衛星業務システムの移動地球局の必須な技術的条件に関するもので、端末認証等主管庁に共通な技術基礎とされるもの。 主な変更点は以下のとおり。 RR の参照条項に関する更新を行い、SG8 のワークプログラムの変更を反映させたもの。	WP8D/ Q210-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.1143 -3	移動衛星業務を運用する non-GSO 宇宙局 (宇宙から地球) と固定業務との調整のためのシステム特定方法	[勧告内容] 固定業務で衛星移動業務を運用する non-GSO 宇宙局の調整のための方法を規定している。 主な変更点は以下のとおり。 WRC-03 の決定により、1492-1518MHz が移動衛星業務として分配がなくなったため、対象周波数帯を改訂するもの。	WP8D/ Q201-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.1141 -2	移動衛星業務で運用する non-GSO 宇宙局と固定業務の局との間の 1-3GHz	[勧告内容] 本勧告は、移動衛星業務で運用する non-GSO 宇宙局と固定業務の局の	WP8D/ Q201-1	改訂	2005.6 CACE/354

	の周波数範囲における共用	1-3GHz 帯の共用を規定している。 主な変更点は以下のとおり。 WRC-03 での決定により、 1492-1518MHz が移動衛星業務として 分配がなくなったため、pfd レベル の対象周波数を改訂するもの。			
M.1730	15.7-17.3GHz 帯における 無線標定業務のための特性 及び保護基準	[勧告内容] 本勧告は、15.7-17.3GHz 帯における 無線標定業務のための特性及び保護 基準に関するもの。	WP8B/ Q201-1	新規	2005.6 CACE/354
M.1316 -1	移動衛星業務(地球から宇宙) と電波天文業務との間の 1610.6-1613.8 MHz 及び 1660-1660.5 MHz 帯の 周波数共用のための方法 と原則	[勧告内容] 移動衛星業務と電波天文業務の 1610.6-1613.8 MHz 及び 1660-1660.5 MHz 帯の周波数 共用のための方法と原則を規定 している。 主な変更点は以下のとおり。 path loss の計算に使用される 時間率に、計算された基本伝送 ロスが考慮されるようになった ため改訂。	WP8D/ Q201-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.1142 -2	移動衛星業務の GSO 宇宙 局と固定業務の局との間の 1-3GHz の周波数範囲 における共用	[勧告内容] 本勧告は、1-3GHz 帯で共用する 固定業務の局との移動衛星業務 の GSO 宇宙局の周波数調整 のためのしきい値である pdf レベルを規定している。 主な変更点は以下のとおり。 WRC-03 の決定により 1492- 1518MHz が移動衛星業務として 分配がなくなったため、pfd レベルの対象周波数を改訂する もの。	WP8D/ Q201-1	改訂	2005.6 CACE/354
M.1314 -1	400MHz を超えるレーダー システムの不要発射の 低減	[勧告内容] 本勧告は、3GHz と 5GHz で 運用するレーダーシステムの スプリアス発射の低減に関する ものである。 主な変更点は以下のとおり。 対象周波数帯として、3GHz と 5GHz から 400MHz を 超えるものとして拡張を行う とともに、対象をスプリアス 発射の低減から、不要発射の 低減に拡張し、これらに伴い タイトルの修正を行うもの。	WP8B/ Q202-3	改訂	2005.6 CACE/354
M.546	航空、陸上、海上移動衛星 業務における仮想電話基準 回線	[勧告内容] 航空、陸上、海上移動衛星 業務における仮想電話基準 回線に関する勧告。	WP8D/ Q82	削除	2005.6 CACE/354
M.1185	148.00149.9MHz 帯にお ける地上設置された移動 地球局と地上局の調整 距離を決定する方法	[勧告内容] 148.0-149.9MHz 帯にお ける地上設置された移動 地球局と地上局の調整 距離を決定する方法に関する 勧告。	WP8D/ Q201-1	削除	2005.6 CACE/354
M.1468	多様な業務を提供する衛 星システムの技術特性 及び共用のシナリオ	[勧告内容] 多様な業務を提供する衛 星システムの技術特性 及び共用のシナリオに 関する勧告。	WP8D/ Q104	削除	2005.6 CACE/354
M.1087	1GHz 以下の MSS にお ける周波数拡散 LEO シ ステムと陸上移動業務シ ステム	[勧告内容] 1GHz より下の MSS にお けるスペクトル拡散 LEO システムと陸上移動	WP8D/ Q201, 211-2	削除	2005.6 CACE/354

	ムとの共用評価手法	業務システムとの共用評価手法に関する勧告。			
M.1457-4	IMT-2000 無線インタフェースの詳細仕様	[勧告内容] 陸上系及び衛星系のIMT-2000の各無線インタフェースについて詳細な仕様を記載したもの。 改訂では、中国標準化機関の名称変更及び各方式の概要、無線インタフェースの高度化の記述を行うもの。	WP8F/ Q229-1	改訂	2005.7 CACE/355
M.1580-1	IMT-2000 の地上系無線インタフェースに用いる基地局の不要輻射特性	[勧告内容] 本勧告は、IMT-2000 の基地局の不要輻射規定に関するもの。 IMT-2000 無線インタフェースの詳細仕様に関する ITU-R 勧告 M.1457-4(2005.7)の改訂 (5.3.1.6 の表中の ACLR(隣接チャンネル漏洩電力)値の変更) と整合させるため、ITU-R 勧告 M.1580 の CDMA TDD Narrow Band Option に関する ANNEX3 の ACLR 値を変更するもの。	WP8F/ Q229-1	改訂	2005.8 CACE/366
M.1641-1	高高度プラットフォーム局と IMT-2000 を提供するセルラシステムとの離隔距離を測定するための同一チャンネル干渉評価方法	[勧告内容] 本勧告は、高高度プラットフォーム局 (HAPS) と IMT-2000 を提供するセルラシステムとの離隔距離を測定するために、同一チャンネル干渉に関する計算手法を勧告するもの。 改訂により計算方法の変更を行っている。	WP8F	改訂	2006.3 CACE/376
M.1039-3	1GHz 以下の移動業務局と FDMA 非静止移動衛星システム移動地球局アップリンクとの同一周波数共用	[勧告内容] 1GHz以下の移動業務局とFDMA非静止移動衛星システムアップリンクとの同一周波数共用に関するもの。 主な変更点は以下のとおり。 WRC の結果と ITU-R テキストの変更を反映してアップデートしたものである。M.1039については、改訂要旨とスコープが追加され、削除された P.370 に代わり、P.1546 を参照するよう修正。	WP8D/ Q83-5, 84-4, 201-1	改訂	2006.3 CACE/376
M.1187-1	1-3GHzで運用される円軌道移動衛星業務に対する影響領域計算法	[勧告内容] 1-3GHz で運用される円軌道移動衛星業務に対する影響領域計算法に関するもの。 主な変更点は以下のとおり。 SG8 関連文書の見直しに関する WP8D コレスポネンスグループの報告に基づき、適切な RR の記述を反映してアップデートしたものの。	WP8D/ Q83-5, 201-1	改訂	2006.3 CACE/376
M.1188-1	衛星ダイバシチを用いないハンドヘルド端末向けサービスを提供する非静止移動衛星システム的设计に対する電波伝搬の影響	[勧告内容] 1-3GHz帯の非静止衛星移動システム設計において考慮すべき事項を規定している。 主な変更点は以下のとおり。 SG8 関連文書の見直しに関する WP8D コレスポネンスグループの	WP8D/ Q88-1	改訂	2006.3 CACE/376

		報告に基づき、見直しを行ったもの。			
M.1234 -1	1545-1555MHz/ 1646.5-1656.5MHz 帯の 航空移動衛星 (R) 業務と これに付随するフィーダ リンクのための静止衛星 網のデジタルチャネルに 対する AMS (R) と固定 衛星業務の他通信網に起 因する干渉許容レベル	[勧告内容] 1545-1555MHz/1646.5-1656.5MHz 帯の航空移動衛星 (R) 業務とこれ に付随するフィーダリンクのための 静止衛星通信網のデジタルチャネル に対するこの業務と固定衛星業務の 他通信網に起因する混信の許容レベ ルに関するものである。 主な変更点は以下のとおり。 SG8 関連文書を見直す WP8D コレ スポンデンスグループの報告に基づ き、WRC の結果を反映してアップ デートしている。シリア提案に基づ き、FSS に関して、SG4 へ注意を促 す脚注を追加。	WP8D/ Q83-5	改訂	2006.3 CACE/376
M.1086 -1	同一周波数を共用する GSO 移動衛星ネットワ ーク間の調整の必要性の決 定	[勧告内容] 同一周波数を共用する GSO 移動衛 星ネットワーク間の調整の必要性の 決定に関するもの。 RR の改正を反映してアップデート している。	WP8D/ Q83-5	改訂	2006.3 CACE/376
M.1233 -1	航空移動衛星 (R) 業務以 外の移動衛星業務と航空 移動衛星 (R) 業務との間 の衛星通信網の周波数共 用のための技術的考察	[勧告内容] 航空移動衛星 (R) 業務以外の移動 衛星業務と航空移動衛星 (R) 業務 との間の衛星通信網の周波数共用の ための技術的考察に関するもの。 SG8 関連文書の見直しに関する WP8D コレスポンデンスグループの 報告に基づき、WRC の結果を反映 してアップデートしている。	WP8D/ Q83-5	改訂	2006.3 CACE/376
M.1186 -1	1-3GHz 帯 における CDMA を利用する移動衛 星業務ネットワークと他 の周波数拡散方式間の調 整のための技術的問題	[勧告内容] 1-3GHz 帯における符号分割多重接 続方式 (CDMA) を利用する移動衛 星業務ネットワークと他の周波数拡 散技術間の調整のための技術的問題 に関するもの。 SG8 関連文書の見直しに関する WP8D コレスポンデンスグループの 報告に基づき、WRC の結果を反映 してアップデートしている。	WP8D/ Q83-5, 201-1	改訂	2006.3 CACE/376
M.1739	5150-5250MHz 、 5250-5350MHz、及び 5470-5725MHzにおける、 決議229に従った移動業 務の無線 LAN を含む無 線アクセスシステムの保 護基準	[勧告内容] WRC-03 で周波数が分配された 5GHz 帯の無線 LAN を含む無線ア クセスシステム他業務からの保護 基準を規定するもの。無線アクセ スシステムの受信機について保護基 準として I/N = 6 を規定。	WP8A/ Q1-3, 212-2, 215-1	新規	2006.3 CACE/376
M.1740	アマチュア業務及びアマ チュア衛星業務に関する ITU-R 文書の利用ガイド	[勧告内容] ITU の RR 及び勧告にあるアマチュ ア業務及びアマチュア衛星業務に 関する ITU-R 文書の利用ガイドを勧 告化するもの。	WP8A	新規	2006.3 CACE/376
M.1741	移動衛星業務における IP パケットアプリケーション のための性能目標導出 及び最適化の手法	[勧告内容] 移動衛星業務における IP パケット データアプリケーションのための性 能目標導出及び最適化の手法に関す	WP8D/ Q85-1, 87-4, 112,	新規	2006.3 CACE/376

		るもの。	233		
M.828-2	移動衛星業務における通信回線の稼働率定義	[勧告内容] 移動衛星業務における通信回線の稼働率定義に関するもの。	WP8D/ Q85	改訂	2006.4 CACE/377
M.823-3	中短波帯海上無線標識の技術特性	[勧告内容] 中短波帯海上無線標識の技術特性に関するもの。	WP8B	改訂	2006.4 CACE/377
M.1371-2	ユニバーサル AIS の技術特性	[勧告内容] 船舶用 AIS の技術特性に関する勧告。	WP8B/ Q232	改訂	2006.4 CACE/377
M.628-4	SART の技術特性	[勧告内容] SART の技術特性に関する勧告であり、今回の改訂では、円偏波を利用した SART の技術パラメータを追加。	WP8B/ Q28, 45	改訂	2006.4 CACE/377
M.1467-1	中波帯 NAVTEX のカバレッジ	[勧告内容] 中波帯で使用される NAVTEX のカバレッジに関する勧告。	WP8B/ Q92	改訂	2006.4 CACE/377
M.1460-1	2900-3100MHz 帯における無線測位及び気象レーダーに対する技術・運用特性及び保護基準	[勧告内容] 2900-3100MHz 帯で運用される無線測位業務のシステム及び気象レーダーに関する技術特性及び運用特性、並びに保護基準に関するもの。 今回の改訂では、日本の気象レーダーのパラメータを追加。	WP8B/ Q226, 216-2	改訂	2006.4 CACE/377
M.1746	データ通信利用時の特性保護を目的とした調和の取れた周波数計画	[勧告内容] データ通信利用時の特性保護のため、相互運用性や調和した周波数計画について勧告したもの。	WP8A	新規	2006.4 CACE/377
M.1747	1390-1392MHz (地球から宇宙) 及び1430-1432MHz 帯 (宇宙から地球) で運用する移動衛星業務フィーダリンクの不要発射から1400-1427MHz 帯の地球探査衛星業務 (受動) の保護	[勧告内容] 1390-1392MHz (地球から宇宙) 及び1430-1432MHz 帯 (宇宙から地球) で運用する移動衛星業務フィーダリンクの不要発射と1400-1427MHz 帯の地球探査衛星業務 (受動) との両立性に関するもの。	WP8D/ 決議 745(W RC-07)	新規	2006.4 CACE/377
M.1748	1390-1392MHz帯 (地球から宇宙) 及び1430-1432MHz帯 (宇宙から地球) の移動衛星業務フィーダリンクの不要発射からの1400-1432MHz 帯の電波天文業務の保護	[勧告内容] 1390-1392MHz 帯 (地球から宇宙) 及び1430-1432MHz 帯 (宇宙から地球) の移動衛星業務フィーダリンクの不要発射と1400-1432MHz 帯の電波天文業務との両立性に関するもの。	WP8D/ 決議 745(W RC-07)	新規	2006.4 CACE/377
M.1457-5	IMT-2000無線インタフェースの詳細仕様	[勧告内容] 陸上系及び衛星系の IMT-2000 の各無線インタフェースについて詳細な仕様を記載したもの。 改訂により、CDMA-DS、CDMA-TDD、CDMA-MC、TDMA-FDMA、TDMA-SC の各方式での新しい通信サービスに関する仕様等を盛り込んだ。	WP8F	改訂	2006.4 CACE/381
M.1767	VHF 帯及び UHF 帯における一次業務として割当て	[勧告内容] VHF(174-230MHz) 帯 及 び	WP8A/ Q1-3	新規	2006.6 CACE/392

	られたデジタル放送からの陸上移動システムの保護	UHF(470-862MHz)帯における、陸上移動システム(LMS)とデジタル放送(DVB/DAB)との共用に必要なLMSの基地局受信電力及びDVB/DABの許容電界強度などの算出式及び手法等の保護基準に関するもの。			
M.1391-1	IMT-2000のための衛星システムの所要周波数帯域幅の計算手法	[勧告内容] IMT-2000のための衛星システムの周波数必要量の計算手法に関する勧告であり、今回の改訂は、より適切な値の算出できるよう、マルチメディアと非マルチメディアの2つのカテゴリに分けて通信量の計算手法を記載するもの。	WP8D	改訂	2006.6 CACE/392
M.1768	IMT-2000及びその後継システムの所要周波数帯域幅算出法	[勧告内容] IMT-2000及びその後継システムの2010年以降の所要周波数帯域幅の算出法に関する勧告。	WP8F	新規	2006.6 CACE/392
M.1457-6	IMT-2000無線インタフェースの詳細仕様	[勧告内容] 陸上系及び衛星系のIMT-2000の各無線インタフェースについて詳細な仕様を記載したもの。 改訂により、IMT-2000の技術仕様を更新、IMT-2000の地上系コンポーネントのための高性能無線インタフェースの追加、衛星コンポーネントのための衛星無線インタフェースの更新、及び新しい衛星無線インタフェースの追加による該当部分のテキストの修正を行ったもの。	WP8F	改訂	2006.12 CACE/403
M.1797	陸上移動業務に関する用語	[勧告内容] 陸上移動業務に関する用語の定義に関する勧告で、他の無線通信業務にも適用する可能性がある旨が明記されている。	WP8A	新規	2007.5 CACE/421
M.585-4	海上移動業務識別の割当て及び使用	[勧告内容] 海上移動業務識別(MMSI)の割当てと使用に関するもの。	WP8B/ 決議 353(W RC-03)	改訂	2007.5 CACE/421
M.1798	海上移動業務におけるデジタルデータ及び電子メール交換のためのHF無線設備の特性	[勧告内容] 海上移動業務で使用するデジタルデータ及び電子メール交換のためのHF無線設備の特性に関するもの。	WP8B/ 決議 351(W RC-03)	新規	2007.5 CACE/421
M.1799	1668.4-1675MHzにおける移動業務と移動衛星業務間の共用	1668.4-1675MHzで運用される移動業務と移動衛星業務間の周波数共用に関するもの。	WP8D/ 決議 744(W RC-03)	新規	2007.5 CACE/421
M.1800	1390-1392MHz(地球から宇宙)及び1430-1432MHz(宇宙から地球)帯域で運用するMSSフィーダリンクからの固定、移動、無線標定業務の保護	[勧告内容] 1390-1392MHz(地球から宇宙)及び1430-1432MHz(宇宙から地球)帯域で運用するMSSフィーダリンクと固定業務、移動業務及び無線標定業務との周波数共用に関するもの。	WP8D/ 決議 745(W RC-03)	新規	2007.5 CACE/421
M.1801	6GHz以下で運用される移動業務における移動及びノマディックを含む広帯域	[勧告内容] 移動及びノマディックを含む広帯域ワイヤレスアクセス(BWA)システ	WP8A/ Q212-2 , 238	新規	2007.5 CACE/421

	域無線アクセスシステムの無線インタフェース標準	ムの無線インタフェースに関するもの。			
M.1463-1	1215-1400MHz帯における無線測位業務で運用するレーダーの特性と保護基準	[勧告内容] 1215-1400MHz帯で運用される無線測位のレーダーの技術特性等に関するもの。	WP8B/Q226	改訂	2007.5 CACE/421
M.1465-1	3100-3700MHz帯における無線測位業務で運用するレーダーの特性と保護基準	[勧告内容] 3100-3700MHz帯で運用される無線測位のレーダーの技術特性等に関するもの。	WP8B/Q216-2, 226	改訂	2007.5 CACE/421
M.824-3	レーダービーコン(RACONS)の技術的パラメーター	[勧告内容] レーダービーコン(RACONS)の技術特性に関するもの。	WP8B	改訂	2007.5 CACE/421
M.1802	30-300MHz帯における無線標定業務で運用するレーダーの特性と保護基準	[勧告内容] 30-300MHz帯のレーダーの技術特性等に関するもの。	WP8B/Q237	新規	2007.5 CACE/421
M.1042-3	アマチュア及びアマチュア衛星業務における災害時通信	[勧告内容] アマチュアとアマチュア衛星業務の災害時における通信に関する勧告。ITU-D 勧告の改訂に伴うアップデート並びに Considering f)の追加及び recommends 4 の削除を行っている。	WP8A/Q48-5	改訂	2007.5 CACE/423
M.1795	MF/HF陸上移動システムの技術的・運用的特性	[勧告内容] 共用検討に使用する短波及び中波の陸上移動業務の特性に関する勧告。	WP8A/Q1-3, 7-5	新規	2007.5 CACE/423
M.1796	8500-10500MHz帯の無線標定業務で運用する地上レーダーの特性及び保護基準	[勧告内容] 8500-10500MHz帯の無線標定業務で運用する地上レーダーの特性及び保護基準に関するものであり、勧告ITU-R M.1461に関連する共用検討の助けとするための分析手順。	WP8B/Q226	新規	2007.5 CACE/423
M.493-12	海上移動業務で使用するデジタル選択呼出システム	[勧告内容] デジタル選択呼出システムに関する勧告であり、IMOからの連絡文書に応え、船舶無線装置のユーザーインターフェースの一般化を Annex3に、自動化の手順を Annex4に追加している。	WP8B/Q9	改訂	2007.5 CACE/423
M.1371-3	VHF海上移動帯域におけるTDMAを使用したユニバーサルAISの技術特性	[勧告内容] 船舶用 AIS の技術特性に関する勧告。 主な改定内容は、以下のとおり。 ・ 12.5kHz チャンネルでの運用要件の削除 ・ DSC ポーリング応答要件の削除 ・ 低減送信電力を 1W に変更 ・ Annex 2 に SOTDMA 技術のみを記述 ・ Annex 7 に CSTDMA 技術を記述 ・ Annex 8 に全てのメッセージを集約 ・ Annex 9 に略語を集約、等	WP8B/Q232	改訂	2007.7 CACE/428
M.1808	共用検討のための	[勧告内容]	WP8A/Q1-3,	新規	2007.7 CACE/428

	869MHz以下の自営・公共通信システム及び基幹通信システムの技術及び運用特性	他システムとの共用検討を行う際に用いる 869MHz 以下の周波数帯の自営・公共通信システム及び基幹通信システムの技術特性及び運用特性についてまとめたもの。	7-5		
M.[LMS .CHAR. CELL]	共用検討に用いるデジタル移動通信システムの技術及び運用特性	[勧告内容] 共用検討に用いるデジタル移動通信システムの技術特性、運用特性を記載した新勧告。第2世代携帯電話、第3世代携帯電話等の諸元を含むもの。	WP8A/ Q1-3, 7-5	新規	PSAA 手続 中(CA246)
M.1450 -3	無線LANの特性	[勧告内容] 無線 LAN のインターフェースに関する特性をまとめたもの。 改訂により無線インターフェース技術 (IEEE802.11g, IEEE802.11j) の具体的な技術パラメータ及び各国の割当て周波数の範囲及び最大空中線電力等の規制値が追記したもの。	WP8A/ Q212-2 , 236	改訂	郵便投票手 続中 (LCCE156)
M.[EN G]	共用検討に用いるための移動業務における TVOB, ENG, EFP の特性	[勧告内容] 共用検討に用いるための移動業務の ENG 等の放送事業用システムのシステム特性を記載した新勧告	WP8A/ Q1-3, 7-5	新規	PSAA 手続 中(CA246)
M.[MET H.SHA R.LMS]	陸上移動業務に関連する共用検討のための技術的パラメータ及び方法	[勧告内容] 陸上移動業務に関する周波数共用の方法に関する新勧告	WP8A/ Q7-5	新規	PSAA 手続 中(CA246)
M.1653 -1	無線LANを含む無線アクセスシステムと 5470-5570MHz における地球探査衛星(能動)及び宇宙研究(能動)との共用のための運用及び要求条件	[勧告内容] 無線 LAN を含む無線アクセスシステムと 5470-5570MHz における地球探査衛星(能動)及び宇宙研究(能動)との共用のための運用及び要求条件に関する勧告における誤記の修正。	WP8A/ Q218, 212-2	改訂	決議 ITU-R 44-1
M.[LMS .PPDR. 4.9 GHz]	第2地域及び第3地域における 4940-4990MHz の広帯域公共保安・災害救助通信に関するチャンネルプラン	[勧告内容] 第2地域及び第3地域における 4940-4990MHz の広帯域公共保安・災害救助通信のチャンネルプランに関する勧告。 Annex 1 に CITELE 勧告から引用したチャンネルプラン、Annex 2 に APT 勧告から引用したチャンネルプランを記載しており、双方を考慮すべきとしている。	WP8A	新規	PSAA 手続 中(CA246)
M.[AM(R)S/AS 5 091-5 150 MHz]	5091-5150MHz 帯における空港表面に限定された AM(R)S と AS に限定した AMS の局のための技術運用要件	[勧告内容] 議題 1.6 で新規分配を検討している 5091-5150MHz の AM(R)S と AS の技術運用要件	WP8B/ 決議 414(W RC-03)	新規	PSAA 手続 中(CA246)
M.[AMT 5 030-5 250 MHz]	5GHz 帯の AMS と RNS(MLS) の必要な地理的分離の定義方法	[勧告内容] 議題 1.5 で提案されている 5GHz 帯の AMS と RNS(MLS) の必要な地理的分離の定義方法	WP8B/ 決議 230(W RC-03)	新規	PSAA 手続 中(CA246)
M.[VHF DATA]	AP18 のチャンネルによる海上移動業務のための VHF 帯データ及び E-メー	[勧告内容] AP18 のチャンネルによる VHF データ通信にシステムの特性	WP8B/ 決議 342(W RC-200)	新規	郵便投票手 続中 (LCCE156)

	ル通信システムの特徴	Narrow band(25kHz)を使用したVHF データ通信に関するシステム提案	0))
M.[ARNS700]	645-862MHz帯における航空無線航行業務のシステムの技術特性と保護基準	[勧告内容] 645-862MHz帯のAMSの特性と保護基準についての新勧告案	WP8B	新規	PSAA 手続中(CA246)
M.[AMS-LMS]	ARSにおけるMLS局とAMSテレメトリーの送信機との間の、5Ghz帯における必要な地理上の距離的分離の定義法	[勧告内容] 議題1.5で提案されているAMSテレメトリーの追加分配に必要なとされるARSとAMSテレメトリーの共用条件についての新勧告案	WP8B/ 決議 230(W RC-03)	新規	PSAA 手続中(CA246)
M.1318-1	1164-1215MHz,1215-1300MHz,1559-1610MHz,5010-5030MHz帯のRNSSへのRNSS以外の干渉源からの干渉評価モデル	[勧告内容] RNSS以外の干渉元からRNSSへの干渉評価モデルに関する勧告	WP8D Q.217- 1	改訂	PSAA 手続中(CA246)
M.1642-2	1164-1215Mhz帯で運用する全てのRNSSシステムからARNSの局への最大epfd総和の評価方法	[勧告内容] 1164-1215MHz帯で運用される全RNSSからARNSの無線局への最大epfd総和の評価方法に関する勧告M.1642-1の改定案	WP8D	改訂	PSAA 手続中(CA246)
M.1583-1	非静止MSS及びRNSSとRASとの共用のための干渉計算	[勧告内容] 非静止MSS及びRNSSとRASとの共用のための干渉計算に関する勧告M.1583の改定案	WP8D Q.236- 1	改訂	PSAA 手続中(CA246)
M.[RNS S_COORD_METHODOD]	RNSSシステム間干渉評価のための調整方法	[勧告内容] RNSSシステム間干渉評価のための調整方法に関する新勧告案	WP8D Q.217- 1, 239	新規	PSAA 手続中(CA246)
M.[IMT.SERV]	IMT-2000の高度化及びIMT-Advancedで提供されるサービスのフレームワーク	[勧告内容] IMT-2000の高度化及びIMT-Advancedで提供されるサービスのフレームワークが規定された新勧告。提供可能なサービスの具体例及びサービスの要求条件に関して記述されている。	WP8F	新規	PSAA 手続中 (CAR246)

第8章 RAへの対処（SG9関連）

1 研究対象

SG9は、「固定業務」を研究対象としている。

また、SG4との合同会合であるJoint SGs 4/9は、固定業務と固定衛星業務間の周波数共用問題を研究対象としている。我が国からは、SG9副議長、WP9B議長として、橋本明氏（NTTドコモ）を選出している。

2 RA-07に提出される勧告案

RA-07に提出されるSG9の勧告案（SG4との共同提案）及びその評価を表8-1に示す。

RA-07に提出される勧告案については、支持する。

3 課題の見直し

SG9における次会期の研究課題及びその評価一覧を表8-2に示す。今会期当初に計43件の研究課題があったが、会期中に新規研究課題の追加6件、既存研究課題の削除8件が郵便投票により承認されている。RA-07に提出される新規研究課題はないが、2007年5月のSG9会合、並びに2006年9月のJoint SGs 4/9会合の結果を反映して、14件の研究課題の削除（SG4との合同研究課題4件を含む。）が提案される予定である。RAに提出される次会期の課題27件については、我が国として、その重要性を認識し、支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

（1）研究課題 113/9

固定業務システムと地球探査衛星業務及び宇宙研究業務システムとの間の周波数共用及び両立性

【概要】同じ帯域または別の帯域で運用している地球探査衛星業務および宇宙研究業務からの干渉レベルがどの程度であれば固定業務は許容できるかを検討する。

（2）研究課題 212/9

HAPSを利用した固定業務システムのシステム特性及び周波数帯域

【概要】HAPSを利用した固定業務システムのシステム特性、周波数帯域および干渉の受けやすさ、固定業務の他システムへ干渉を生ずる可能性について検討する。

（3）研究課題 234/9

57GHz以上の固定業務に割り当てられている帯域で運用する固定無線システムの技術及び運用の特性

【概要】57GHz以上の周波数を使用する固定無線システム及びネットワークに最適な技術及び運用の特性、望ましい変調方式、伝搬特性上の有利・不利な点等について研究する。

4 参考事項

SG9は、2004年9月～10月、2005年12月、2006年9月、2007年5月に開催され、13件の新規勧告案、24件の改訂勧告案及び2件の勧告削除案が郵便投票に付され、承認されている（さらに3件の新規勧告案、13件の改訂勧告案及び21件の勧告削除案については郵便投票中である。）。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表8-3に示す。

また、Joint SGs 4/9は、2004年10月、2006年9月に開催され、2件の新規勧告案及び3件の改訂勧告案が郵便投票に付され、承認されている。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表8-4に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 固定業務広帯域無線アクセス方式（BWA）並びにその応用

伝送速度 1.5Mbit/s 以上のブロードバンド信号による情報通信サービスを利用者宅に提供する BWA 方式の技術標準について、民間標準化機関の仕様に基づく無線インターフェースを規定した新勧告 F.1763 が採択・承認された。また、多地点間（Multipoint-to-multipoint）をメッシュ的に接続する MP-MP 方式のコンセプトが、日本から提案され、ルートダイバーシティによる降雨の影響軽減効果などを規定した新勧告 F.1704 が採択・承認された。

(2) 災害対策用固定無線方式

2004 年のインド洋津波災害を契機として、ITU でも無線機器・方式の災害時利用に関する研究が促進された。このため固定業務関連では、日本提案に基づき勧告 F.1105 を改訂し新たに同報通信機能等を有する災害救済用固定無線方式の基本特性（ARIB STD T-86）が追加された。

(3) 高高度無線プラットフォーム（HAPS）

WRC 決議 145（WRC-03）に基づき、Ka バンド（27.5-28.35 GHz 及び 31.0-31.3GHz）における HAPS の導入・適用条件拡大を目指して、他方式（HAPS 以外の固定業務方式、固定衛星業務方式）との干渉量評価に関する研究が推進され、勧告 F.1607、勧告 SF.1601 に、各々日本提案に基づく簡易な干渉推定手法に関する記述が追加された。

表 8-1 RA-07に提出される勧告案の評価

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP/ 課題番号	新規 改訂 削除	対応	備考
SF.[4-9S/ HAPS-PLI MIT]	47.2-47.5GHz 及び 47.9-48.2GHz 帯にお いて宇宙局受信機との 周波数共用を促進する ための HAPS 利用者端 末の電力決定手法	47.2-47.5GHz 及び 47.9-48.2GHz 帯におい て固定衛星宇宙局との共 用を促進するための HAPS 利用者端末の送信 電力制限決定手法につい て記述している	WP4-9S/ 251/4 218/9	新規	支持	

表 8-2 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	対応	備考
102-3/9	無線中継方式の稼働率	[概要] ITU-T が作成している新勧告に準拠し、デジタル無線中継方式の稼働率に影響を与える装置信頼度・伝搬の影響等を議論し、ISDN 接続用国際回線及び国内回線の場合の稼働率値について検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S1
107-2/9	約 17GHz 帯より上の周波数帯で運用している固定無線システムの特性	[概要]17GHz 帯より上の帯域で運用する固定無線システムの最適な装置や伝搬の影響を測るのに適したメソッドについて検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
108-2/9	約 17GHz 帯より上の周波数帯で運用している固定無線システムのチャンネル配置	[概要]17GHz 帯より上の帯域で運用する固定無線システムの好ましい周波数チャンネルの間隔やシステムのどんな特徴がチャンネル間隔に影響を与えるか等について検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
110-1/9	共用研究に用いられる無線中継局のアンテナ放射ダイアグラム	[概要] 種々のタイプの固定業務で用いられるアンテナに対し共用検討用参照放射パターンを検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
111-3/9	放送衛星業務(音声、映像)と固定業務との間の共用基準	[概要]両業務間の共用を容易にするのに必要でありかつ許容できる制約について検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
113-2/9	固定業務のシステムと地球探査衛星業務及び宇宙研究業務のシステムとの間の周波数共用及び両立性	[概要]同じ帯域または別の帯域で運用している地球探査衛星業務および宇宙研究業務からの干渉レベルがどの程度であれば固定業務は許容できるかを検討する。	継続	支持	S2

		[評価]研究課題として適当。			
118-4/9	移動衛星業務と固定業務との間の共用基準	[概要]移動衛星業務と固定業務の保護及び共用の技術的基準について検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	C1
122-3/9	固定業務のシステムにおける設計及び運用の際の伝搬の影響	[概要]降雨減衰の影響やマルチパスフェージングによる品質劣化を最小限にする経路計画やシステム仕様を検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S2
125-7/9	アクセスまたはエントランスに使用されるP-MP(Point-to-Multipoint)固定無線システム	[概要]ポイント-マルチポイント無線方式に適した変調方式、アクセス法、チャンネル配置、等について検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
127-4/9	様々な干渉源による固定無線システムの品質及び稼働率劣化の限界	[概要] 他の無線方式や二次業務の無線サービスなど種々の無線方式からの干渉に対しての最大許容品質劣化及び稼働率劣化について検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S2
133-1/9	約 0.5GHz 以上の周波数帯における固定と陸上移動業務との間の共用基準	[概要]固定業務と陸上移動業務とが周波数共用する場合の共用基準、調整方法について検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
136-2/9	約 17GHz より下の周波数帯におけるデジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	[概要]17GHz 以下の固定無線方式の無線周波数配置、チャンネル間隔や交差偏波を使用するかどうかについて検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
145-2/9	HF 帯無線回線上での高速データ伝送のために求められる特性	[概要]HF データ伝送に要求される特性、所要誤り率に対する可能な最大伝送速度、所要誤り率を得るための誤り訂正符号・インターリーブ・帯域内周波数ダイバーシティ等の適用、等について検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2 会期中に改訂
147-2/9	HF 帯固定業務における自動制御無線システム及びネットワーク	[概要]HF 自動制御無線システムにおける特性、周波数管理システムの特性、リンク管理システムの特性、回線網管理システムの特性、自動システムの特性、自動システムと他の回線網間のインタフェースに最適なITU-T 勧告について検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S2
158-1/9	約 30MHz より下の周波数におけるシステムに対するパケット・データ伝送プロトコル	[概要]HF システムに適するパケットプロトコルのタイプ、誤り検出と訂正の方法とパケットサイズ、等について検討する。 [評価] 特に問題なし。	継続	支持	S2
161-3/9	デジタル・ネットワーク無線中継方式の業務開始及び保守における品質限界	[概要] デジタル・ネットワーク無線中継方式のサービス開始及び保守のための限界品質や配分を、G.826の結果を参考に検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S2
202-1/9	共用研究のための P-MP 方式に対するオムニ・ディレクショナル及びセクトラル・アンテナの標準輻射パターン	[概要] P-MP 無線方式用オムニ・ディレクショナル及びセクトラルタイプのアンテナに対し共用検討用にどの参照パターンを定義していくのかを検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
205-1/9	周波数適応性のある HF シ	[概要] 本ブロック配置がサービス品	削除	支持	C1

	ステムの使用	質・周波数使用効率・干渉の軽減・周波数アクセス等に与える影響、本ブロック配置への移行上の問題について検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。			
206-2/9	10-30GHz 帯における多くの非静止衛星を擁する固定衛星業務システムと固定業務システムとの間の共用基準	[概要] 固定衛星ネットワークシステムの衛星からの干渉に対する共用基準と干渉計算方法等について検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S1
209-1/9	固定業務と固定業務に影響を与える長楕円軌道を用いている固定衛星業務との間の技術基準及び周波数共用	[概要] 固定衛星業務と周波数を共用する固定業務の観点から長楕円軌道を用いる固定衛星業務との共用基準について検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C1
210-1/9	デジタル・ハイアラキーでの一次群レートで、もしくは一次群レート以上で運用されるデジタル無線伝送部分に対する品質劣化に対する目標	[概要] ITU-T 勧告 G826 対応(マルチメディア伝送)のデジタル無線中継方式の品質劣化目標とその国際・国内配分値について検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S1
212-2/9	HAPS を利用した固定業務システムのためのシステム特性及び周波数帯域	[概要] HAPS を利用した固定業務システムのシステム特性、周波数帯域の検討および干渉の受けやすさ、固定業務のうちの他システムへ干渉を引き起こす可能性について検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C1
213-1/9	HF 帯での電離層通過伝送シミュレーション	[概要] HF 伝送シミュレーションに用いるフェージングの特性、電離層チャンネルモデル、人工雑音パターンなどについて検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S1
216/9	1GHz 以下の周波数帯における固定業務のシステム特性及び共用基準	[概要] 1GHz 以下の周波数帯域における固定業務の特性と共用基準。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S2
217-1/9	30-52GHz 帯において同じ周波数で運用される固定衛星業務と固定業務の共用可能性	[概要] 30-52GHz の周波数帯域における固定業務の特性、伝搬の影響を考慮した固定衛星業務と共用基準、干渉計算法などについて検討。 [評価] 研究完了により削除が適当。	削除	支持	S1
218-1/9	HAPS 局を利用する固定業務システムと固定衛星業務システムの間での周波数共用基準	[概要] 成層圏の固定中継局を用いる方式について、固定衛星業務との共用条件等を検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	C1
219/9	固定衛星業務で非静止衛星軌道に対して運用されている地球局のための固定業務に関する調整地域の決定	[概要] MSS フィーダーリンクに用いられる非静止軌道用固定衛星業務地球局と固定業務の調整領域決定の手法について検討する。 [評価] 研究完了により削除が適当。	削除	支持	S1
225/9	勧告 ITU-R F.758 に対する改訂	[概要] 勧告の目的を明確にし、内容の圧縮を図ることを通じて、ITU-R 勧告 F.758 の見直し及び再構築のための好ましい方法論を検討する。また、ITU-R 勧告 F.758 に追加する諸元の統一様式についても検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1
226-1/9	5925-6425MHz 及び 6GHz、14GHz 帯での他のアップリンクの周波数帯における船舶に搭載され	[概要] 6GHz 帯、14GHz での 5925-6425MHz 以外の共用に適した帯域や適した調整方法を検討する。 [評価] 研究課題として適当。	継続	支持	S1

	た固定衛星業務を行う地球局（船上地球局）と固定業務無線局の間での共用可能性				
227/9	3400-3700MHz 帯における固定衛星業務を行う VSAT システムと固定業務である FWA に利用される P-MP システムの間での共用基準	[概要] 3400-3700MHz 帯において FWA に利用される P-MP システムとの両立性を保証するための VSAT システム(固定衛星業務)に対する共用基準について検討する。 [評価] 研究完了により削除が適当。	削除	支持	S2
228/9	一部又は全てが固定無線システムにより構成されているネットワークアクセス部分に対する品質及び稼働率	[概要]2002 年までに、FWA/HAPS/ATM 用無線アクセス/IP ベース FWA に対して、品質と稼働率の目標を策定する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S2
229-1/9	固定業務システムに対する周波数ブロック単位での周波数配置	[概要]周波数ブロックを用いる配置が移動技術を用いる FWA でも使用されることを検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
232/9	FWA と無線標定システムによる 3400-3700MHz 帯の使用を容易にする共用と緩和のオプションの割り当て	[概要]固定無線アクセスシステムと無線標定業務とで両立運用を可能にする条件や干渉緩和技術等の適切な方法、基準を検討する。 [評価] 研究完了により、削除が適当。	削除	支持	S1
233/9	約 37GHz と 50GHz の間の帯域における固定業務の無線局と航空移動業務の無線局との共用基準	[概要]固定業務を移動業務の航空局からの発射から干渉を受けるのを減少させるための干渉緩和技術等を検討する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2
234/9	57GHz 以上の固定業務に割り当てられている帯域で運用する固定無線システムの技術及び運用の特性	[概要]57GHz 以上の周波数を使用する固定無線システム及びネットワークに最適な技術及び運用の特性、望ましい変調方式、伝搬効果の有利・不利な点等について研究する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	C2
236/9	広帯域無線アクセスを提供する固定無線システム	[概要]広帯域無線アクセスシステムの技術及び運用要求条件、特性について研究する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に 新規 策定
237/9	3000GHz 以上の周波数帯を用いる固定業務応用	[概要]固定業務応用に用いられる地上系自由空間光通信の技術及び運用パラメータ、特性について研究する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	C2 会期中に 新規 策定
238/9	災害救済用に用いられる MF/HF 帯で運用される固定業務のシステムの技術及び運用特性	[概要]災害救済活動支援に用いられる MF/HF 帯の固定業務システムの技術及び運用特性、当該システム用の望ましいスペクトラム配置、異なる機関間で当該システムを運用する際の相互互換性支援のための技術及び運用特性について研究する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に 新規 策定
239/9	固定業務における災害救済無線通信システムの技術及び運用特性	[概要]災害救済・軽減活動に用いられる固定無線システムの望ましい技術及び運用特性について研究する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S1 会期中に 新規 策定
240/9	デジタル HF 固定システムのためのエラー品質及び稼働率目標	[概要]適応型及び非適応型 HF 固定システム並びに HF-e メール、HF-インターネット等の応用のためのエ	継続	支持	S2 会期中に

		ラー品質及び稼働率のパラメータ及び目標について研究する。 [評価]研究課題として適当。			新規策定
241/9	適応型HFシステムのための技術特性及びチャネル要求	[概要]スペクトラムの効率的利用及び干渉の最小化を考慮した適応型HFシステム導入のための適切な技術特性及びチャネル要求について研究する。 [評価]研究課題として適当。	継続	支持	S2会期中に新規策定

表 8-3 今会期中に承認された勧告（Fシリーズ）

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP／課題番号	新規改訂削除	備考
F. 240-7	30MHz 以下での固定業務における各種伝送方式の混信保護比	30MHz 以下での混信保護比に関する勧告。勧告の改訂によりデジタル変調方式が追加された。	WP9C/ 143/9	改訂	
F. 283-5	2GHz 帯で運用する低・中容量アナログまたはデジタル固定無線システムの無線周波数チャネル配置	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント：日本からの提案に基づき削除。	WP9B/ 136/9	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 339-7	HF 固定業務での信号対雑音比、Fading 許容値	信号帯雑音比（S/N 比）、フェージング許容値に関する勧告。勧告の改訂によりデジタル変調方式が追加された。	WP9C N/A	改訂	
F. 342-2	無線回線を通して伝送される電信信号の自動誤り訂正方式	2004年3月会合以来内容の古い勧告の削除について検討を行い、その結果本勧告は削除が承認された。 コメント：日本からの提案に基づき削除。	WP9C N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 345	電信信号の歪	2004年3月会合以来内容の古い勧告の削除について検討を行い、その結果本	WP9C N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)

		勧告は削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。			
F. 347	30MHz 以下の帯域で運用する長距離用マルチチャンネル無線電信方式の分類と呼称	2004 年 3 月会合以来内容の古い勧告の削除について検討を行い、その結果本勧告は削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9C N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 382-8	2-4 GHz 帯固定無線方式の無線周波数配置	2-4GHz 帯固定無線方式の無線周波数配置に関する勧告。既存 Note2 にある「3700-4200MHz 帯を 28MHz 間隔で使用する周波数配置」を独立した Annex とし、アナログ方式に関する古い記述を削除した。	WP9B/ 136/9	改訂	
F. 383-7	低域 6GHz 帯の大容量固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	低域 6GHz 帯の大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置に関する勧告について 5, 10, 20, 40 MHz チャンネル間隔配置等を新たに追加した。	WP9B/ 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 384-9	高域 6GHz 帯の中・大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	高域 6GHz 帯の中・大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置に関する勧告。新たに 6340-7110MHz 帯を 10MHz 間隔で使用する周波数配置を追加した。	WP9B/ 136/9	改訂	
F. 384-9	6GHz 帯の中・大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	高域 6GHz 帯の中・大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置に関する勧告について隣接 2 チャンネルを統合使用する可能性等を追加した。	WP9B/ 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 385-8	7 GHz 帯で運用される固定無線システムの無線	7GHz 帯で運用される固定無線システムの無線周	WP9B/ 136/9	改訂	

	線周波数チャンネル配置	波数配置を規定した勧告。 7250-7550MHz 帯において、新たに 28,14,7MHz 間隔の配置が追加された。			
F. 385-8	7 GHz 帯で運用される固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	7GHz 帯で運用される固定無線システムの無線周波数配置を規定した勧告について隣接 2 チャンネルを統合使用する可能性等を追加した。	WP9B/ 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 386-7	8GHz 帯の固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	8GHz 帯の周波数を利用する固定無線システムの周波数チャンネル配置について、勧告に新たに付録 5 及び 7 を追加するなどの更新を行った。	WP9B/ 136/9	改訂	
P. 386-7	8GHz 帯の固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	8GHz 帯の周波数を利用する固定無線システムの周波数チャンネル配置について、隣接 2 チャンネルを統合使用する可能性を追加するなどの更新を行った。	WP9B/ 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 387-10	11GHz 帯の固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	11GHz 帯の固定無線システムの無線周波数チャンネル配置に関する勧告。 40MHz 間隔に基づく配置を勧告主文に取りまとめ、旧 Annex1,2 を削除した。 また、20MHz シフトした配置にはジーマンス提案を採り入れ、Annex3 も現提案元のフランスにより削除された。	WP9B/ 136/9	改訂	
F. 390-4	無線中継システムの標準擬似回線及び標準擬似デジタル通信路に関する用語と参照の定義	前回会合において、1997 年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007 年 5 月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。	WP9A/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)

		コメント:日本からの提案に基づき削除。			
F. 392	60 電話回線以上の容量の周波数分割多重を用いる電話通信用無線中継システムの標準擬似回線	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9A/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 393-4	周波数分割多重を用いる電話通信用無線中継システムの標準擬似回線の許容雑音電力	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9A/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 497-6	13GHz 帯の固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	13GHz 帯の周波数を利用する固定無線システムの周波数チャンネル配置について、隣接2チャンネルを統合使用する可能性を追加するなどの更新を行った。	WP9B/ 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F.518-1	単一チャンネル単信 ARQ 電信方式	2004年3月会合以来内容の古い勧告の削除について検討を行い、その結果本勧告は削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9C N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F.519	単一チャンネル複信 ARQ 電信方式	2004年3月会合以来内容の古い勧告の削除について検討を行い、その結果本勧告は削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9C N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 555-1	TV 用無線中継システム	前回会合において、1997	WP9A/	削除	郵便投票中

	の標準擬似回線の許容雑音	年以降改訂されておらず 内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	N/A		(PSAA)
F. 592-3	固定業務用語の語彙	固定業務の用語に関する勧告に新たに最近重要度を増した用語・略語を追加した。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	WP9A/ N/A	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 595-9	18GHz 帯の固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	18GHz 帯の固定無線システムの周波数チャンネル配置に関する勧告。 Recommends10 の17.7-19.7GHz 帯の RF チャンネル配置における、北米の RF チャンネル配置を更新した。	WP9B/ 108/9	改訂	
F. 596-1	デジタル無線中継システムの相互接続	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9B/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 699-7	共用検討に用いる P-P システムのアンテナ基準放射パターン	共用検討に用いる P-P システムのアンテナ基準放射パターンに関する勧告。 交差偏波計算式の修正及び Annex への計算例の追記を行った。	WP9D/ 110/9	改訂	
F. 700-2	システムビットエラーレートインターフェー	前回会合において、1997年以降改訂されておらず	WP9B/ 139/9	削除	郵便投票中 (PSAA)

	スにおける無線中継接続のエラー性能及び稼働率測定アルゴリズム	内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。			
F. 745-1	削除されたものを含む一連のアナログ無線中継システムの ITU-R 勧告	本勧告と同主旨の情報を別途「テキストの現状」として発行することとなったため、2007年5月会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9A/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 746-7	固定業務システムの無線周波数チャネル配置	固定業務システムの無線周波数チャネル配置に関する勧告。Annex3にあるイタリアの配置例について、対象帯域の変更(10.0-10.68GHz とする)とチャネル間隔の追加・更新を行い、Annex6についても同様に 14GHz 帯でのチャネル間隔を更新した。	WP9B/ 108/9 136/9	改訂	
F. 746-8	固定業務システムの無線周波数チャネル配置	固定業務の無線周波数配置に関する勧告について、高域 4GHz 帯方式の配置例に関する Annex 2 を勧告 F.1099 に移行した。	WP9B/ 108/9 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 752-2	固定無線システムにおけるダイバーシティ技術	固定無線システムにおけるダイバーシティ技術に関する勧告。タイトルに point-to-point を追加して、「point-to-point 固定無線システムにおけるダイバーシティ技術」に変更し、recommends の handbook の参照を note に移行した。	WP9B N/A	改訂	

F. 753	デジタル無線中継システムの監視及び保護のために望ましい手法及び特性	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9B/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 754	ルーラル地域において3GHz以下の帯域で運用される電話中継回線接続のための無線中継システムの基本的な要求条件と技術	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認され、勧告 F. 1103 へ統合された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9B/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 756	無線コンセントレータとして用いられる TDMA P-MP システム	前回会合において、1997年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認され、勧告 F. 1103 へ統合された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9B/ N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 758-4	固定業務と他業務間の共用基準の作成に関する考察	固定無線方式の周波数共用基準と方式パラメータに関する勧告。勧告 F.758 に関して、情報の現行化及びアナログシステムの削除といった考えに基づき修正案が策定された。	WP9D/ 127/9 225/9	改訂	
F.762-2	短波送信・受信局における遠隔監視・制御方式の	2004年3月会合以来内容の古い勧告の削除につい	WP9C N/A	削除	郵便投票中 (PSAA)

	主要特性	て検討を行い、その結果本勧告は削除が承認された。 コメント：日本からの提案に基づき削除。			
F. 763-5	PSK、QAM変調を用いたHF回線におけるデータ伝送	QPSK,8-PSK及び16QAM等のデータ伝送の変調方式に関する勧告。伝送速度3.2kbps～12.8kbpsの方式を追加。	WP9C/ 145/9	改訂	
F. 1093-2	見通し伝搬を用いたデジタル無線システム的设计・運用に対するマルチパス伝搬の影響	見通し伝搬を用いたデジタル無線システム的设计・運用に対するマルチパス伝搬の影響に関する勧告。 本勧告は、ITU-R Pシリーズ勧告の内容を引用している。	WP9A/ 122-4/9	改訂	
F. 1094-1	他の干渉源からの放射及び輻射により起こるデジタル固定無線システムの最大許容エラー品質及び稼働率劣化	固定業務の干渉基準のベースを与える勧告、用語の見直し、将来課題を整理する改訂を行なった。	WP9A/ 127/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 1099-3	高域 4GHz 周波数帯の中・大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置	高域 4GHz 帯の無線周波数配置に関する勧告に既存勧告 F.746 から別の配置例を移行した。	WP9B/ 136/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 1102-2	17 GHz 以上の周波数帯で運用される固定無線システムの特性	17GHz 以上の周波数帯で運用される固定システムの応用例とシステム設計に役立つ情報(ホップ長の設計、デジタル無線応用等)を記載した勧告。表8-1にシステム(VCWL)に関する記述が追加された。	WP9B/ 107/9	改訂	
F. 1103	ルーラル地域において3GHz以下の帯域で運用されるFWAシステムの基本的な要求条件と技術	勧告 F.754 からルーラル地域導入条件、勧告 F.756 から TDMA 技術に関する情報を移行し、全体の構成を見直す改訂を行なった。 コメント：日本からの寄与	WP9B/ 105/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)

		文書を反映。			
F. 1104	アクセス部分の ISDN 接続における P-MP 無線システムの要求条件	前回会合において、1997 年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007 年 5 月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認され、勧告 F. 1490 へ統合された。 コメント：日本からの提案に基づき削除。	WP9B/ 125/9	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 1105-2	災害救済用固定無線方式	災害救済・軽減用固定無線方式に関する勧告。日本より提案した同報通信機能等を有する新タイプ (ARIB STD T-86) の災害救済用固定無線方式の基本特性が追加された。	WP9B/ 239/9	改訂	
F. 1108-4	共用周波数帯の非静止衛星軌道衛星からの放射に対する固定業務の保護基準の判定	1.4GHz 帯における固定業務と移動衛星業務の共用に関する勧告。HEO 衛星システムに対する分析方法を追加。	WP9D/ 113/9 118/9	改訂	
F. 1241	27500km 標準擬似パスの国際部分を形成し一次レート以上で運用されるデジタル無線中継システムに対する同一周波数帯を一次業務として共用する他の業務からの干渉による品質劣化	勧告 F.1565 に内容が継承されたため、2007 年 5 月会合において削除が承認された。 コメント：日本からの提案に基づき削除。	WP9A/ 127/9	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 1330-2	デジタル固定無線システムを用いた国際 PDH および SDH 区間の BIS 品質限界	デジタル固定無線システムを用いた国際 PDH 及び SDH 区間の BIS 品質限界に関する勧告。参照している ITU-T 勧告のアップデート、計算方法の高精度化等の修正を行った。	WP9A/ 161/9	改訂	
F. 1331	TV 用アナログ無線中継	前回会合において、1997	WP9A/	削除	郵便投票中

	システムに対する同一周波数帯を一次業務として共用する他の業務からの干渉による品質劣化	年以降改訂されておらず内容が旧くなっている勧告について、2007年5月会合において取り扱いを決定することとされ、同会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	127/9		(PSAA)
F. 1336-2	共用検討に用いる1-70GHz帯 P-MP システムのオムニ、セクター等アンテナ基準放射パターン	固定無線システムと他の無線システムとの共用を検討する際に用いるセクターアンテナ輻射パターンについて、ピーク輻射パターンを置き換えると共に、新たな平均輻射パターンを追加するなどの更新を行った。	WP9D/ 202/9	改訂	
F. 1398	27500km 標準擬似パスの国内部分を形成し一次レート以上で運用されるデジタル無線中継システムに対する同一周波数帯を一次業務として共用する他の業務からの干渉による品質劣化	勧告 F.1565 に内容が継承されたため2007年5月会合において削除が承認された。 コメント:日本からの提案に基づき削除。	WP9A/ 127/9	削除	郵便投票中 (PSAA)
F. 1490	FWA システムへの要求条件	勧告 F.1104 から ISDN 接続要求条件に関する技術情報を Annex として移行した。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	WP9B/ 140/9 215/8	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 1492	一次群以上の定速度国際パスを形成する固定無線リンクの稼働率目標	2004年2月及び9月に開催された WP9A 会合において、ロシア及びカナダを中心に F.1492 と F.1493 を統合して、新勧告案 (F.1703) を策定することが審議され、2004年9月の SG において新勧告案	WP9A/ 102/9	削除	

		が採択され、後日 PSAA により F.1492 と F.1493 の削除が承認された。			
F. 1493	一次群以上の定速度国内パスを形成する固定無線リンクの稼働率目標	2004 年 2 月及び 9 月に開催された WP9A 会合において、ロシア及びカナダを中心に F.1492 と F.1493 を統合して、新勧告案 (F.1703) を策定することが審議され、2004 年 9 月の SG において新勧告案が採択され、後日 PSAA により F.1492 と F.1493 の削除が承認された。	WP9A/ 102/9	削除	
F. 1495	17.7-19.3GHz 帯を共用する他の無線通信業務からの時間変動する総合干渉から固定業務を保護する干渉基準	長時間干渉＋短時間干渉による合計品質・稼働率劣化が 10%を超えない、との新基準、並びに ATPC に関する考察を追加。	WP9A/ 127/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 1566-1	デジタル固定無線システムを用いた国際 PDH および SDH 区間の保守品質限界	固定無線システムのメンテナンスのための品質目標について、計算方法をより正確なものに置き換えるなどの更新を行った。	WP9A/ 161/9	改訂	
F. 1568-1	10.15-10.3/10.5-10.65 GHz 帯の FWA システムの無線周波数ブロック配置	10.15-10.3/10.5-10.65GHz における固定無線システムのブロック配置を規定した勧告。既に 28MHz のブロック配置が規定されている Annex1 に、7MHz のブロック配置の仕様について追加。	WP9B/ 229/9 136/9	改訂	
F. 1609-1	27.5-28.35 GHz 及び 31-31.3GHz 帯の HAPS 固定業務システムから従来の固定業務への干渉評価	27.5-28.35GHz 及び 31-31.3GHz 帯の HAPS 固定業務システムから従来の固定業務への干渉評価に関する勧告。	WP9B/ 212/9	改訂	
F. 1668-1	27500km HRP 接続における固定無線システム実リンクのエラー品質目標	固定無線通信のエラー値の目標について、目標値の計算方法の例示を追加した。	WP9A/ 210/9	改訂	

F. 1669	静止衛星軌道に対する 37-40GHz 及び 40.5-42.5GHz 帯で運用 される固定無線システ ムの干渉基準	37-42GHz 帯で運用する 静止軌道衛星からの干渉 基準を I/N 比で規定した勧 告。Annex に示した I/N 計 算プロセスの明確化を目的 とした改訂を行った。	WP9A/ 127/9	改訂	郵便投票中 (PSAA)
F. 1670-1	UHF/VHF 帯における DVB からの FS 保護	UHF/VHF 帯における DVB(Digital Video Broadcasting systems)か らの FS 保護に関する勧 告。タイトル変更等を行っ た。	WP9D/ 216/9	改訂	
F. 1703	27,500 km の擬似回線 及びその接続において 使用される実デジタル 固定無線回線の稼働 率目標	F.1492 及び F.1493 を統合 して策定された 27,500 km の擬似回線及びその接 続において使用される実 行デジタル固定無線回 線の稼働率の目標値に関 する勧告。	WP9A/ 102/9	新規	
F. 1704	約 17 GHz 以上の周波数 帯で運用するメッシュ 型ネットワークポロ ジーを有する MP-MP 固 定無線システムの特性	17 GHz 以上の周波数帯を 使用する固定無線システ ムにおける降雨減衰によ る無線リンクの品質劣化 の軽減方策等を含んだメ ッシュ型ネットワーク ポロジーを有する MP-MP 固定無線システムの特性 に関する勧告。 コメント: 日本からの寄与 文書をベースに策定され た。	WP9B/ 107/9	新規	
F. 1705	固定無線方式のサービ ス開始と保守を目的と したエラー品質分析と 最適化	固定無線方式のサービス 開始と保守を目的とした エラー品質分析と最適化 に関する勧告。 コメント: 日本と豪州の寄 与文書をベースに策定さ れた。	WP9B/ 235/9	新規	
F. 1706	4-6 GHz 帯におけるノ マディック無線アクセ ス方式と同一帯域を共	4-6 GHz における NWA(Nomadic Wireless Access)と FS の共用に関	WP9D/ 133/9	新規	

	有する Point-to-Point 固定無線方式の保護基準	する勧告。 コメント:日本の寄与文書をベースに策定された。			
F. 1760	30GHz 以上の HDFS (P-MP システム) からの総合 EIRP 決定手法	30GHz 以上の HFDS (P-MP システム) からの総合 EIRP 決定手法に関する勧告。	WP9D/ N/A	新規	
F. 1761	短波固定通信システム (適応・非適応) の特性	短波固定通信システム (適応・非適応) の特性に関する勧告。	WP9C/ 158/9	新規	
F. 1762	e-mail、インターネットアプリなどの高度なアプリを提供する短波固定通信システムの特性	e-mail、インターネットアプリなどの高度なアプリを提供する短波固定通信システムの特性に関する勧告。	WP9C/ 158/9	新規	
F. 1763	66GHz 以下で運用される固定業務用 BWA システムの無線インターフェース標準	66GHz 以下で運用される固定業務用 BWA システムの無線インターフェース標準に関する勧告。	WP9B/ 236/9	新規	
F. 1764	3GHz 以上の帯域における HAPS から地上システムへの干渉評価方法	3GHz 以上の帯域における HAPS から地上システムへの干渉評価方式に関する勧告。	WP9B/ 212-2/9	新規	
F. 1765	30GHz 以上の HDFS (P-P システム) からの総合 EIRP 決定手法	30GHz 以上の HDFS(P-P システム)からの総合 EIRP 決定手法に関する勧告。	WP9D/ N/A	新規	
F. 1766	43GHz 帯電波天文観測が P-MP HDFS から干渉を受ける確率の決定手法	43GHz 帯電波天文観測が P-MP HDFS から干渉を受ける確率の決定手法に関する勧告。	WP9D/ N/A	新規	
F. 1777	共用検討に用いる固定業務の TVOB, ENG, EFP の方式特性	放送番組作成時の中継等に用いる固定無線システムについて、他のシステムとの共用を検討する際に用いるべきシステム特性についてまとめた勧告。	WP9D/ 225/9	新規	
F. 1778	HF 適応方式におけるチャンネルアクセス要求条件	短波帯の周波数を利用する適応型 (周波数を自動的に選択する機能を持つ) 固	WP9C/ 205-1/9	新規	

		定無線システムについて、干渉を低減する方策等についてまとめた。			
F. [HAPS-BOARDER 47 GHz]	47.2-47.5 GHz 及び 47.9-48.2 GHz 帯での隣接国の固定業務を保護するための FWA サービスを提供する HAPS の国境における PFD 値	隣接国における固定業務保護のため、HAPS 送信機からの地表面電力束密度が国境外で満たすべき値を規定した新勧告。	WP9B/212/9	新規	郵便投票中 (PSAA)
F. [HF ADVANCE D SYSTEMS]	アドバンストデジタル HF 無線システムの特 性	トークンパッシング型、広帯域モデム型など高度デジタル短波無線方式の技術仕様について、他業務との共用検討を目的として規定した新勧告。	WP9C/147/9	新規	郵便投票中 (PSAA)
F. [HAPS-RAS 47 GHz]	47.2-47.5 GHz 及び 47.9-48.2 GHz 帯における HAPS からの不要発射からの 48.94-49.4 GHz 帯の電波天文業務の保護	HAPS からの不要発射から 48.94-49.4 GHz 帯の電波天文業務を保護するため、HAPS 地表面点 (Nadir) と電波天文観測局との離隔を 50km 以上と規定した新勧告。	WP9D/ N/A	新規	郵便投票中 (PSAA)

表 8-4 今会期中に承認された勧告 (SF シリーズ)

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP / 課題番号	新規改訂削除	備考
SF. 1601-2	27.5-28.35GHz 帯における HAPS 固定業務のダウンリンクから静止衛星固定衛星業務のアップリンクへの干渉評価法	HAPS から静止衛星への新たな干渉評価方法を ANNEX-3 として追加するもの。	WP4-9S/218/9 251/4	改訂	
SF. 1601-1	27.5-28.35GHz 帯における HAPS 固定業務のダウンリンクから静止衛星固定衛星業務のアップリンクへの干渉評価法	HAPS を用いる FS のダウンリンクから、GSO 衛星を用いる FSS のアップリンクへの干渉を見積もるために C/I 評価に基づいた方法を提案するもの。	WP4-9S/218/9 251/4	改訂	

SF. 1650-1	ESV が地上システムに有害な干渉を与えないで運用できる最小距離	ESV が地上システムに有害な干渉を与えないで運用できる最小距離の勧告に対する修正。	WP4-9S/ 226/9 251/4	改訂	
SF. 1707	多数の FSS 地球局導入に伴う FS 局との干渉計算方法	多数の FSS 地球局導入に伴う FS 局との干渉計算方法に関する勧告	WP4-9S/ N/A	新規	
SF. 1719	27.5-29.5 GHz帯における GSO 及び non-GSO-FSS地球局と P-P 及びP-MP FS間の共用	27.5-29.5 GHz帯における GSO 及び non-GSO-FSS 地球局と P-P 及び P-MP FS 間の共用に関する勧告。	WP4-9S/ 206-2/9 237-2/4	新規	

第9章 RAへの対処（RAG関連）

1 研究対象

RAG (Radiocommunication Advisory Group) は、無線通信総会 (RA)、研究委員会 (SG)、会議準備会合 (CPM) 及び無線通信局 (BR) の作業等の優先度を見直すとともに進捗状況を評価し、無線通信局長に対して助言すること等を目的としている。なお、今会期中の RAG 会合は、2004年11月、2005年10月及び2007年1月に開催された。

2 RA-07 に提出される ITU-R 決議の見直し案

RA-07 においては、以下が主な検討事項となることが予想される。

- (1) 作業方法の見直し (決議 1、44)
- (2) SG 構成の再編 (決議 4)
- (3) CPM の見直し (決議 2)

表9-1に、これらを含めた主要な決議に関する論点及び評価を記す。

3 主な検討事項と検討状況

RAG での主な検討事項について、2007年1月に開催された第14回会合での検討結果を中心に、以下に示す。

3.1 SG 等の作業方法

(1) 会合参加者のオンライン登録

会合参加登録手続を、オンラインで実施する試みが最近開始されたが、同時にこの方式の導入に伴う問題点も指摘された。このため窓口担当 (Focal point) 経由の登録システムは、WRC (世界無線通信会議)、CPM (会議準備会合) など大規模でかつ特に重要な会議にのみ適用し、SG 会合以下については当面使用しないこととされた。

(2) 文書の配布方法

近年作業部会 (Working Party) 以下の会合では電子ファイルによる審議 (Paperless 会議) が一般的になったため、昨年の RAG 会合で日本から、「会合開始時に事務局から全入力文書を全参加者に配布する従来の慣行は見直すべき」との提案を行った。これに基づき、その後の WP 会合では試行的に入力文書の配布を原則廃止したが、特に反対意見は表明されなかったため、この手法を一般的にルールとして採用する方向が合意されている。

(3) ITU-R 決議の見直し

ITU-R 決議の見直しを Correspondence Group (CG) で行うことが合意された。特にボリュームが大きい決議 1 を扱う CG と、その他の決議全てを扱う CG

の二つが設けられた。

3. 2 特許問題、他組織、他機関との協力関係

標準化機関において特許事項を扱うための「パテントポリシー」を、ITU と国際標準化機構（ISO）及び国際電気標準会議（IEC）で共通化することが検討されており、その文案が紹介された。ITU-T では同ポリシーの採用が適当と結論付けられていることを受け、ITU-R においても採用が適当である旨を BR 局長に報告することとなった。現在の ITU-R パテントポリシーは ITU-R 決議 1 に入っているため、RA 間での「パテントポリシー」更改に対応するための適切な方法を CG で検討することとなった。

連合内の他組織との協力関係として、ITU-T との関係においてはセミナーやワークショップの開催において、両部門がもっと協調すべき点があることが指摘され、両部門の協力や調整事例の調査が BR に求められた。

3. 3 SG 再編に関する議論

SG の構成については、1990 年代に数回にわたり専門分野が近い SG 間の統合が行われたが、2000 年以降は現体制が維持されてきた。

近年技術革新・技術融合が進展する分野では、既存 SG の枠組みにとらわれない検討が求められる状況も生じつつあるため、回章文書（2006 年 7 月 17 日付 CA/161）により、BR 局長が、「財政負担軽減、ITU-R 活動の効率化及び新たな無線通信技術への対応を目的とした SG 再編」について問題提起を行った。

RAG 会合及び 1 月 23 日の非公式会合では、現在の 7 つの SG のうち、特に SG1（周波数管理等）、SG3（電波伝搬）、SG7（科学業務）については専門性が高く、他の SG と技術的接点が少ないこと等から現状維持にすべきとし、主に SG4（固定衛星）、SG8（移動業務等）、SG9（固定業務）の所掌を再編することに論点が置かれ、これら 3 つの SG を 2 つの SG に再編する案が 2 種類提案された。

（再編案 1）

- ・アクセス系 SG …………… IMT、無線アクセスシステム、移動衛星業務 等
- ・基盤ネットワーク系 SG …… 固定衛星業務、2 地点間の固定無線通信業務 等

（再編案 2）

- ・地上業務 SG …………… IMT、固定業務（2 地点間、無線アクセスシステム） 等
- ・衛星業務 SG …………… 固定衛星、移動衛星、放送衛星等各種衛星業務

CPM 会合中の非公式会合では、後者の案が多数の支持を得た。またその他、再編に当たって考慮すべき事項として以下が指摘された。

- ・ SG の作業量のバランスに配慮すべき。
- ・ 再編は取り扱う研究課題の専門性に基づくべき。
- ・ 周波数共用検討については、関連 SG 間の合同検討体制が必要であるが、まずは各 SG で担当すべき技術分野を確定すべき。

表 9-1 RA-07 において見直しが想定される ITU-R 決議及び評価

決議 番号	決議名	概要及び主な論点	評価	備考
1-4	無線通信総会、無線通信研究委員会及び無線通信アドバイザーグループの作業方法	<p>[概要] RA、SG、RAG についての任務、勧告承認手続等の各種手続、文書の位置付け等の作業方法並びにパテントポリシーに関する声明</p> <p>[論点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WRC 準備への SG の関与 ・ 勧告の承認/改訂手続 ・ 決議 44-1 の決議 1 への統合 ・ 決議 52 (RAG の権限) の決議 1 への統合 ・ 郵便投票期間の見直し ・ パテントポリシーの扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ WRC への準備段階に SG を関与させる提案については、複数の SG 間調整が必要となる場合があることや、議論が 2 段階となって長期化する恐れがあることから、特段の利点がないと考えられる(2.9 項)。 ・ 勧告の改訂は非常に重要なものを除いて 2 年以上待つべきとの提案については、必要な改訂が円滑に行われるよう、記述方法を慎重に検討すべき(6.1.2 項)。 ・ 決議 44-1 (CCIR/ITU-R 勧告の更新) との統合については、これまで我が国が議論を主導しており支持して差し支えない。 ・ 決議 52 の統合については、内容を変更しない限り支持。 ・ 勧告承認の郵便投票期間を 2 ヶ月に短縮することは、我が国として特段の問題なし。 ・ 共通パテントポリシー採用については特段問題はないが、無線分野の事情に配慮しつつ、取り扱うことが適当。 ・ その他、作業方法を明確にするものや、現在実行されている手順を明記する修正については支持することが適当。 	
2-3	会議準備会合	<p>[概要] CPM の任務、活動範囲、作業方法</p> <p>[論点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途上国等が参加しやすいよう、CPM-1 を WRC に融け込ませるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回 WRC の議題が確定するのは WRC の最終週であり、各議題の担当 WP/TG をその短期間に検討し決めるのは困難 ・ 短期間での決定のためには、新議題と並行して担当 WP/TG の割り振りを議論することが必 	

			<p>要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議題を提案する際には WP/TG の割り振り案も併せて提案するよう各国に呼びかけることが不可欠 ・ 以上を踏まえ、CPM の効率化を図りつつ、WRC における検討時間が十分確保されるよう対処することが適当。 	
4-4	研究委員会の構成	<p>[概要]</p> <p>RA G 会合及び CPM 会合での RA-07 に向けた非公式会合での検討結果に基づき、BR より回章にて再編案が提示されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SG4、SG8 及び SG9 を地上系 SG 及び衛星系 SG へ再編する案を支持。 ・ 非常通信等を扱う SG-S の設置については、SG 作業量の適正化・分散の観点から支持できるものである。 ・ 同 SG の他 SG との統合については、議論の動向に注意し、我が国にとって不都合な事態とならないよう対処する。 	
44-1	維持されている CCIR/ITU-R 勧告の現行化	<p>[概要]</p> <p>CCIR から ITU-R への改組等に伴う勧告の更新</p> <p>[論点]</p> <p>決議 1 に統合する改定案を CG で検討</p>	<p>決議 1 に統合し、本決議を削除することを提案。</p>	
45-1	勧告の代替承認手続 (AAP) の適用	<p>[概要]</p> <p>文通等での研究委員会による採択手続に関する規定。</p> <p>[論点]</p> <p>勧告成立の迅速化をねらって設立されたが、PSAA 導入後適用がない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ RA-2000 で決議されたが、実際にはほとんど適用されなかった。迅速化した手続としては、RA-2003 で決議された同時採択・承認手続 (PSAA) が主流となっている (PSAA が導入されてからは、AAP は全く適用されていない)。削除して差し支えない。 	